

函館の教育 2008

函館市教育委員会

函館市教育目標

- 1 資源を愛護し、すすんでこれを開発利用する市民
- 2 勤労を愛好し、科学的に生産を高める市民
- 3 生命の保存に努め、地域に適した健康生活を実践する市民
- 4 郷土を愛し、広い視野から郷土文化を創造する市民
- 5 政治や法律がわかり、公民として活動をりっぱにする市民
- 6 たがいに敬愛し、民主的実践を実践する市民

市民憲章

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、はぐくむまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

(昭和52年5月3日制定)

都市宣言

- ・ 安全都市宣言
(昭和36年3月6日制定)
- ・ 核兵器廃絶平和都市宣言
(昭和36年3月6日制定)
- ・ 国際観光都市宣言
(平成元年8月1日制定)
- ・ スポーツ健康都市宣言
(平成4年10月10日制定)
- ・ いきいき長寿都市宣言
(平成4年10月10日制定)

「函館の教育」の刊行にあたって

函館市教育委員会教育長 多賀谷 智

近年，我が国においては，急速かつ広範に社会が変化するなか，様々な制度の見直しが行われており，教育におきましても，教育基本法が改正されるなど，国の最重要課題の一つとして，様々な改革が進められております。

本市におきましても，地域の特性を生かし，個性あふれる豊かなまちづくりを進めており，教育の分野におきましては，地域の発展や文化の創造を担う人材の育成や，市民一人ひとりが生きがいをもって，学び合うことができる生涯学習の推進がますます求められております。

教育委員会といたしましては，こうした動向を踏まえ，ふるさとの歴史や文化を尊重し，市民一人ひとりが，自らを高める主体的な学習を進めていくことができるよう，次の4事項を柱として，家庭，学校，地域社会との連携・協力を一層深めた総合的な教育行政の推進に努めてまいります。

ふるさとの未来を拓く人材の育成を図る学校教育の推進
子どもの豊かな成長をはぐくむ教育の推進
豊かな人生を支援する生涯学習の充実
創造性や健やかな心身をはぐくむ文化・スポーツの振興

「函館の教育」は，本市における教育の現況をご理解いただきたく，刊行いたしました。

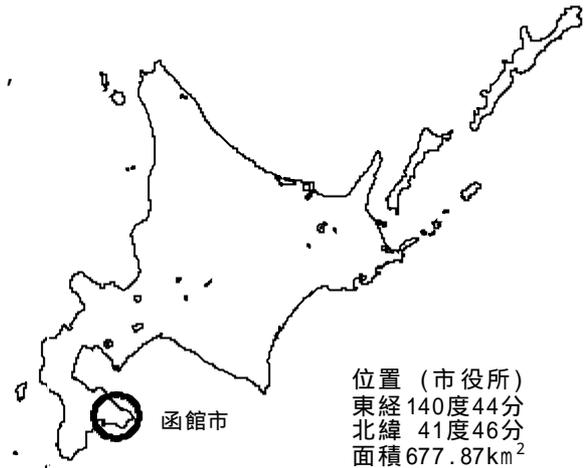
みなさまのさらなるご指導をお願い申し上げます。

函館市の概況

函館は、古くは室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ:アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。

明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。



位置(市役所)
東経140度44分
北緯41度46分
面積677.87km²

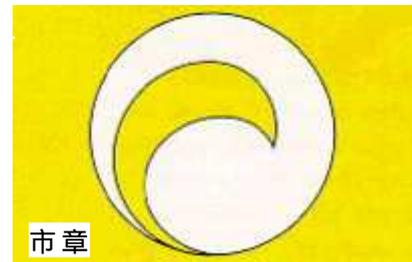
- 市の木 おんこ(いちい)
- 市の花 つつじ(やまつつじ)
- 市の鳥 ヤマガラ
- 市の魚 イカ

姉妹都市

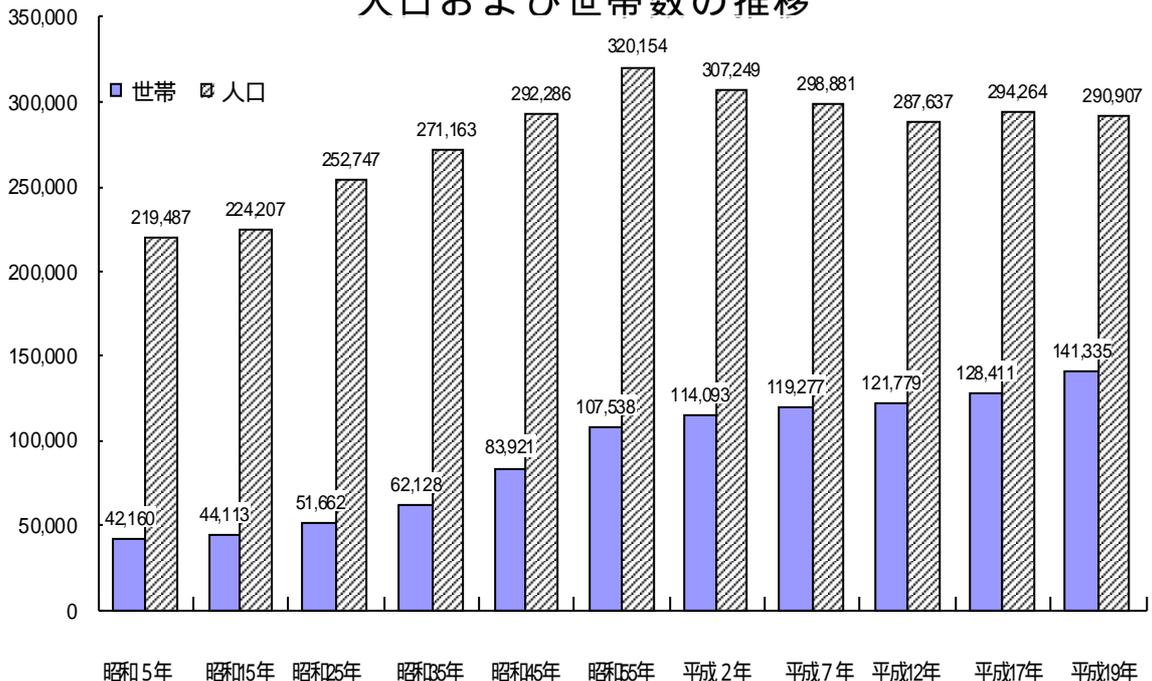
- ハリファックス市 (カナダ S57.11.25提携)
- ウラジオストク市 (ロシア連邦 H4.7.28提携)
- レイク・マコーリー市 (オーストラリア H4.7.31提携)
- ユジノサハリンスク市(ロシア連邦 H9.9.27提携)

友好交流都市

- 天津市 (中華人民共和国 H13.10.18提携)



人口および世帯数の推移



← 国勢調査 → 住民基本台帳 人口7月末日

総目次

教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	8
4	組織の編成	10
5	教育財政	11

生涯学習

1	生涯学習の推進	15
2	函館市社会教育の重点	16
3	社会教育事業の概要	17
4	社会教育・スポーツ施設の概要	53
5	学校開放事業の概要	92
6	財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	95

学校教育

1	平成20年度函館市学校教育の重点	96
2	市立学校施設一覧	97
3	児童・生徒・園児	101
4	育英事業	103
5	学校保健	105
6	学校安全	107
7	学校給食	108
8	就学援助	110
9	特別支援	112
10	中学生海外派遣事業	113
11	函館市南北海道教育センター	114
12	創意ある学校づくり推進事業(知恵の予算)	115

資料編

1	函館市教育の沿革概要	117
2	函館市内の指定文化財	131
3	市立学校・幼稚園一覧	137
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	141
5	社会教育関係団体一覧	143
6	社会教育施設利用グループ一覧	144

教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	8
4	組織の編成	10
5	教育財政	11

1 教育委員

教育委員会定例会



委員長
橋田 恭一
平成16.10.24就任



委員
河村 祥史
平成18.10.15就任



委員
小葉松 洋子
平成19.10.23就任



委員
星野 立子
平成20.10.24就任



教育長
多賀谷 智
平成17.10.16就任

2 附属機関委員（平成20.7.1現在）

(1) 函館市学校教育審議会

(発足) 「函館市学校教育審議会条例」に基づき、昭和46年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、児童生徒の通学区域の設定または変更に関する事項について調査審議する。

(委員) 学識経験者、PTA、市立学校の教職員(25人以内)

(任期) 平成21年8月31日まで

氏名	役職名
新谷 則	函館市町会連合会副会長
岸波 金彌	函館市町会連合会常任理事
長谷くに子	函館市町会連合会理事
高村 昭三	元函館市中学校長会会長
五百川 忠	元函館市立深堀中学校長
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
宮下 勤	元函館大学付属柏稜高等学校長
佐々木昌子	旧南茅部町教育委員
毛利 悦子	元函館市立はこだて幼稚園長
藤澤 義博	函館青年会議所副理事長
若杉 充宏	函館市PTA連合会会長
大山 裕子	函館市PTA連合会副会長
齊藤 清一	函館市PTA連合会副会長
増田 真澄	函館市PTA連合会副会長
中野 秀男	函館市PTA連合会常任委員
秋田 隆司	函館市PTA連合会監査
田中健太郎	函館市PTA連合会監査
長谷 恵	函館市小学校長会会長
森武由美子	函館市小学校長会副会長
本間 秀昭	函館市中学校長会会長
佐藤 良一	函館市中学校長会副会長
戸澤 和彦	函館市小学校教頭会会長
岡野 伸二	函館市中学校教頭会副会長
相澤 弘司	北海道教職員組合函館支部長
加藤 一明	北海道教職員組合函館支部書記長

(2) 函館市就学指導委員会

(発足) 「函館市就学指導委員会条例」に基づき、平成10年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、教育上特別な配慮を要する児童生徒の心身の障がいの種類、程度等について調査審議する。

(委員) 医師、学識経験者、教育職員、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員(20人以内)

(任期) 平成22年5月25日まで

氏名	役職名
渋谷 好孝	かみいそこどもクリニック院長
岩井 崇	函館五稜郭病院小児科医長
加藤 知子	かとうメンタルクリニック副院長
五十嵐靖夫	北海道教育大学函館校准教授
大杉ユリ子	北海道公立学校スクールカウンセラー
梶 利明	函館特別支援教育研究会会長
高橋 登	函館市中学校長会
阿部 憲司	函館市中学校長会
鈴木 祐司	函館市小学校長会
松野 毅彦	北海道函館養護学校長
島津 彰	北海道函館聾学校長
上戸美智子	うみのほし学園長
内山 作	函館市中学校教頭会
谷川 忍	函館市小学校教頭会
藤本久美子	函館市立中部小学校教諭
千田 重幸	函館市立湯川中学校教諭
田上 直広	函館市立亀田中学校教諭
戸巻 淳	おしま地域療養センター指導課長
渡辺 典子	北海道函館児童相談所判定援助係長
三浦 辰也	北海道函館児童相談所指導援助課長

(3) 奨学資金運営委員会

(発足) 「函館市奨学金貸与条例」に基づき、昭和26年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、奨学生の選定および奨学金額の決定等、本制度の運営について審議する。

(委員) 学識経験者(10人以内)

(任期) 平成21年8月31日まで

氏名	役職名
松谷 博子	民生児童委員
佐藤 利子	民生児童委員
橋本 宏司	民生児童委員
森 武	北海道高等学校長協会渡島支部
山形 英幸	函館市中学校長会
山村 肇	函館市PTA連合会
青木タマキ	函館地区私立高等学校長会
藤田 政光	北海道高等学校PTA連合会道南支部
田村 志朗	元北海道立函館美術館長
長谷川良任	元函館市立湯川中学校長

(5) 函館市入学準備金貸付審査委員会

(発足) 「函館市入学準備金貸付条例」に基づき、昭和44年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、入学準備金の貸付けを受ける者の選考等について審議する。

(委員) 学識経験者(10人以内)

(任期) 平成21年8月31日まで

氏名	役職名
金谷 彊	民生児童委員
斉藤 實	民生児童委員
濱中 公也	民生児童委員
黒田 信彦	北海道高等学校長協会渡島支部
藪岸 清	函館市中学校長会
佐藤さとみ	函館市PTA連合会
野田 義成	函館地区私立高等学校長会
長谷川艶子	北海道高等学校PTA連合会道南支部
繪面 和子	元函館市立大森小学校長
田村 順子	元函館市立五稜中学校長

(4) 函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会

(発足) 「函館市青少年芸術教育奨励基金の設置および管理に関する条例」に基づき、平成3年発足

(目的) 奨励事業の実施について教育長から付託された専門的事項について審議する。

(委員) 小・中学校長会、高等学校長協会渡島支部、PTA連合会および文化団体協議会の各代表(5人)

(任期) 平成21年6月17日まで

氏名	役職名
清野 恒夫	函館市文化団体協議会副会長
若杉 充宏	函館市PTA連合会会長
森 武	北海道高等学校長協会渡島支部
武田 誠	函館市小学校長会
玉手 道男	函館市中学校長会

(6) 函館市北海道教育センター運営協議会

(発足) 「函館市教育センター条例」に基づき、
昭和49年発足

(目的) 教育センターの運営に関して所長の諮問に応じ、意見を述べる。

(委員) 学校教育関係者、社会教育関係者および学識経験者(15人以内)

(任期) 平成20年8月31日まで

氏名	役職名
長谷 恵	函館市小学校長会会長
信夫恵美子	函館市中学校長会厚生部員
相澤 弘司	北海道教職員組合函館支部支部長
高橋 孝一	函館市社会教育委員
伊勢 睦美	函館市PTA連合会常任委員
林 一道	七飯町教育委員会教育長
嶋田 聡	北海道教育庁渡島教育局生涯学習課長
高村 昭三	北海道退職校長会函館支部支部長
絹野 重治	函館市深堀児童館館長
干山 毅	(社)函館青年会議所事業室室長

* 平成20年8月31日の任期をもって休止。
今後については、教育センターの運営に関して所長の諮問に応じて調査審議する事項が新たに生じた場合に開催する。

(7) 函館市社会教育委員

(発足) 「函館市社会教育委員設置条例」に基づき、昭和24年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関する諸計画の立案に関して意見を述べるほか、社会教育について調査・研究する。

(委員) 学校の長、社会教育関係団体の代表者、学識経験者および公募(17人)

(任期) 平成22年3月10日まで

氏名	役職名
市川須磨子	函館市文化団体協議会副会長
丸藤 競	函館市青年サークル協議会会長
安藤 信男	函館市小学校長会
玉手 道男	函館市中学校長会
黒田 信彦	北海道高等学校長協会渡島支部長
杉浦 清志	北海道教育大学副学長(函館校担当)
松田 紀昭	函館市体育協会理事長
佐々木 香	函館市女性会議副会長
英 千栄	函館市PTA連合会副会長
平野美智子	社団法人函館地方法人会女性部会副会長
佐戸 賢一	日本放送協会函館放送局放送部長
坂牛 隆	北海道新聞社函館支社報道部長
熊谷 儀一	函館市町会連合会東部地区協議会会長
浅井 勉	公募
嘉多山幸雄	公募
佐藤 信夫	公募
山内 隆陽	公募

(8) 函館市スポーツ振興審議会

(発足) 「函館市スポーツ振興審議会条例」に基づき、平成3年に発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ、スポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。

(委員) 文化スポーツ、保健医療、産業経済、教育関係者および公募(10人以内)

(任期) 平成21年12月21日まで

氏名	役職名
近野 功	函館市体育指導委員会会長
新開谷 春子	前大学教授(健康運動指導士)
森川 基嗣	函館市体育協会会長
本間 恵子	函館市中学校体育連盟 学校代表幹事
藪越 晃	北海道高等学校体育連盟函館支部 事務局長
長尾 洋子	函館レクリエーション協会理事
橋本 友幸	(社)函館市医師会理事
藤澤 義博	(社)函館青年会議所専務理事
杉本 祐一	公募
長瀬 圭治	公募

(9) 函館市青少年問題協議会

(発足) 「函館市青少年問題協議会条例」に基づき、昭和34年発足

(目的) 青少年の指導、育成等に関する総合的な施策の樹立につき必要事項を調査審議する。

(委員) 学識経験者、関係行政機関職員
会長:西尾正範函館市長(28人以内)

氏名	役職名
(任期:平成22年2月14日まで)	
岸波 金彌	函館市町会連合会常任理事
附田 誠一	函館市小学校長会調査部長
高橋 登	函館市中学校長会調査部
野田 義成	函館私立高等学校長会会長
菅原 幸代	函館市PTA連合会常任委員
近野 功	函館市体育指導員会会長
大石 俊彦	北海道高等学校PTA連合会道南支部長
柴田まゆ美	函館市子ども会育成連絡協議会副会長
山崎 文雄	北海道大学名誉教授
対馬 敏幸	函館地区高等学校教護連盟理事長
佐々木昌子	旧南茅部町教育委員
館山 幸子	元函館市民生児童委員連盟主任児童委員
小岩 眞智子	学校法人野又学園函館医療保育専門学校 教員
(任期:在職期間中)	
佐藤 公治	函館保護観察所長
土淵美知子	渡島保健福祉事務所児童相談部長
遠藤 隆行	函館少年鑑別所長
小川 知整	函館労働基準監督署長
村山 時雄	函館公共職業安定所長
小林 誠一	北海道警察函館方面本部生活安全課長
谷口 茂樹	函館中央警察署長
清水 博明	函館西警察署長
齋藤 眞	函館家庭裁判所首席家庭裁判所調査官
多賀谷 智	函館市教育委員会教育長
岡田 芳樹	函館市福祉部長
田中 俊弘	市立函館保健所参事
斉藤 俊一	函館市市民部長

(10) 函館市文化財保護審議会

(発足)「函館市文化財保護条例」に基づき、
昭和58年発足

(目的)教育委員会の諮問に応じ、文化財の
保存・活用に関する重要事項につい
て調査審議する。

(委員)学識経験者等(14人以内)

(任期)平成21年5月8日まで

氏名	役職名
奥山 三雄	
小沢ミドリ	元北海道函館西高等学校教諭
折原久左工門	元北海道教育大学函館校教授
上平 幸好	函館短期大学学長
齊藤 サダ	北栄測量設計㈱専務取締役
佐々木 馨	北海道教育大学函館校教授
佐藤 一夫	特定非営利活動法人函館市埋蔵文化 財事業団理事長
澁谷 道夫	元函館工業高等専門学校教授
高木 重俊	北海道教育大学函館校教授
田中 俊也	元北海道立函館美術館長
俵 浩治	元函館東高等学校教諭
富澤 嘉平	元函館市立北中学校校長
吉村富士夫	元函館工業高等学校教諭

(12) 図書館協議会

(発足)「函館市図書館条例」に基づき、昭和
25年発足

(目的)館長の諮問に応じ、図書館運営、奉仕
について意見を述べる

(委員)学校教育関係者、社会教育関係者、学
識経験者および公募(13人)

(任期)平成22年2月21日まで

氏名	役職名
内藤 一志	北海道教育大学教授
対馬 敏幸	北海道高等学校長協会渡島支部副支部長
竹内 泰子	函館市学校図書館研究会研究部長
平 昭世	函館文化会
清水 隆	(社)函館市身体障害者福祉団体連合会副 会長
青井 元子	函館朗読奉仕会研修委員
桶本 建郎	函館の図書館と歩む会会長
斉藤貴美恵	活力ユニット
宮本 衛市	学識経験者
対馬 俊明	学識経験者
桶田 岩男	公募
芹澤 伸子	公募
吉田 好博	公募

(11) 亀田福祉センター運営委員会

(発足)「亀田福祉センター条例」に基づき
昭和48年発足

(目的)亀田福祉センターの運営に関する事
項について審議する。

(委員)学識経験者および公募(6人)

(任期)平成21年3月15日まで

氏名	役職名
小松 一典	函館市社会福祉協議会理事
土方 源太	函館市民生児童委員連合会
英 千栄	函館市社会教育委員
竹林 良雄	函館市町会連合会副会長
小泉 正勝	公募
四十川博巳	公募

(13) 博物館協議会

(発足) 「市立函館博物館条例」に基づき，昭和27年発足

(目的) 館長の諮問に応じ，博物館の運営に関し意見を述べる。

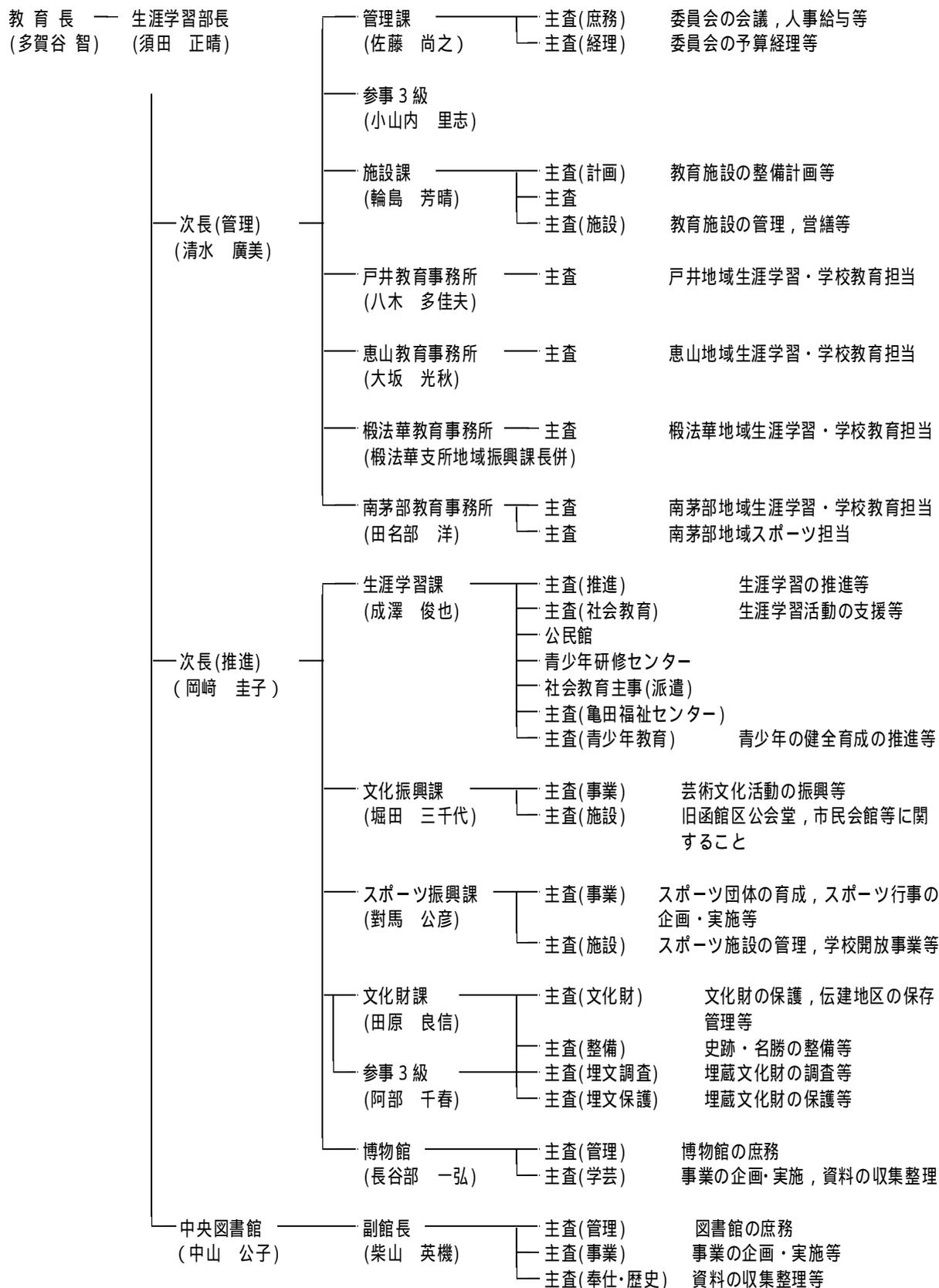
(委員) 学校教育・社会教育関係者，学識経験者および公募(11人)

(任期) 平成22年2月21日まで

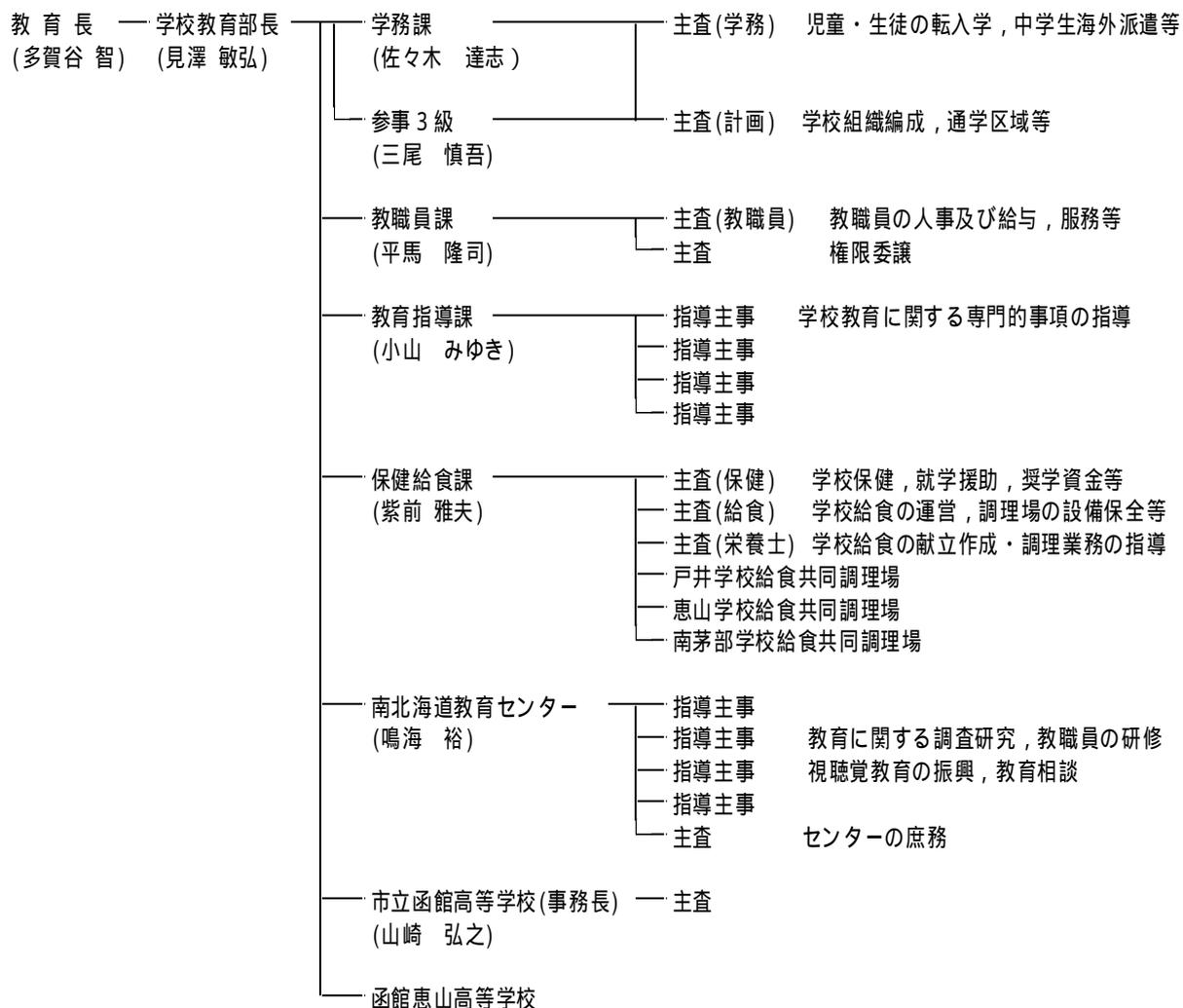
氏名	役職名
佐々木 馨	北海道教育大学函館校教授
小橋誠太郎	函館市立亀尾小学校長
加納 裕之	函館市文化団体協議会会長
森岡 保子	函館市社会学級生連絡協議会会長
長尾 千夏	函館市青年サークル協議会会計監査
紀藤 典夫	北海道教育大学函館校助教授
山内 一男	(株)建築企画山内事務所代表取締役
若山 直	(株)五島軒代表取締役
橋本 和幸	公募
山田 佑平	公募
駒井 惇助	公募

3 行政組織（平成20年8月1日現在）

(1) 生涯学習部



(2) 学校教育部



4 組織の編成

(1) 教育委員会関係職員総数

(平成20年5月1日現在)

区 分	職 員 数
事務局関係職員数	157人
学校関係職員数	1,719人 (うち市費職員356人)
合 計	1,876人

(2) 事務局関係職員数

派遣主事除く，社会教育主事は再掲 (平成20年5月1日現在)

部 名	区 分 課 名	一般行政職			栄養士	指導主事	社会教育主事	計
		一般事務	一般技術	学芸員				
生涯学習部	管理課	17						17
	施設課	7	4					11
	戸井教育事務所	5						5
	恵山教育事務所	5						5
	椴法華教育事務所	3					(1)	3
	南茅部教育事務所	6					(1)	6
	生涯学習課	19					(2)	19
	文化振興課	5						5
	スポーツ振興課	7						7
	文化財課	6	2	5				13
	博物館	5		5				10
	図書館	13						13
	計	98	6	10				114
学校教育部	学務課	10						10
	教職員課	6						6
	教育指導課	1				4		5
	保健給食課	9			4			13
	北海道教育センター	5				4		9
	計	31			4	8		43
合 計	129	6	10	4	8	(4)	157	

(3) 学校関係職員数内訳

(平成20年5月1日現在)

区 分	教 育 職 員						そ の 他 の 職 員						合計
	校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務	技術	実習助手	調理	用務	小計	
小学校	46	48	615	48	19	776	78			46	75	199	994
中学校	28	27	404	26	8	493	42			23	42	107	608
高等学校	2	3	68	2		75	6		1		3	10	89
幼稚園	4	2	10			16	3				1	4	19
共同調理場							3	1		13		17	9
計	80	80	1,097	76	27	1,360	132	1	1	80	121	337	1,719

5 教育財政



市立函館高等学校 (平成19年8月17日授業開始)

(1) 平成20年度一般会計予算

歳入

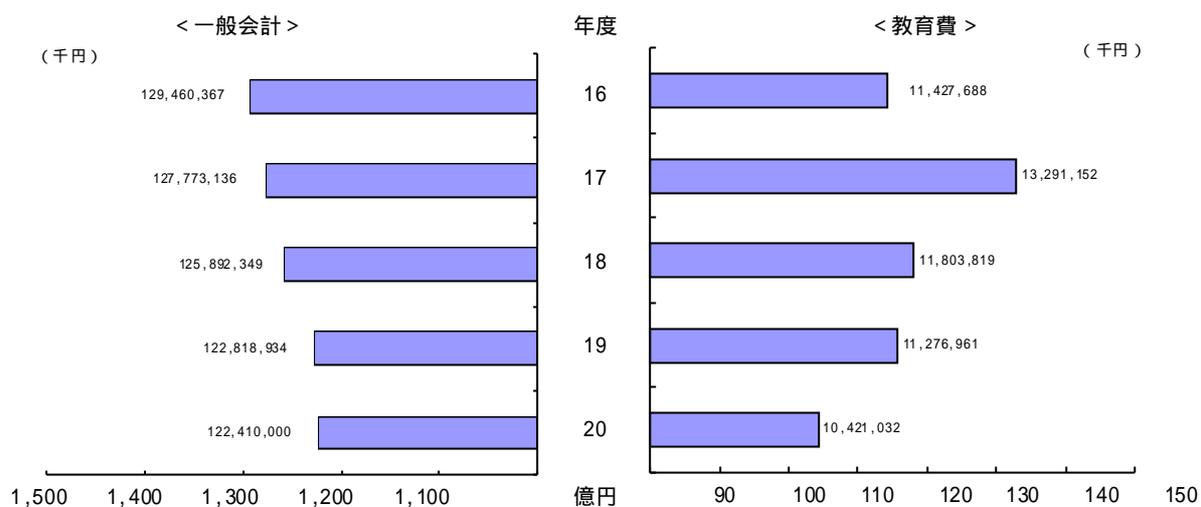
款	予 算 額	構成比	
		千円	%
1 市 税	34,038,000		27.8
2 地 方 譲 与 税	1,142,000		0.9
3 利 子 割 交 付 金	57,000		0.1
4 配 当 割 交 付 金	85,000		0.1
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	31,000		0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	3,091,300		2.5
7 ゴルフ場利用税交付金	29,000		0.0
8 自動車取得税交付金	235,500		0.2
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	14,756		0.0
10 地方特例交付金	394,800		0.3
11 地 方 交 付 税	32,653,000		26.7
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	62,300		0.1
13 分 担 金 及 び 負 担 金	823,748		0.7
14 使 用 料 及 び 手 数 料	3,359,628		2.7
15 国 庫 支 出 金	19,863,945		16.2
16 道 支 出 金	4,087,957		3.3
17 財 産 収 入	754,700		0.6
18 寄 付 金	327,867		0.3
19 繰 入 金	1,053,407		0.9
20 繰 越 金	1		0.0
21 諸 収 入	8,885,917		7.3
22 市 債	11,419,174		9.3
計	122,410,000		100

歳出

款	予 算 額	構成比	
		千円	%
1 議 会 費	455,699		0.4
2 総 務 費	5,846,457		4.8
3 民 生 費	38,046,239		31.1
4 衛 生 費	7,009,186		5.7
5 労 働 費	244,482		0.2
6 農 林 水 産 費	932,903		0.7
7 商 工 費	8,155,093		6.6
8 土 木 費	11,588,161		9.5
9 消 防 費	942,380		0.8
10 教 育 費	(10,421,032) 6,226,266		(8.5) 5.1
11 公 債 費	14,401,026		11.8
12 諸 支 出 金	4,464,151		3.6
13 職 員 費	23,997,957		19.6
14 予 備 費	100,000		0.1
計	122,410,000		100

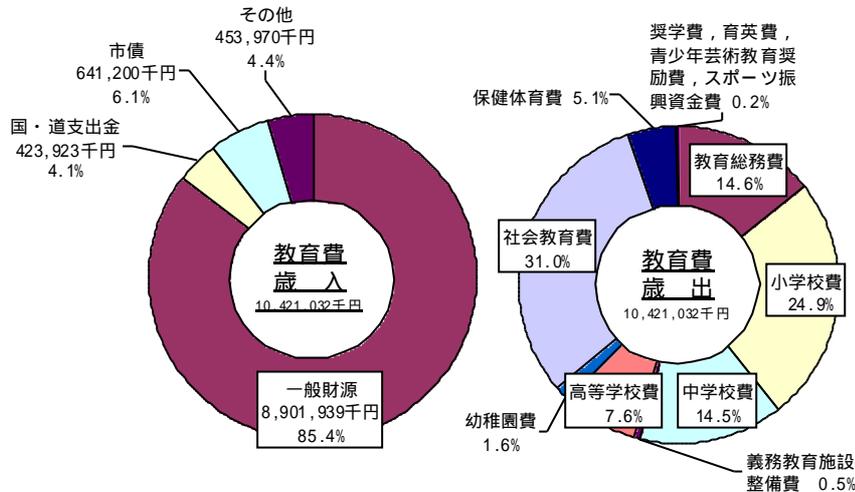
()は人件費含む。

(2) 教育費の推移



年 度	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
人 口 A	17.3.31末 299,207人	18.3.31末 294,694人	19.3.31末 291,581人	20.3.31末 288,434人	20.6.30末 288,414人
一 般 会 計 B	千円 129,460,367	千円 127,773,136	千円 125,892,349	千円 122,818,934	千円 122,410,000
教 育 費 C 人件費含む	千円 11,427,688	千円 13,291,152	千円 11,803,819	千円 11,276,961	千円 10,421,032
市民一人当たりの経費 B / A	円 432,678	円 433,579	円 431,758	円 425,813	円 424,425
市民一人当たりの教育費 C / A	円 38,193	円 45,102	円 40,482	円 39,097	円 36,132
構 成 比 C / B	% 8.8	% 10.4	% 9.4	% 9.2	% 8.5
備 考	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	予 算 額

(3) 平成20年度教育費予算



その他の内訳

分担金及び負担金	7,481千円
使用料及び手数料	415,115千円
財産収入	17,265千円
寄付金	5,000千円
繰入金	5,291千円
諸収入	3,818千円

項目	予算額	内 訳					
		人件費	構成比	経常費	構成比	事業費	構成比
	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 教育総務費	1,518,321	858,654	56.6	184,058	12.1	475,609	31.3
2 小学校費	2,593,937	1,067,251	41.1	1,363,473	52.6	163,213	6.3
3 中学校費	1,515,261	600,639	39.6	877,322	57.9	37,300	2.5
4 義務教育施設整備費 (小学校建設分) (中学校建設分)	55,300 (33,700) (21,600)	- - -	- - -	- - -	- - -	55,300 (33,700) (21,600)	100.0
5 高等学校費	788,973	679,613	86.1	107,760	13.7	1,600	0.2
6 幼稚園費	168,896	141,968	84.0	26,928	16.0	-	-
7 社会教育費	3,231,862	585,354	18.1	1,630,217	50.4	1,016,291	31.5
8 保健体育費	530,235	261,287	49.3	107,148	20.2	161,800	30.5
9 奨学費	11,192	-	-	442	4.0	10,750	96.0
10 育英費	1,920	-	-	-	-	1,920	100.0
11 青少年芸術教育奨励費	3,072	-	-	-	-	3,072	100.0
12 スポーツ振興資金費	2,063	-	-	613	29.7	1,450	70.3
計	10,421,032	4,194,766	40.3	4,297,961	41.2	1,928,305	18.5

(4) 主要事項と予算

千円

義務教育の充実	市立小中学校再編計画策定経費	地区別意見交換会開催等	270
	外国人英語指導助手関係経費	小・中・高の英語教育充実	25,200
	基礎学力向上推進費	小中学校における学力実態調査・研究	3,208
	特別支援教育推進事業費	サポート委員会による巡回相談，検討委員会の開催	900
	特別支援教育支援員関係経費	小中学校への特別支援教育支援員の配置	5,040
	小学校英語活動等国際理解活動推進事業費	地域人材を活用した英語活動等の実施	1,080
	はこだてっ子水産・海洋体験学習事業費	前浜での自然体験学習，漁業体験等の実施	2,250
	いじめ・不登校等対策推進費	いじめ・不登校を防ぐ意識の高揚，教育上の悩み相談	1,114
	適応指導教室運営経費	不登校児童生徒のための教室開設，指導の充実	4,504
	中学生海外派遣事業関係経費	ユジノサハリンスク市等への派遣	9,159
	教育用コンピュータ運用経費	小・中学校のコンピュータリース等	122,880
	創意ある学校づくり推進事業費	校長裁量の知恵の予算	54,800
	自動体外式除細動器整備費	中学校の自動体外式除細動器（AED）リース	1,676
	小学校トイレ改修費	本通小，北美原小	90,600
	義務教育施設整備費	屋内体育館暖房設備整備， 西小学校・弥生小学校統合新築事業， 榎法華中学校学校給食共同調理場整備	55,300
高校の充実	コール教室運用経費	語学演習システムリース	7,182
	創意ある学校づくり推進事業費	校長裁量の知恵の予算	1,600
	教材等整備費	進路別履修選択ガイド書作成，コンピュータリース等	14,463
生涯学習の充実	生涯学習推進費	学習情報誌「まなびっとニュース」の発行，学習機会を提供する「まなびっと広場」の実施等	2,691
	学校開放事業経費	学校の特別教室等の開放	2,521
	地域放課後児童健全育成事業費	民間施設への委託，ボランティア派遣事業等	126,718
	学校内児童保育施設整備事業費	学校余裕教室等を放課後児童健全育成事業に活用	12,000
	放課後子ども教室推進事業費	放課後における児童の安全で安心な活動拠点の整備	6,724
	函館市地域間子ども交流事業費	旧市内と旧4町村の子ども達の交流	685
	水産・海洋体験学習プログラム実施経費 資料整備費	函館国際水産・海洋都市構想を推進する人材の育成 中央図書館，各図書室等における図書等整備	550 51,831
芸術文化の振興	文化芸術振興関係経費	市民アートサロンの開催等	630
	財団法人函館市文化・スポーツ振興財団事業補助金		69,867
	市民創作「函館野外劇」開催補助金		10,000
文化財の保存・整備	特別史跡五稜郭跡復元整備事業費	箱館奉行所庁舎復元工事(平成18～22年度継続事業)等	572,500
	名勝旧岩船氏庭園(香雪園)環境整備事業費	板倉保存修理工事(平成19～20年度継続事業)等	41,200
	伝統的建造物群保存地区保存事業費	保存修理事業補助金，啓発活動費等	20,256
	遺跡発掘調査事業費(垣ノ島遺跡等)	発掘調査等	23,000
	史跡大船遺跡整備事業費	遺構等復元整備工事等	21,000
	縄文文化交流センター整備事業費	基本設計，用地買収	50,481
	国宝土偶保存修理事業費		2,600
体育・振興の推進	学校開放事業経費	学校の体育施設をスポーツ活動等に開放	5,805
	スポーツ振興計画推進事業費	スポーツ合宿誘致推進	198
	スポーツ振興事業推進費	表彰，指導者育成，団体助成	2,063
	海水浴場開設経費 (湯川海水浴場・入舟海水浴場)	ネット式海水浴場の開設等	47,792
	南部忠平記念陸上競技大会開催地負担金		5,000
	陸上競技場第2種公認検定所要経費	5年ごとに行う第2種公認検定にかかる所要経費	10,000
	函館ハーフマラソン大会開催補助金		18,000
	函館市体育協会運営補助金		14,000

生涯学習

1	生涯学習の推進	15
2	函館市社会教育の重点	16
3	社会教育事業の概要	
	(1) 平成20年度事業の紹介	17
	(2) 平成19年度事業の実績	34
4	社会教育・スポーツ施設の概要	
	(1) 社会教育施設の概要一覧	53
	函館市公民館・亀田公民館	55
	函館市戸井公民館	56
	函館市南茅部公民館	57
	函館市戸井生涯学習センター	58
	函館市戸井総合学習センター	58
	函館市榎法華総合センター	59
	函館市亀田福祉センター	60
	函館市青年センター	61
	函館市青少年研修センター(ふるる函館)	62
	函館市亀田青少年会館	63
	函館市戸井青少年会館	64
	函館市南茅部青少年会館	64
	函館市中央図書館	65
	市立函館博物館	66
	函館市戸井郷土館	67
	函館市恵山郷土博物館	67
	函館市重要文化財旧函館区公会堂	68
	函館市北洋資料館	69
	函館市文学館	70
	函館市北方民族資料館	71
	函館市大船遺跡埋蔵文化財展示館	72
	函館市戸井埋蔵文化財展示館	72
	函館市民会館	73
	函館市芸術ホール(ハ一モ二一五稜郭)	74

(2) スポーツ施設の概要一覧	75
千代台公園陸上競技場	77
千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)	78
西桔梗野球場	79
函館市戸井運動広場	79
函館市恵山運動広場	80
函館市南茅部運動広場	80
函館市日吉サッカー場	81
根崎公園ラグビー場	81
千代台公園庭球場	82
函館市南茅部市民庭球場	82
函館市民体育館	83
函館市恵山総合体育館	84
函館市古部体育館	84
函館市南茅部スポーツセンター	85
函館市磯谷体育館	85
函館市民プール	86
函館市恵山プール	87
函館市南茅部プール	87
千代台公園弓道場	88
根崎公園アーチェリー場	88
函館市湯川海水浴場	89
函館市入舟町前浜海水浴場	89
函館市臼尻スキー場	90
函館市民スケート場	90
(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況	91
5 学校開放事業の概要	
(1) スポーツ開放事業	92
(2) 文化開放事業	93
(3) 学校開放状況の推移	94
6 財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	95

1 生涯学習の推進

生涯学習推進の基本的な考え方

人生80年時代を迎え、市民一人ひとりが生きがいとゆとりある人生を過ごすためには、生涯にわたって学び続け、さまざまな学習や諸活動を通じて、自らを高め、心豊かなものとしていくことが大切です。

また、科学技術の進展や情報化、国際化などのさまざまな社会変化や環境、福祉、防災等の諸課題も身近なものとなっており、私たちは絶えず、新たな知識や技術などを身につけていくことが必要となっています。

生涯学習のめざすところは、子どもからお年寄りまで、多くの市民が生涯にわたり、自由で主体的な学習活動に取り組むことにより、自己の充実や豊かな人間性をはぐくみ、家庭や職場、地域全体が活性化していくことにあります。

このため、生涯学習推進基本構想では、市民の学習活動が円滑に行われ、学習成果が実を結ぶことのできるよう、6つの生涯学習推進の基本施策を設定し、行政や企業、民間教育機関、さらには家庭、学校、地域などの各分野がそれぞれの役割や機能を十分発揮し、総合的な推進体制のもとで「生涯学習社会の実現」をめざすこととしています。

生涯学習推進の基本施策

生涯学習の基礎づくり	生涯にわたって自発的な意思で学習に取り組む態度を醸成する。 市民が気軽に生涯学習に取り組むための学習環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の充実 ・学校教育の充実 ・社会教育の充実 ・団体・サークルの育成
学習活動の活性化	生涯学習関連事業の体系化や学習プログラムの研究・開発を行い、気軽に参加できる学習の場や学習機会を拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習事業の体系化整備 ・多様な学習プログラムの開発 ・文化活動の推進 ・スポーツ・レクリエーション活動の推進
学習情報システムの整備	学習者の要望に応じた適切な情報提供と、指導・助言できる学習相談体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習情報の提供 ・学習相談体制の充実
指導者の養成と活用	様々な分野で市民の学習活動を支援する人材を確保し、資質の向上や活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の養成・確保 ・ボランティア活動の推進
学習活動施設の整備充実	施設運営の弾力化や事業運営の多様化など、利用者の視点に立った体系的な施設整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動施設の整備 ・学習活動施設の有効活用 ・学校施設等の開放
生涯学習推進体制の整備	行政の推進組織や市民主体で構成する組織を設置し、他の教育機関等との連携により、総合的な生涯学習推進体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進組織の整備 ・関係機関との連携・協力

2 函館市社会教育の重点

総括重点

「豊かな人間性を培うため、市民が意欲的に学べる生涯学習の推進に努める。」

(1) 生涯各期において、自発的で充実した社会教育活動の奨励に努める。

生涯各期に対応した系統的な事業実施と
自発的な活動の促進

青少年の健全育成と社会環境浄化の推進

学習活動を奨励・援助するための学習情
報の提供と学習相談体制の充実

各種学習グループ・サークルや活動団体
の育成

社会教育施設の整備や学校の文化開放に
よる学習活動の場の充実



まなびっと2008体験講座 6月

(2) 潤いのある個性豊かな芸術・文化活動の振興と文化遺産の保護継承に努める。

芸術活動や文化事業の振興と各種文化団
体の育成

多面的な国際交流の促進と民間交流団体
の自主的活動の促進

文化財の保存整備や伝統的建造物群の保
護対策推進

文化施設および文化財の教育的活用と郷
土愛の醸成



函館市民文化祭

(3) 健康の保持・増進のため、進んで参加できるスポーツや余暇活動の振興に努める。

各種体育・スポーツ行事の充実とスポー
ツ活動への支援

ニュースポーツやレクリエーションの振
興と啓発

スポーツ振興基金による指導者の育成、
団体への助成

体育・スポーツ団体およびクラブの育成

社会体育団体等における指導者の育成と
確保

スポーツ施設等の整備充実と学校開放の
推進



函館ハーフマラソン大会

3 社会教育事業の概要

(1) 平成20年度事業の紹介

1 生涯学習部生涯学習課

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
HAKODATE まなびっと広場	市民の多様な学習活動を単位認定という形で応援することで、より一層の生涯学習の推進を図る。	小学生～一般	通年
まなびっと2008 体験講座	生涯学習を始めるきっかけ作りと経験、知識等を持つ方を学びたい方へ紹介する。	小学生～一般	4～3月 (毎月1回) 12月21日 (イベント)
学習情報・指導者情報 等の提供	リーダーバンクの設置、学習情報・社会教育関係活動情報の提供。(まなびっとニュース等の発行)	一般市民	通年
放課後児童クラブ	放課後児童の健全育成を推進するため、青柳小、北星小、上湯川小、日吉が丘児童館の4か所に開設し、放課後の育成指導を行う。	小学生	通年 (夏・冬・春休みを除く)
地域放課後児童健全 育成事業(学童保育)	放課後児童の健全育成を図るため、民間の学童保育所35か所に委託し、事業を実施。	小学生	通年
放課後子ども教室推 進事業	子どもの居場所(活動拠点)を整備し、地域の大人の教育力を結集して放課後における子どもの様々な体験活動や地域住民との交流などを支援する。	小学生	通年
街頭補導活動	青少年の非行、問題行動を未然に防止し、早期に適切な処置を講じるため、市内デパート、ゲームセンター、カラオケボックス、公園等を巡回し指導する。	青少年	通年
青少年相談業務	青少年の様々な悩みや問題等に適切に対処するため、補導センターにおいて「親と子のテレフォン相談」および面接相談に応ずる。	青少年	通年
有害図書等販売状況 調査	青少年に対する有害環境浄化の一環として、書店やビデオレンタル店、カラオケボックス等を立入調査し、関係業界に対して協力を要請する。		7月
函館市青少年環境浄 化推進協議会事業	青少年を取り巻く社会環境の浄化を図ることを目的に、昭和45年に設立。36の関係団体で構成し、環境のチェック、広報紙・非行防止啓発ポスターの発行などを行う。		通年
成人祭	成人としての自覚と認識の高揚を図るとともに、新成人を祝福、激励する。	新成人	1月12日
地域子ども交歓会 の奨励	子どもたちの余暇利用としてスポーツ等の交歓を行い、地域相互の友情と明るい子どもたちの育成を図るため、地域の団体が実施する「地域子ども交歓会」に対して賞状と楯を交付する。	小・中学生	通年
青少年育成フォーラム	青少年の健全育成と非行防止を目的として講演や少年の主張優秀者の意見発表を行う。	青少年育成関係者一般	7月10日
青少年活動表彰	青少年活動の顕著な功績のあった者、または他の青少年活動の模範となる活動をしている青少年を表彰し、青少年の健全育成の推進を図る。	青少年活動者・指導者団体	11月
函館市地域間子ども 交流事業	合併した新しい函館市の子どもたちの親睦と友情を深め、あわせて地域の学習を通じてそれぞれの地域の理解を深める。	小学校 4～6年生	6月21～22日 8月30～31日
水産・海洋体験学習 プログラム	子どもたちや市民が、「海とふれあい海に学ぶ」ことを目的に、水産・海洋に関する体験学習事業を展開する。	小学生～一般	6～11月
ウィークエンド・サークル 活動推進事業	障がいのある児童・生徒に活動体験の場と機会を提供するため、ボランティアの大学生・高校生等とのふれあいの中で、学校外活動を推進する。	小・中学生	7～12月
家庭教育支援事業	子育て中の親や家庭教育に携わる人を対象に、セミナーを開催し、家庭の教育力の向上を図る。	家庭教育関係者一般	通年

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
キャンプ体験教室	テントの建て方や野外炊飯の方法などキャンプの基礎的な知識を、体験を通して学ぶ。	小・中学生と保護者	8月2～3日
ジュニアボランティア体験講座	ボランティア活動の取り組みやきっかけづくりとしての知識を学び、実際にボランティア体験を試みる。	4年生以上の小学生	5月17～18日
青年ボランティアスタッフ養成講座	社会教育施設のボランティアスタッフとして役立つ知識などを学び、ふるる函館のボランティアとして登録する。	高校生以上	11月15～16日
中生・高生ボランティア養成講座～ヤングボランティアフォーラム～	様々なボランティア活動についての基礎知識を学び、実際に体験し、今後の社会教育施設等のボランティア活動のきっかけを作る。	中学生・高校生	12月13～14日
水産・海洋体験学習プログラム「海辺で遊ぼう!～磯遊びとカニ釣り体験～」	住吉浜でのカニ釣りなどの磯遊びを通して、海辺の生き物観察などの自然体験をする。	小・中学生(小学校3年生以下は保護者同伴)	8月23日

4 亀田福祉センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
亀田老人大学	急速に進展する社会に対応するために必要な教養や生活技術を習得するとともに、高齢者のもっている豊富な経験と能力を生かす場とする。(修業年4年)	高齢者(満60歳以上の市民)	5～11月
子ども放送局	子どもの居場所づくりを目的に、子どもたちが参加できる、インターネット放送の番組「子ども放送局」を利用して、ものを造る喜びや、科学や自然の不思議を学ぶ。	小・中学生	毎月第2・4土曜日(8月除く)

5 生涯学習部文化振興課

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
青少年芸術教育奨励事業	青少年の文化・芸術活動の一層の振興を図るため、文学・美術・書・音楽の4部門から作品を募集し、函館市青少年芸術教育奨励賞を授与するとともに、受賞者各部門1名を海外に派遣する。	市内在住、もしくは市内に所在する学校へ通学する小学生～高校生	7～11月
函館市文化賞表彰	函館市の文化向上に功績のあった個人・団体を表彰する。	一般市民	11月3日
学校開放事業(文化開放)	小・中学校(12校)の特別教室等を開放し、市民にサークル活動の場を提供する。	一般市民	通年
文化芸術活動団体の育成	文化芸術関係事業・活動に対する後援および委員会賞の交付を行う。	一般市民	通年
五稜郭ゆかりのまち交流事業	星形城郭「五稜郭」を有するまちとして「五稜郭ゆかりのまち協定」を締結した長野県佐久市との交流事業を展開する。	一般市民	通年

6 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
函館ハーフマラソン大会&コミュニティランニング	日本陸上競技連盟公認コース(21.0975km)によるハーフマラソン大会および0.4～5.0kmのコース設定による市民健康マラソン大会を行う。	一般市民	9・10月
学校開放事業	学校の体育施設を地域のグループなど市民の自主的スポーツ活動や子どもの遊び場に開放する。 (1)校庭開放 16校 (2)スポーツ開放 54校 (3)校庭・スポーツ開放 14校 (4)遊泳開放 25校	一般市民	通年 (遊泳開放は夏休み期間の土日)

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
海水浴場設置	市内に海水浴場を設置し、夏期のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。(湯川, 入舟町前浜)	一般市民	7~8月
スポーツ関係団体の育成	スポーツ関係事業・活動に対する後援・奨励。	一般市民	通年

7 生涯学習部文化財課

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
文化財公開事業	特別史跡五稜郭跡内兵糧庫を一般公開することにより、文化財保護への関心を高める。	一般市民	6~9月
特別史跡五稜郭跡復元整備事業	特別史跡五稜郭跡の保護・保存および活用を図るため、奉行所庁舎復元を含めた総合的な整備を行う。平成18年度から着手した箱館奉行所庁舎の復元工事を継続する。(平成22年度完成予定)		6~3月
遺跡発掘調査事業	遺跡の保存・整備のため資料収集する場合や土木工事等により遺跡が破壊されるため記録保存が必要な場合、発掘調査を実施する。		6~3月
埋蔵文化財包蔵地分布調査	埋蔵文化財包蔵地の所在、範囲などの確認調査を行い、土木工事施工者などに対する情報の提供と埋蔵文化財保護のための適正な指導を行う。		通年
史跡等の整備および点検	五稜郭跡、四稜郭、志苔館跡、大船遺跡、旧岩船氏庭園(香雪園)などの保存管理を行う。		通年
国指定文化財管理費補助	重要文化財所有者が行う管理事業について補助を行い、保護・保存の徹底を図る。		通年
伝統的建造物群保存地区保存事業	建造物等の修理、修景、復旧に際し補助金を交付し、伝統的建造物群保存地区の保護・保存を図るとともに、保存地区の周知を行う。		4~3月
名勝旧岩船氏庭園(香雪園)環境整備事業	名勝に指定されている範囲のうち、板倉および温室について保存修理を行う。		4~3月
重要文化財北海道志海苔中世遺構出土銭保存整備事業	志海苔中世遺構出土銭の保存処理・修理を実施する。		4~3月
大船遺跡埋蔵文化財展示館の運営	南茅部縄文遺跡群から出土した遺物などを一般公開することで、縄文人の生活や文化を知り縄文時代の知識とロマンを与え、文化財保護への関心を高める。	一般市民	4~11月
函館市縄文文化交流センター整備事業	「函館市縄文文化交流センター建設基本計画」に基づき、南茅部縄文遺跡群の中核施設として、国宝「土偶」(中空土偶)をはじめとする貴重な出土品を展示するとともに調査研究、普及・啓発、文化交流の拠点となる当施設の整備を進める。(平成22年度完成予定)		通年

8 博物館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
博物館講座「自然科学」(単講座)	宇宙と天体シリーズ 「春の星座観測」 「夏の星座を見てみよう」	小学生と保護者	5月7月
	宇宙と天体シリーズ 「宇宙と人間」 *宇宙の授業を通じて広大な 大宇宙の構造 をイメージし、宇宙の見方考え方を学ぶ	小3~中学生と保護者	8月
	地域の身近な自然を調べる 「砂浜の漂着物を調べてアート体験しよう」 *砂浜に打ち上げられた漂着物を観測することで、漂着物や海の役割について考える。	小・中学生と保護者	6月

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
博物館講座「自然科学」 (単講座)	夏休み自由研究 「鉄道車両の仕組みと」R見学会」 *普段利用している鉄道車両の仕組みをJR運転所を見学しながら体験する。	小・中学生と保護者	7月
	わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」 *ドライアイスの役割を考えながら、どうい物質かについて考えてみる。	小学生	7月
	わくわく科学教室 「シリカゲルを科学する」 *水や水分を操ることにより、物質がさまざまに変化することを専門の研究者とともに実験を通じて楽しく学ぶ。	小学4～6年生と保護者	8月
	わくわく科学教室 「イカを科学する」 *函館市の魚であるイカの解剖を通して、その見方や考え方について学習する。	小・中学生と保護者	11月
	わくわく科学教室 「もしも原子がみえたなら」 *原子・分子について考えながら、併せて1億倍に拡大した模型を発泡スチロールで制作する。	小学生と保護者	1月
博物館講座「歴史」 (単講座)	展示開設セミナー企画展「アイヌ語地名を歩く」 「山田秀三文庫の地名調査資料について」 *道南のアイヌ語地名について、巡回展の資料を見ながら解説する。	一般市民	10月
	企画展「アイヌ語地名を歩く」講演会(2回) *渡島・檜山・津軽海峡地域のアイヌ語地名について講演を行う。	一般市民	10月
	「アイヌ語地名めぐりの旅」(バスツアー) *道南のアイヌ語地名やアイヌ文化を紹介する施設をめぐる。	一般市民	10月
	展示解説セミナー特別展 「榎本武揚」 *榎本武揚について特別展の資料を見ながら展示解説を行う。	一般市民	7月
博物館講座「考古」 (単講座)	夏休み考古学講座 「遺跡発掘体験」 *南茅部地区にある遺跡の現場を訪れ体験発掘を行う。遺跡の基礎知識と考古学の基本を学ぶ。	小学4～6年生と保護者	7月
	夏休み自由研究 「縄文体験 - 動物の骨で(つり針)を作ろう」 *縄文人がどのようにして(つり針)などを作ったのかを、実際の作業を通じて知ること、縄文人の生活の知恵を探る。	小学4～6年生と保護者	9月
博物館講座「考古」 (単講座)	夏休み考古学講座 「勾玉を作る」 *遺跡から出土した勾玉を見本にそのレプリカを作製する。	小学4～6年生と保護者	7月
	「親子で行く今金・太古の旅」(バスツアー) *後志利別川で100万年前の貝化石の発掘を体験し、あわせて今金町美利河遺跡を見学する。	小学3年生～中学生と保護者	8月
	「土器づくり」 *縄文時代などで使われた土器を見本にレプリカを作製し、縄文人の知恵を学ぶ。	小学4～6年生と保護者	8月
博物館講座「美術」 (単講座)	親子でつくる「ペタペタアート」 *ポスターなどの身近にある紙の素材を持ち寄り、それをちぎって紙を貼り、一つの絵を完成させる。	小学生と保護者	7月
	冬休み自由研究 「さし絵に挑戦！」(函館市文学館共催) *物語の1場面をさし絵に描いてみる。	小学生	1月

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
博物館講座「民俗」 (単講座)	夏休み自由研究 「昔の道具を調べよう」 *明治から昭和にかけて家庭で使われていたさまざまな道具を見て触って調べる。	小学生	8月
	冬休み自由研究 「蓄音機を鳴らしてみよう」 *博物館に収蔵している蓄音機を実際に触れ、さらにそれが奏でる音楽を鑑賞する。	小学生と保護者	1月
	「手づくりおもちゃで遊ぼう」 *博物館に収蔵しているおもちゃを参考にさまざまなおもちゃを工夫しながらつくってみる。	小学生と保護者	1月
博物館講座「自然科学」 (通年講座)	自然観察入門講座 「自然の物知り博士を目指そう」 *函館山を中心に植物・鳥類などを四季を通して観察を行い、自然観察の方法を学ぶとともに、函館で見られる生きものの分布図を作る。	小学4年生 ~一般市民	4~3月
	四季の星空観測講座 「函館・四季の夜空観測」 *天体観測の基礎知識を学び、函館市内から見える星座・惑星を四季を通して実際の夜空を天体望遠鏡・双眼鏡などで観測し記録していく。	小学4年生 ~一般市民 (小学生は保護者同伴)	5~1月
特別企画展	「函館繁盛記 - 街を支えたモノツクリ -」 *博物館と合併した地域の所蔵する産業の資料を中心に、第1次産業やかつて函館のモノツクリを支えた諸職を取り上げ、あたらしい函館の素顔と各地域間のかかわりを展示・紹介する。	一般市民	5~7月
	「国宝中空土偶と函館発掘物語」 *中空土偶を中心に、函館や道南考古学の発展の歴史を紹介するとともに同時に南茅部を中心とした、函館で発掘された最新の考古資料を展示・紹介する	一般市民	9月
特別展	「没後100年榎本武揚 - 箱館戦争の光と影 -」 *蝦夷地の開拓に執念を持って取り組んだ武揚の歩んだ道と近代国家として歩み出した明治期の日本がたどった道を展示・紹介する	一般市民	7~9月 10~11月
企画展	「アイヌ語地名を歩く - 山田秀三の地名研究から -」 *アイヌ語地名の研究者である山田秀三の研究成果のうち私達が住んでる道南地方の地名を取り上げ、道南のアイヌ文化への興味を深めてもらうことを目的としている。	一般市民	10~11月
	「新収蔵資料展」 *平成19年度に新たに博物館に収蔵された資料を一堂に展示公開する。	一般市民	10~11月
館報「サラニップ」の発行	博物館の業務、事業、資料関係を関係機関に周知する。	関係機関	3月
「研究紀要」の発行	博物館活動の一環である学芸員などの研究成果を発表する。	関係機関	3月

9 中央図書館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
絵本等の読み聞かせ	本の読み聞かせと紙芝居を実施する。	幼児・児童	通年
郷土の歴史講座	郷土史に関する各種テーマについての講義を行う。	一般市民	5~3月
市民文芸作品の募集	小説・詩・俳句・短歌など文芸8部門の作品募集と作品集の刊行。	一般市民	6~8月

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
函館地区読書感想文コンクール表彰	母と子が一同に会し、読書について共通理解を深める。	児童・生徒 父母	11月
図書館ボランティア養成講座	図書館ボランティアを目指す市民がボランティアの基礎、役割、実技を学ぶ。	一般市民	4月
初心者のための読み聞かせ講座	講義、実技、話し合いを通じて読み聞かせの基礎と実技を学ぶ。	一般市民	6～9月
はじめての古文書解読講座	初心者が古文書に親しみ、郷土史に対する理解を深めることを目的に開催する。	一般市民	5～8月
古文書解読ボランティア養成講座	図書館等における古文書解読ボランティアを志す者を対象に、古文書解読上級者として必要な知識、技術などを学ぶ。	一般市民	6～10月
点訳奉仕者養成講座	点字の読み方、打ち方を習得し、視力障がい者の読書活動を援助する。	一般市民	6～8月

10 市民会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
鑑賞型事業	ざいだん出前コンサート 財団創立20周年記念「紀尾井シンフォニエッタ東京」函館演奏会 財団創立20周年記念 松竹大歌舞伎 函館公演 渡辺貞夫クインテット 2008 函館公演 親子のためのクラシック・コンサート「音楽の絵本」 財団創立20周年記念 NHK交響楽団 函館公演 レ・フル2ndアルバム「ピアノ・ピットレスク」発売記念ライブ Piano Pittoresque in HAKODATE 劇団四季ミュージカル「ジーザス・クライスト=スーパースター」函館公演 デイズニー・オン・クラシック～まほうの夜の音楽会2008(財団創立20周年記念) 財団創立20周年記念 東京バレエ団「ニューイヤー・ガラ」コンサート 財団創立20周年記念 札幌交響楽団 函館演奏会	一般市民	5～10月 6月24日 7月7日 8月5日 8月17日 9月3日 9月27日 10月29日 11月22日 1月25日 3月24日
育成学習型事業	函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ育成事業 ざいだん「邦楽こども教室」 ざいだん「邦楽こども教室」(短期コース) 函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ第9回定期演奏会 東京バレエ団ダンサーによるトーク&レクチャー	小～高校生 小学生 小学4年生 ～中学生 一般市民 一般市民	4～3月 6～2月 8月4～8日 12月～1月 9月28日 12月23日
参加創造型事業	市民文化祭 展示部門 「函館アートフェスティバル」 舞台芸術部門 函館市民オペラの会「コシファントウツテ」	一般市民	11月6～10日 11月8・9日
広報事業	財団ニュース「ステップアップ」の発行 ・市内および近郊の文化・スポーツ情報の提供機関誌 財団創立20周年記念 第13回ざいだんフェスティバル	一般市民	毎月1日発行 32,000部 8月31日

11 芸術ホール(ハーモニー五稜郭)

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
鑑賞型事業	財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念リサイタル・シリーズ 諏訪内晶子&ニコラ・アンゲリッシュ デュオ・リサイタル 長谷川陽子&仲道祐子 デュオ・リサイタル 伊藤恵ピアノ・リサイタル 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 NHK FM「ベスト オブ クラシック」公開録音 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 長谷川陽子&仲道祐子「親子のためのリサイタル」 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念ミュージック・フェスティバル ジャズ・フェスティバル 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト 地元演奏家と札幌団員による「モーツァルトの室内楽のタペ」 矢野沙織 JAZZ LIVE 2008 村治奏一 ギター・リサイタル 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 森洋子チェンバロレクチャーコンサート 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念リサイタル・シリーズ 小菅優ピアノ・リサイタル 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル 大平まゆみと仲間たちクリスマス・コンサート 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 庄司紗矢香&イタマール・ゴラン デュオ・リサイタル	一般市民	4月3日 5月24日 6月6日 5月15日 5月24日 6月29日 7月8日 7月12日 7月16日 7月27日 8月30日 10月11日 11月16日 12月21日 1月8日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
鑑賞型事業	財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 市民と奏でる「広瀬量平の音楽世界」 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 地元演奏家によるリサイタル	一般市民	2月8日 2月22日
育成学習型事業	弦楽アンサンブルクリニック クリニック 財団創立20周年記念/芸術ホール開館10周年記念 函館市芸術ホール管弦楽団 メモリアル・コンサート～管弦楽と合唱の夕べ～ 第18回函館市芸術ホール管弦楽団演奏会 函館舞台塾2008演劇教室舞台セミナー 演技コース スタッフコース 卒業公演 函館舞台塾2008バックステージツアー 音響・照明編 舞台・施設編 高校演劇舞台技術講習会	一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 高校生	4～3月 7月20日 未定 5～3月 5～3月 3月7・8日 6月3日 6月10日 9月2日
参加創造型事業	市民文化祭 展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」 「ぶんだん秋の庵」 舞台芸術部門「華麗・錦秋の夕べ」	一般市民	11月1～5日 11月1～5日 11月2・3日
奨励型事業	ZAIDAN JAZZ&MUSIC SALON 第1回 第2回 第3回 平成20年度新人演奏会 オープンギャラリー事業 雅朋会 雅楽演奏会 m ka ワンマンライブ 一番星に歌う～Vol.2 ほろ酔いライブ 真夏のロック Harvest Moon登場！ Moon Light Contemporary Dance Act 秋の気配・・・ 函館舞台塾2008演劇フェスティバル 高文連道南支部演劇発表大会 芝居組「虎」公演 劇団はこだて公演 劇団函館創芸公演 劇団G4公演 公立はこだて未来大学演劇部公演 劇団自由飛行館公演 北海道教育大学函館校演劇部公演 メモリアル・コンサート・フォー・ユーVol.11	一般市民	5月11日 8月31日 12月7日 6月8日 7月2日 7月17日 8月13日 8月19日 8月25日 8月30日 10月2・3日 10月11日 10月18日 11月7日 11月9日 11月14日 11月24日 12月6日 1月18日
展示事業	市民美術展「はこだて・冬・アート展」 受賞者作品展 第9回「はこだて・冬・アート展」	一般市民	11月13～23日 2月7～15日

12 北洋資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
第14回 函館の「海と港」 児童絵画展	市内の小学生から「海と港」に係わる絵画を募集し、展示することにより、多くの市民、特に次世代を担う子どもたちに「海と港」の重要性を認識してもらうことを目的に、「海の記念日」の関連行事の一環として開催する。	市内の小学校に在学する児童	7月20～27日
北の海子ども体験教室 海の森からの贈りもの ～海藻おしば作り～	講師の先生をお招きして、海藻の観察やおしば作りを体験してもらい、海藻が生態系の中で果たす役割、ひいては大切な地球環境の保全の問題を考えてもらうために開催する。	市内の小学校に在学する児童	8月3日

13 北方民族資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
体験学習講座 ムックリ製作・演奏 体験	アイヌ民族の伝統的な楽器ムックリ（口琴）の製作・演奏体験を通して、アイヌ文化に対する理解を深める。	小学4年生以上	4～3月

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
体験学習講座 北方民族文様の切り紙細工体験	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族に伝わる美しい文様を、切り紙細工で再現することによって北方民族の文化に触れる。	一般市民	4～3月
財団創立20周年記念コンサート「アイヌの伝統音楽～トンコリの調べ」	樺太アイヌの伝統的楽器「トンコリ」奏者OKI氏による演奏や講話を通して、アイヌ民族音楽を紹介することにより、アイヌ文化に対する理解を深める。	一般市民	5月31日
夏休み自由研究 「北方民族の生活を調べよう」	函館で展示・収蔵する北方民族の資料を調べながら、アイヌ民族をはじめ北方民族の生活や文化に触れるとともに、博物館（資料館）を身近に感じてもらう。	小学4年生～中学生	7月29・30日
夏休み自由研究 「親子体験 北方民族文様の切り紙細工をしよう」	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族に伝わる美しい文様を、切り紙細工で再現することにより、親子で北方民族の文化を体験する。	小学生とその保護者	8月9日
特別講演会 「アイヌの造形～木彫りからみたアイヌ工芸の世界」	アイヌ民族に古くから伝わる伝統的な木彫りの文様や技法を駆使した、アイヌ工芸の世界についての講演会を開催する。	一般市民	8月23日
アイヌ文様木彫り教室	アイヌ伝統工芸伝承者の指導により、アイヌ民族に古くから伝わる伝統的な木彫りの文様と技法を、作品作りを通して学ぶ。	一般市民	9月13・14日
アイヌ文様刺しゅう教室 初級編	アイヌ刺しゅう伝承者の指導により、アイヌ民族に古くから伝わる伝統的な文様や刺しゅうの技法について、作品作りを通して学ぶ。	一般市民	10月11・12日
アイヌ文様刺しゅう教室 入門編	アイヌ刺しゅう伝承者の指導により、アイヌ民族に古くから伝わる伝統的な文様や刺しゅうの技法について、作品作りを通して基礎を学ぶ。	一般市民	10月13日
ミュージアム・トーク	アイヌ民族をはじめ北方民族の歴史や文化について、第一線の研究者を招き講演会を開催する。	一般市民	11月8日
冬休み自由研究 「アイヌの伝統楽器～ムックリをつくろう」	アイヌ民族の伝統的な楽器ムックリ（口琴）の製作・演奏体験を通して、アイヌ文化を学ぶ。	小学4年生～中学生	12月26日
土曜講座 「アイヌの歴史と文化」	様々なテーマによる6回の講話を通して、アイヌ民族の歴史や文化を学ぶ。	一般市民	12～3月
北方民族資料館企画展 「アイヌの伝統工芸～木彫の技」展	アイヌの人々が使用した道具類は男性の手仕事で製作されていた。一本の小刀で削り出された文様・造形が醸し出す美しさやその技に視点を当て木彫作品の数々を展示する。	一般市民	7～10月
北方民族資料館企画展 収蔵資料展	当館収蔵の資料のうち、常設展示では公開していない資料をテーマを設けて展示する。	一般市民	1～3月

14 文学館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
文学館企画展	「児童書のなかの石川啄木」展 石川啄木直筆資料展 「決心～明治41年東京の石川啄木」 ～希望と自信を胸に創作活動へ～ 「明治44年1月・2月の書簡より」 「久生十蘭『従軍日記』」展 財団創立20周年記念/文学館開館15周年記念 啄木絵画展「啄木を描こう」 財団創立20周年記念/文学館開館15周年記念 啄木短歌書道展「啄木短歌を書こう」	一般市民	4～12月 4～10月 10～4月 7～8月 10月1～31日 11月～12月
石川啄木講座	「啄木への視線～藤沢周平・新井満とふるさと人を中心に」	一般市民	6月21日
自由研究	クイズ・石川啄木と函館 函館・盛岡啄木交流かるた大会 さし絵に挑戦！	小学生	7～8月 10月4日 1月9日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
文学の夕べ	第1回「久生十蘭直筆資料展に寄せて-貴重資料の見どころ解説」 第2回「啄木についての考察」 第3回「有島武郎の聖と性」 第4回「石川啄木にとっての北海道」 第5回「道南の句碑」 第6回「鷗外と啄木」	一般市民	7月15日 8月12日 9月2日 11月18日 12月2日 1月20日
文学館講演会	「高樓方子-児童文学の魅力」	一般市民	10月11日
文学紀行	「瀬戸内路の文学館を訪ねて」	一般市民	11月7～9日
特別講演会	朗読で綴る函館の文学	一般市民	2月21日

15 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
公会堂コンサート	弦楽器、ピアノ、合唱等のミニコンサート(32コンサート)	一般市民	6～10月
財団創立20周年記念 旧函館区公会堂舞踏会	かつて地方の鹿鳴館とも呼ばれた旧函館区公会堂の往時の華やかさや雰囲気体験していただく。	一般市民	7月23～25日

16 青年センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
青年センター教室	きもの着付けや英会話など5種類の講座を開催し、青年の一般的教養を図るとともに青年相互の交流を図る。	勤労青年	5～3月
財団創立20周年記念 特別入門教室	料理、手工芸、ダンス、語学など9種類の講座を開催し、青年の一般的教養を図るとともに、青年相互の交流を図る。	勤労青年	6～11月
ユースカレッジ	スポーツ、レクリエーションなどの多彩な講座や社会活動への参加を通じ、豊かな人間性を養う。	勤労青年	6～12月
国際交流事業	外国人との交流を行い、国際親善活動への参加と視野を広める。 国際交流のつどい、国際交流サロンの開放。	留学生を含む外国人勤労青年サークル代表者等	8月21日
'08青年センター フェスティバル	青年サークルの研修結果の発表や、市民に対する青年活動の広報等を行うことにより、サークル間の交流を図り、相互の連帯感を深める。	勤労青年 一般市民	10月19日
フレッシュテニス教室	硬式テニスの実技と技術の向上を図る。	勤労青年	6～9月
第18回ステップアップ杯勤労青年交歓ソフトボール大会	勤労青年を対象としたソフトボール大会	勤労青年	7月6日
第18回ステップアップ杯勤労青年交歓ソフトバレーボール大会	勤労青年を対象としたソフトバレーボール大会	勤労青年	3月8日

17 亀田青少年会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
こどもまつり	軽スポーツ、ゲーム大会、レクリエーションダンス、宝さがし等を行う。	中学生以下	7月27日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
小学生卓球教室	夏休みにおける小学生の体力増進と卓球の普及を図る。	小学生	8月4～9日
ステップアップ杯小学生卓球大会	小学生を対象とした卓球大会。	小学生	8月10日
ステップアップ杯わんぱく少年少女卓球大会	中学生を対象とした卓球大会。	中学生	9月7日
ステップアップ杯小学生親子輪投げ大会	小学生親子のダブルス・トーナメント方式による輪投げ大会。	小学生と保護者	11月9日
小学生わんぱくチャンバラ教室	冬休みにおける小学生の体力増進と参加者の交流・親睦を図る。	小学生	1月8～10日
ステップアップ杯小学生わんぱくチャンバラ大会	小学生わんぱくチャンバラ教室の成果を披露する大会。	小学生	1月11日
ステップアップ杯小学生わんぱくチャンバラ大会	小学生わんぱくチャンバラ教室の成果を披露する大会	小学生	1月13日

18 市民体育館

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
スポーツ教室	「初級・中級者卓球」 「ジュニア室内サッカー」 「シニアスポーツ」 「親子体育」 「わんぱく」 「ミニバスケット」 「やさしい筋力アップストレッチ」 「心身リフレッシュ体操」 「体引き締めトレーニング」 「ソフトバレー」	一般市民 小学生 一般市民 幼児・保護者 小学生 小学4年以上 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民	4～9月 4～2月 4～11月 4～11月 4～2月 4～2月 4～11月 4～10月 4～9月 5～10月
総合型地域少年スポーツ教室	旧4町村の子供達を対象に、全道的に活躍している指導者を招き、気軽にスポーツに親しみながら技術向上を図る。	小学生～一般市民	未定
財団創立20周年記念マッスルピック～筋肉の祭典～	類まれなる身体能力を持つ出演者の個々の力を最大限に生かし、不可能を可能にするなどの一流のエンターテイメント作品を市民に提供する。	一般市民	6月10・11日
「中山智香子」バドミントン教室	アテネオリンピック日本代表の中山智香子氏を講師に招き、直接指導をしてもらう。	中学生 一般女性	6月28・29日
財団創立20周年記念東レアローズバレーボール教室	Vプレミアリーグの東レアローズ男子バレーボール部を招聘し、指導をしてもらう。	小学生～一般	7月19日
函館市地域スポーツ指導員研修会	スポーツ指導における基礎的な理論・技術などを学び、学校開放や町会、職場、一般サークルなどで指導に当たる指導者の資質向上を図る。	函館市地域スポーツ指導員	9～11月
市民スポーツ講演会	オリンピックのファイナリストであり、2003年パリ世界陸上銅メダルの末續慎吾のコーチである高野進氏を講師に迎え、スポーツに打ち込む情熱やその生き様を通して、スポーツの振興と発展を図る。	一般市民	8月29日
ピラティス&ヨガ教室	山岡有美氏を講師に招き、「誰にでもできる普遍的なエクササイズ」を指導してもらう。	一般市民	10月19日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
財団創立20周年記念 NHK「あなたとエアロビック」	NHK BS-2「あなたとエアロビック」の公開放送 メインキャスターは知念かおる氏	一般市民	10月25日
財団創立20周年記念 日本バスケットボール リーグ男子 レラカムイ北海道戦	バスケットボールの観戦を通して、スポーツの振興と発展を図る。	一般市民	11月15・16日
NHK杯道南地区タグ ラグビー大会	タックルの代わりにタグ(リボン)を使った安全で誰もが楽しむことができる「タグラグビー」を通して、親睦と交流を図る。	一般市民	11月23日
市民スポーツ研修会	スポーツ指導のあり方を研修してもらう。	一般市民	2月
財団創立20周年記念 ソフトバレーボール大会	ニュースポーツの一つとして、市民の間に定着し、人気の高いソフトバレーボール大会を開催し、市民のスポーツを通じた交流の促進、さらなるスポーツの普及・振興を図る。	小学生～ 一般市民	2月28日 3月1日
財団創立20周年記念 バレーボールV・プレミア リーグ男子大会	バレーボールの観戦を通して、スポーツの振興と充実を図る。	一般市民	3月21・22日
トレーニング講習会	トレーニング器具の正しい使い方とトレーニング法を学ぶ。	一般市民	未定

19 市民プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
ワンポイントレッスン	定期的に水泳教室に参加できない方や上達を目指し個人的にレッスンを受けた方が対象で1教室3名の教室。	一般市民	4～3月
水泳教室	「市民水泳教室」(午前の部・午後の部) 「サタディナイトコース」 「サンデイスイム」 「きっちり4泳法マスターコース」 「きっちり4泳法ナイトコース」 「パワフルスイム」 「パラエティーコース」 「専科コース」 「少年少女わんぱく水泳教室」 「ウォータビクス教室」 「ウォータビクスロング教室」 「水中ウォーキング教室」(昼の部・夜の部) 「ロング50マスターコース」 「ゆっくりゆっくり水泳教室」 「幼児の水遊び教室」	満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 小学生 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 4・5歳児	4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月
着衣水泳体験研修会	野外での水の事故防止に役立つ「着衣水泳」を体験する。	小学生以上	4月1日
こどもの日無料開放	少年・少女の健全育成のため中学生以下無料開放。	中学生以下	5月5日
市民プールまつり	幼児、小・中学生、父母が一緒に楽しめるいろいろなレクリエーションを行う。25m・50m・幼児プールは無料開放。	一般市民	6月29日
市民水泳記録会	大会と同じ計器類を使用し、自分のタイムを知り、今後の励みにしてもらう。	小学生以上	12月21日

20 千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
財団創立20周年記念 プロ野球パ・リーグ公式 戦「北海道日本ハムフ ァイターズVS福岡ソフト バンクホークス」	プロ野球の観戦を通して、スポーツの振興と発展を図る。	一般市民	5月10・11日

21 千代台公園庭球場

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
初心者テニス体験コース （第1期・第2期、 昼・夜コース）	初心者を対象にテニスの基礎的な技術の習得を図る。	18歳以上	4月・7月
テニス教室 （第1期・第2期、 昼・夜コース）	テニスを通して健康・体力づくりとスポーツの振興充実を図る。	18歳以上	5～10月

22 千代台公園陸上競技場

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
財団創立20周年記念 Jリーグヤマザキナピ スコカップ「コンサドー レ札幌VSジェフユナイテ ッド千葉」	プロサッカーの観戦を通して、スポーツの振興と発展を図る。	一般市民	5月25日
財団創立20周年記念 南部忠平記念陸上競技 大会	北海道が誇るアスリート、南部忠平氏の功績を称えて、開催する大会で、札幌市以外の開催は函館初。北京オリンピックの最終予選を兼ね、トップアスリートの迫力ある戦いを身近に観ることができる。	一般市民	7月6日
グリーンパーク みんな であそぼ！	幼児・児童を対象に陸上競技場で芝生を楽しめるレクリエーションを実施する。	幼児・小学校低学年	7月27日 9月23日

23 市民スケート場

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
スケート場 イベントデー	簡単なゲームなどによりスケートの楽しさを知る。	一般市民	12・1・2月
スケート場初滑り お年玉プレゼント	運動不足になりがちな冬期間のスポーツであるスケートを市民に大きくアピールする。	一般市民	1月2日
スケート教室	初心者スケート教室 ジュニアフィギュア教室 親子フィギュア教室	小学生 小・中学生 親子(4～6 歳)	未定
スケート実技講習会	冬期間の市民の健康・体力づくりやスケート普及を図るため、指導者への指導法の講習を行なう。	一般市民	未定
伊藤みどり スケート教室	アルベールビルオリンピック銀メダリストの伊藤みどり氏を講師に招き、直接指導をしてもらう。	一般市民	未定

24 戸井教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
芸術文化鑑賞教室	児童に芸術鑑賞の機会を提供し、情操を豊かにすると共に、芸術文化意識の高揚を図る。	小学6年生	7月25日
大間町との交流	大間町音楽祭への参加 大間町文化祭への出展	中学校吹奏楽部・文化団体	11月1～2日
	はまなす駅伝大会参加	小学生～高校生	9月28日
地域文化祭	地域社会に結びついた芸術文化の創造と普及を狙いに文化祭を開催し、地域文化の振興を図る。	一般市民	10月26日
生涯学習セミナー	輪踊り教室 陶芸教室	一般市民	6月 8月
ふれあい学園	高齢者の健康づくりと生きがいのある生活実現のための学習活動・社会参加を促進する学習活動・高齢60歳以上の地域市民の持つ知識や技能を活用できる学習活動を促進し、豊かな地域社会の実現を図る。	戸井地域市民 (60歳以上)	5～7月 11～3月
子ども体験事業	物作り体験教室 本の読み聞かせ教室	小学生 3～12歳	7月25日 5～3月
少年体育事業	小学生水泳教室 小学生ミニバレーボール大会 ウィンタースポーツ教室	小学3年生～ 中学生	8月5～8日 2月7日 1月8～9日
	小学校陸上競技記録会	小学生選抜	9月5日
一般体育事業	パークゴルフ教室 玉入れ大会 グランドゴルフ大会 ゲートボール交流会	一般市民 中学生以上の 一般市民 一般市民 "	5月 5月28日 6月12日 12～3月 (月1回)
道南駅伝競走大会	小・中学生、高校生男子・女子・一般別の駅伝大会	一般市民	10月19日

25 恵山教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
文化財等の公開 (恵山郷土博物館)	先住民の重要埋蔵文化財の公開 郷土恵山の歴史を知る上で貴重な資料を展示する。	一般市民	5月1日～ 8月31日
春の社会体験学習(手作り体験と施設見学)	手作りを体験させるとともに、社会教育施設等を見学し、施設に親しみ学習の機会を与える。	小学4～6 年生	5月18日
第2期函館市恵山 ふれあい高齢者大学	恵山地域住民を対象に、一般教養や趣味等、2年間継続的な学習の場を提供する。	恵山地域市民 (60歳以上)	5～2月 年6回
秋の収穫体験学習 (果物・野菜等の収穫しよう)	実りの秋、近隣の畑・果樹園等の収穫を体験させ四季の感触を感じさせるとともに、自然にふれあう心を養う。	小学4～6 年生	10月11日
恵山地区文化祭および ステージ発表会	恵山地域の芸術文化活動に対する関心を高め、展示を中心にし芸能発表の場を設け、地域の文化の振興を図る。	サークルおよび 一般市民	11月1日予定
新春書き初め会 戸井・楸法華地区と共催	戸井・恵山・楸法華地区の小中学生が一堂に会し交流を図るとともに、年始めの新たな気持ちを表現し、書道を通して集中力を養う。	小・中学生	1月7日
ジュニアリーダー 宿泊研修会	子ども会のリーダー養成を目的に、集団宿泊を通して規律自主性・協調性を養う。	小学4～5 年生	1月8～9日
軟式野球大会	健康増進と体力づくりの一環として、野球を通じてスポーツの普及と地域の交流を図る。	一般市民	9月7日
小学生夜間水泳教室	基本的泳法を身につけ、夏の体力づくりと水の安全を習得させる。(5日間)	小学3～6 年生	7月29日～ 8月8日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
少年野球大会	児童生徒の健康増進と体力づくりの一環として、野球を通して交流と仲間づくりを図る。	小学生	10月4日
バドミントン教室	バドミントンの基本を身につけ、教室での体験を生かし、クラブの育成を図る。	小・中学生	11月18～28日
小学生親子玉入れ大会	玉入れを通して親と子のふれあいを高め、併せて体力づくりと仲間づくりを図る。	小学生および保護者	11月16日
ミニバレー冬季大会	ミニバレーを通して、相互の親睦を深め冬期間の体力の向上と仲間づくりを図る。	一般市民	2月上旬
ゲートボール冬季大会	冬期間の高齢者の健康増進と仲間づくりを図る。	高齢者	2月上旬

26 楸法華教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
体験教室事業	異世代間の交流や陶芸づくりをととして、物を完成させる喜びやあきらめない姿勢を養う。 陶芸教室(年2回)	一般市民 (小学生以上)	4月19～20日 5月17～18日 11月・12月
第14回新春書き初め会事業 (恵山地区と共催)	恵山地区・楸法華地区の小中学生が一堂に会し交流を図るとともに、日本の伝統文化である書道をととして、あきらめない気持ちや集中力を養う。	小・中学生	1月6日
第17回風間浦村・楸法華地区友好地域子ども交流会事業	青森県風間浦村との地域子ども交流。一泊二日の団体生活や体験活動をととして、協力する気持ちを養い、友好を深めながら、互いの地域の特色を学ぶ。	小学4～6年生	7月31日～ 8月1日
第35回楸法華ふれあい大運動会事業	地域の交流と健康について自覚を高め、レクリエーションスポーツをととして、健康の増進を図る。	楸法華地域市民	6月28日
生涯スポーツ普及事業	地域のスポーツ振興を目的とし、参加者相互の交流を図りながら、健康について自覚を高める。 地域交流ミニバレーボール大会 地域交流パークゴルフ大会	楸法華地域市民	11月7日 10月26日
健康推進事業	秀峰「恵山」の登山をととして、自然とふれあいながら山登りの楽しさを感じ、併せて健康の増進を図る。 恵山登山(春・秋)	一般市民	5月31日 10月4日
高齢者ふれあいいきいき学級事業	高齢者の健康づくりと生きがいのある生活の実現のために、「ふれあい」を感じる学習活動や高齢者がもつ豊かな知識・経験を活用できる学習活動、交流を促進し、豊かな地域社会の実現を図る。 ・健康講座「軽運動」等 ・チャレンジ教室「英語に親しもう」全6回 ・文化伝承講座 ・研修旅行	楸法華地域市民 (60歳以上)	5月22日 9月中旬 12月 11月

27 南茅部教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
文化振興事業 南茅部地域文化祭	地域で文化活動している個人やサークルなどの活動成果を発表する場として地域文化祭を開催して、地域文化の高揚を図る。 ・文化作品の展示、各種発表会等	一般市民 (南茅部地区 居住者優先)	11月3・4日 (予定)
青少年事業 書き初め大会	日本の伝統である書き初めの風習に親しみ、心をこめて課題の文字を書こうとする態度を育て、互いの作品を鑑賞し合い、書道への関心・興味を深め、毛筆表現力の向上を図る。 ・新春行事として書き初めと作品の展示	一般市民 (南茅部地区 居住者優先)	1月

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
青少年事業 親子わくわくキャンプ	キャンプを体験することにより、野営の初歩的な技術の習得と共同作業での規律や協力することの大切さを学び、親子のふれあいと地域の子どもの間の交流を深める。 ・オリエンテーリング、屋外炊事、テント泊	小学3～6年生とその家族(南茅部地区居住者優先)	8月
青少年事業 親子でおもちゃ作り&もちつき大会	冬休み期間中に親子がふれあいながら体験できる教室を開催し、健全な青少年の育成と参加者相互の交流を図る。 ・昔のおもちゃ作りと臼による餅つき体験	小学生とその家族(南茅部地区居住者優先)	12月
函館市南茅部 沿岸漁業大学	函館市の南茅部地域において、浜に生きるお互いが生活理念や漁業環境の変化に的確に対応しながら、より豊かな、より安全な生き甲斐に満たされた生活が営まれるように関係団体は、共同して生涯教育の機関を設置する。		
	資格取得講座 ・フォークリフト運転技能資格取得講座 ・2級小型船舶操縦士資格取得講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	6月 6月
	女性専科講座 料理教室・地域講座	一般市民 (女性・南茅部地区居住者優先)	1～3月
	高齢者専科講座 体験学習(予定)	一般市民 (高齢者・南茅部地区居住者優先)	10月
	市民教養講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	10～3月
	特別講演		11月
	専修課程講座		12～2月
南茅部地域 野球大会	野球を通して地域住民の親睦と交流を図る。	一般市民	5月
南茅部地域 卓球大会	卓球を通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～一般	1月
南茅部地域 バドミントン大会	バドミントンを通して地域住民の親睦と交流を図る。	小学生～一般	6月
南茅部地域 バレーボール大会	バレーボールを通して地域住民の親睦と交流を図る。	中学生～一般	1月
南茅部地域 ミニバレー大会	ミニバレーを通して地域住民の親睦と交流を図る。	中学生～一般	5月
南茅部地域 フットサル大会	フットサルを通して地域住民の親睦と交流を図る。	中学生～一般	10月
南茅部地域 バスケットボール大会	バスケットボールを通して地域住民の親睦と交流を図る。	一般市民	2月
南茅部地域 マラソン大会	マラソンを通して地域住民の親睦と交流を図る。	小学生～一般	9月
南茅部地域スキー大会	スキーを通して地域住民の親睦と交流を図る。	小学生～	2月
南茅部地域 小・中学生水泳大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与え健やかな体力づくりを進める。	小・中学生	10月
南茅部地域 少年野球大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与え野球を通して親睦を図る。	小学生	7月
南茅部地域 小学生フットサル大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与えフットサルを通して親睦を図る。	小学生	11月
親子の 冬フェスティバル	冬場の運動不足を解消し親子のコミュニケーションを図る。	小学生と 父母	2月
着衣水泳教室	衣服を着たまま水に入るとどのようなようになるか経験する。	小学生～一般	10月

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
一般水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	中学生～ 一般	5～9月 (18回)
少年少女水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	小学校3～ 6年生	5～10月 (42回)
ちびっ子水遊び教室	水慣れから水泳の初歩を学ぶ。	小学校1～ 2年生	5～10月 (32回)
ワンポイント水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	中学生～ 一般	4～10月 (15回)

(2) 平成19年度事業の実績

1 生涯学習部生涯学習課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
HAKODATEまなびっと広場	通年		
まなびっと2007体験講座	6月～3月(毎月1回) 11月18日(休)		560人
学習情報・指導者情報等の提供	通年		
放課後児童クラブ	通年(夏・冬・春休みを除く)		159人
地域放課後児童健全育成事業(学童保育)	通年		954人
放課後子ども教室推進事業	5～3月(6か所)		延10,604人
街頭補導活動	通年		
青少年相談業務	通年		
有害図書等販売状況調査	7月		
成人祭	1月14日		約2,000人
地域子ども交歓会の奨励	通年		6回
青少年育成フォーラム	7月10日		400人
青少年活動表彰	11月		8人
ふるさと学習広場	7月7日～10月27日 (毎週土曜日,17回)		延1,252人
函館市地域間子ども交流事業	6月16～17日 9月1～2日		68人 63人
水産・海洋体験学習プログラム(8事業) うち2事業悪天候のため中止	6月～12月	257人	108人
ウィークエンド・サークル活動推進事業	6～12月	各20人	延141人
家庭教育支援事業(講演会)	6月29日		50人
社会学級	通年		
社会教育事業の後援・奨励	通年		

2 公民館・亀田公民館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
公民館講座			
初歩の陶芸教室(昼間)	4月～6月(10回)	20人	20人
初歩のコーラス教室	5月～8月(12回)	50人	29人
初歩のギター教室(夜間)	6月～8月(12回)	20人	19人
初歩の陶芸教室(夜間)	6月～10月(12回)	20人	16人
文学教室	8月～11月(13回)	20人	20人
郷土の歴史教室	9月～12月(15回)	50人	58人
こども陶芸教室	10月～12月(5回)	15人	15人
初歩のステンドグラス教室	11月～2月(10回)	10人	13人
小学生の書道教室	4月～9月(18回)	30人	30人
小学生の絵画教室	4月～10月(18回)	30人	32人
初歩の絵てがみ教室(1・2期)	4月～2月(各20回)	80人	77人
初歩のフィットネス教室	5月～9月(13回)	40人	40人
生き活き健康教室	5月～8月(15回)	40人	36人
初歩のきもの着付教室	5月～11月(16回)	25人	26人
さわやかヘルシースポーツ教室(夜間)	5月～7月(10回)	35人	24人
初歩のパッチワーク教室	6月～8月(12回)	25人	27人
やさしいキーボード教室	6月～8月(8回)	20人	7人
初歩のかな書道教室	7月～11月(14回)	25人	25人
初歩のトールペイント教室	7月～11月(15回)	15人	15人
初歩の紙粘土細工教室	9月～11月(10回)	20人	17人
初歩の切り絵教室	10月～11月(7回)	15人	9人
料理教室(薬膳料理)	10月(4回)	16人	13人
高齢者大学(普通科)	5月～11月(23回)	300人	300人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館短期老人大学	4月～11月(48回)	120人	117人
親と子の写生大会・作品展	写生大会 7月29日 作品展 8月4日～11日	50組100人	38組78人
公民館グループ合同作品展	10月		21団体308人
文化講演会	11月18日	300人	73人
公民館受講生作品展	3月		198人

3 青少年研修センター(ふるる函館)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
四季のつどい(春) ～春のフレンドシップパック～	4月21～22日 (1泊2日)	50人	40人
四季のつどい(夏) ～野外劇参加と自然体験～	7月21～22日	50人	55人
四季のつどい(秋) ～春のフレンドシップパック～	9月29～30日 (1泊2日)	50人	51人
四季のつどい(冬)	2月16～17日 (1泊2日)	50人	66人
レクリエーション・インストラクター 養成講座	4月15日(日帰り) 5月13日(日帰り) 6月10日(日帰り) 6月24日(日帰り) 7月8日(日帰り) 8月19日(日帰り) 9月22～23日(1泊2日) 10月21日(日帰り) 11月18日(日帰り)	各50人	18人 19人 52人 14人 17人 15人 18人 17人 82人
ジュニアボランティア体験講座	5月19～20日 (1泊2日)	30人	24人
中学生・高校生・青年ボランティア養成講座 ～ヤングボランティアフォーラム～	12月15～16日 (1泊2日)	30人	30人
クリスマスフレンドシップ・パック	12月22～23日 (1泊2日)	70人	97人
ふるる広場			
そばを作って食べよう	6月16日	30人	38人
水産・海洋体験学習プログラム 海辺で遊ぼう!～磯遊びとカニ釣り体験～	8月4日 夏季休業中	80人	雨のため中止
函館山ナイトハイク	9月8日	40人	雨のため中止
パンを焼いてみよう!	10月20日	30人	36人
クリスマス・キャンドルをつくろう!	11月17日	60人	55人
紙ねんどで遊ぼう	1月20日	30人	15人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ふるる広場			
もちつきと節分の飾り物	1月19日	40人	36人
スポーツ・レクリエーションに挑戦!	3月8日	40人	56人

4 亀田福祉センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
亀田老人大学	5月13日～11月18日	4年制 1学年 80人	320人
子ども放送局	毎月第2・4土曜日 (8月除く22回)		424人

5 生涯学習部文化振興課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館市青少年芸術教育奨励事業	7月～11月		1,290人
学校開放事業(文化開放) 小・中学校(12校)	通年		21,896人
五稜郭ゆかりのまち交流事業 「はこだて絵手紙展」	1月11～18日 1月22～28日		

6 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
学校開放事業(校庭, スポーツ, 遊泳)	通年 遊泳開放は夏休み期間の土日		126,612人
海水浴場の開設 (湯川海水浴場, 入舟町前浜海水浴場)	湯川 7月15日～8月31日 入舟 7月24日～8月19日		30,818人 3,714人
函館ハーフマラソン大会	9月28日	1,800人	1,800人
コミュニティランニング	10月13日	400人	234人

7 生涯学習部文化財課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
文化財公開事業(五稜郭跡兵糧庫)	7月19日～9月26日		31,452人
大船遺跡埋蔵文化財展示館の運営	4月1日～11月12日		13,350人

8 博物館(本館・五稜郭分館)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
博物館講座			
天体観測シリーズ 春の星座観測	5月18日	16人	21人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
博物館講座			
地域の身近な自然を調べる 砂浜の漂着物を調べてアート体験しよう	6月2日 6月3日	15人	9人
展示開設セミナー特別企画展 蘇る北の縄文ロード-発掘された縄文の世界-	7月1日	30人	21人
夏休み自由研究 鉄道車両の仕組みとJR見学会	7月25日	40人	51人
わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」	7月26日	16人	16人
夏休み考古学講座 遺跡発掘体験	7月27日	20人	21人
分館展示解説セミナー特別展 「血戦! 戊辰戦争 -東北・蝦夷地の戦い-」(第1回)	7月27日	20人	18人
親子で作る「ペタペタアート」	7月28日	15人	13人
夏休み自由研究 縄文体験-動物の骨で釣り針を作ろう	7月31日	20人	17人
夏休み考古学講座 勾玉を作る	8月1日	20人	18人
バスツアー 親子で行く今金・太古の旅	8月3日	20人	台風のため中止
わくわく科学教室 シリカゲルを科学する	8月5日	20人	24人
夏休み考古学講座 土器づくり(1)・(2)	8月7・8日	20人	30人
夏休み自由研究 昔の道具を調べよう	8月9日	15人	19人
分館展示解説セミナー特別展 「血戦! 戊辰戦争 -東北・蝦夷地の戦い-」(第2回)	8月10日	20人	13人
「箱館戦争史跡めぐりの旅」 (バスツアー)	8月12日	50人	26人
天体観測シリーズ 秋の星座と中秋の名月観望会	9月7日	16人	4人
ナイトミュージアムinはこだて 「OKIが委でるトンコリの調べ」	9月8日		50人
本館展示解説セミナー 「アイヌからのメッセージ2007」 と講演会	9月22・23日	20人	30人
わくわく科学教室 「イカを科学する」	10月6日	16人	8人
地域の身近な自然を調べる 函館山に戻るカラスの様子を観察してみよう	10月20日	15人	5人
冬休み自由研究 蓄音機を鳴らしてみよう	1月8日	15人	18人
冬休み自由研究 さし絵に挑戦!(函館市文学館共催)	1月10日	30人	26人
冬休み自由研究 手作りおもちゃで遊ぼう	1月11日	30人	26人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
博物館講座			
わくわく科学講座 もしも原子がみえたなら	1月12日	16人	16人
自然観察入門講座 自然の物知り博士を目指そう	4月22日～3月9日	20人	26人
四季の星空観測講座 函館・四季の夜空観測	5月18日～1月25日	20人	23人
特別企画展 北の縄文ロード-発掘された縄文の世界-	7月1日～8月19日		(入館者数) 10,804人
特別展 アイヌからのメッセージ2007 -現在から未来へ-	9月2日～10月21日		(入館者数) 2,522人
特別展 「さらば五稜郭の星」 第1部 血戦! 戊辰戦争-東北・蝦夷地の戦い-	7月14日～9月17日		(入館者数) 18,718人
特別展 「さらば五稜郭の星」 第2部 さよなら これが五稜郭分館だ	10月2日～11月30日		(入館者数) 11,955人
企画展 新収蔵資料展	11月13日～12月16日		(入館者数) 4,403人

9 中央図書館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
絵本等の読み聞かせ	通年(303回)		6,530人
図書館ボランティア養成講座	4月15日	20人	20人
市民文芸作品	募集 6月1日～9月14日 作品集2月発行		168人
郷土の歴史講座	5月20日 6月23日 7月8日 9月8日 11月25日 3月9日		136人 22人 165人 149人 122人 168人
古文書解読講座 (基礎コース・応用コース)	基礎 6月9日～9月22日 応用 6月17日～10月7日		基礎 174人 応用 106人
初心者のための読み聞かせ講座	6月2日～9月15日		222人
点訳奉仕者養成講座	6月5日～8月7日		81人

10 北海道教育センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	数量
視聴覚機材・教材の貸出	4月1日～6月12日	機材 教材	3台 7本

* 函館市視聴覚ライブラリー規則：平成19年6月13日廃止

11 市民会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
鑑賞型事業			
ざいだん出前コンサート(6回)	5~10月	600人	650人
ポーランド国立クラクフ・フィルハーモニー管弦楽団 函館演奏会	4月7日	1,370人	829人
グランディーババレエ団 函館公演	6月30日	1,370人	1,370人
小野リサ ~ボサノヴァの風~	7月3日	1,370人	887人
イ・ムジチ合奏団 函館演奏会	10月15日	1,370人	812人
藤井眞吾ギター・リサイタル	11月20日	712人	365人
札幌交響楽団函館公演 ~青少年とのジョイント・コンサート~	11月25日	1,370人	842人
~親子のためのコンサート~ 宮川彬良と平原まことの「音 物語」	12月26日	1,370人	1,149人
川島成道ヴァイオリン・コンサート	2月29日	712人	589人
育成学習型事業			
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ育成事業			
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ育成事業	4~3月	20人	20人
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ 第8回定期演奏会	1月27日	1,370人	500人
ざいだん「邦楽こども教室」			
ざいだん「邦楽こども教室」	6~3月	20人	20人
ざいだん「邦楽こども教室」短期コース	(夏期)8月 (冬期)1月	10人 10人	7人 8人
藤井眞吾ギター講座 《アンサンブルの楽しみ》	11月18日~19日	40人	28人
平原まことの《サクソ・クラリネット・クリニック》	12月27日	30人	38人
参加創造型事業			
市民文化祭			
展示部門 「函館アートフェスティバル」	11月1~5日		780人
舞台芸術部門 市民ダンス公演「STEP BY STEP」	11月3日 11月4日	1,370人 1,370人	1,200人 1,100人
パフォーマンス「MUSIC FESTA」	11月4日		246人
ワークショップ 「きって・はって・作ろう」	11月4日		55人

12 芸術ホール（ハーモニー五稜郭）

事業名	実施時期	定員（募集人員）	参加者数
鑑賞型事業			
リサイタル・シリーズ			
山田晃子&オレグ・マイセンベルク デュオ・リサイタル	4月8日	712人	412人
小山実雅恵ピアノ・リサイタル	5月12日	712人	462人
高木綾子&吉野直子デュオ・リサイタル	6月1日	712人	504人
City of Jazz 2007	5月27日	842人	438人
ZAIDAN JAZZ FESTIVAL J8 寺井尚子カルテット・ライブ	8月24日	842人	648人
ブラジャーク弦楽四重奏団演奏会	9月8日	712人	377人
神尾真由子ヴァイオリンリサイタル	10月27日	712人	712人
リサイタル・シリーズ			
加羽沢美濃ピアノ・ファンタジー	11月22日	712人	418人
上松美香クリスマス・コンサート	12月22日	712人	522人
川井郁子ヴァイオリン・リサイタル	1月20日	712人	698人
2008スプリング・コンサート			
岩平尚子&森洋子 ジョイント・リサイタル	2月11日	712人	334人
景澤恵子ヴァイオリン・リサイタル	3月21日	712人	225人
伊藤野笛ピアノ・リサイタル	3月22日	712人	256人
育成学習型事業			
弦楽アンサンブルクリニック			
クリニック	4～3月	20人	15人
第16回 函館市芸術ホール管弦楽団演奏会	9月16日	712人	226人
第17回 函館市芸術ホール管弦楽団演奏会	3月16日	712人	549人
函館舞台塾2007演劇教室舞台セミナー			
演技コース	4～3月	20人	9人
スタッフコース	4～3月	10人	1人
卒業公演	2月23日 2月24日	842人 842人	103人 112人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
育成学習型事業			
函館舞台塾2007演劇教室舞台セミナー			
函館舞台塾2007バックステージツアー			
音響・照明編	6月12日	50人	34人
舞台編	6月26日	50人	19人
高校演劇舞台技術講習会	9月4日	60人	25人
参加創造型事業			
市民文化祭			
展示部門 「清秋・函館市文団協芸術展」	11月1～5日		1,624人
「ぶんだん秋の庵」	11月1～5日		1,142人
舞台芸術部門 「華麗・錦秋の夕べ」	11月3日 11月4日	842人 842人	415人 477人
奨励型事業			
新人演奏会	7月16日	712人	226人
オープンギャラリー事業			
芸術ホールゴールデンウィーク イベント	5月6日	500人	260人
風といっしょに～野外楽器あそび～	7月31日	500人	114人
Moonlight contemporary dance act	7月31日	500人	250人
ギター・オデッセイ	8月6日	500人	80人
雅朋会 雅楽演奏会	8月14日	500人	90人
m ka LIVE 一番星に歌う	8月20日	500人	90人
Lips 真夏のほろ酔いライブ	8月28日	500人	75人
新人演奏会	7月8日	712人	152人
ZAIDAN JAZZ FESTIVAL J8 第1回	8月4日	60人	60人
ZAIDAN JAZZ SALON 第2回	1月6日	128人	100人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
奨励型事業			
函館舞台塾2007演劇フェスティバル			
高文連道南支部演劇発表大会	10月8日	842人	110人
劇団はこだて公演(2回)	10月13日	1,684人	281人
芝居組「虎」公演	10月14日	128人	124人
劇団函館創芸公演(2回)	11月7日	1,684人	1,076人
公立はこだて未来大学演劇部公演	11月29日	842人	76人
劇団G4公演(2回)	12月2日	257人	147人
北海道教育大学函館校演劇部公演	12月6日	842人	52人
劇団自由飛行館公演(2回)	12月9日	1,684人	201人
メモリアル・コンサート・フォー・ユー Vol.10	1月14日	712人	183人
展示事業			
市民美術展「はこだて・冬・アート展」			
受賞者作品展	11月17～25日		1,034人
第8回「はこだて・冬・アート展」	2月9～17日		1,966人

13 北洋資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
第13回函館の「海と港」児童絵画展	7月22～29日		498人
北の海子ども体験教室 海の森からの贈りもの～海藻おしば作り	7月29日	午前 25人 午後 25人	午前 25人 午後 25人
北洋資料館企画展 街と歩んだ北洋漁業 - 二子口創業100年 -	9月11日～9月24日		2,471人

14 北方民族資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験学習講座			
ムックリ製作・演奏体験	4～3月	350人	480人
北方民族文様の切り紙細工体験	4～3月		383人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
北方民族資料館講座			
アイヌ文様木彫り教室	6月9日・10日	20人	21人
夏休み自由研究 「北方民族の生活を調べよう」	7月24日・25日	12人	13人
夏休み自由研究「親子体験 北方民族文様の切り紙細工をしよう」	8月1日	30人	33人
アイヌ文様刺しゅう教室 初級編 入門編	9月15日・16日 9月17日	20人 20人	15人 18人
アイヌの伝統工芸～樹皮編み教室	10月6～8日	20人	18人
ミュージアム・トーク 「アイヌ文化と自然環境の変遷」	11月10日	60人	98人
冬休み自由研究 「アイヌの伝統楽器ムックリをつくろう」	12月26日	20人	14人
土曜連続講座「アイヌの歴史と文化」 第1回～第6回	1月～3月	120人	129人
北方民族資料館企画展			
「タマサイの美～アイヌ女性の魂」展	7月7日～9月24日		9,907人
収蔵資料展「北の人々の暮らしに見る 動物のかたち」展	1月17日～3月11日		1,599人

15 文学館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
文学館企画展			
「児童書のなかの石川啄木」	4月22日～11月4日		13,786人
石川啄木来函100年記念 「直筆資料展～函館の132日間」	4月22日～10月17日		上記のうち 13,294人
石川啄木来函100年記念 石川啄木講座「啄木をめぐる女性たち」	6月23日	100人	145人
石川啄木来函100年記念 スペシャルトーク「風になった啄木」	8月26日	1,370人	680人
自由研究			
クイズ・石川啄木と函館	7月15日～8月19日	60人	56人
函館・盛岡啄木交流かるた大会	8月25日	30人	57人
さし絵に挑戦!	1月10日	30人	34人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
文学の夕べ			
第1回～第6回	7～1月	300人	314人
特別企画 石川啄木来函100年記念 「啄木の妻 石川節子の生涯～永遠の愛を 信じたく候～」	2月23日	50人	65人
文学館講演会 「再読, 賛嘆, 久生十蘭 - 新全集刊行に 向けて - 」	10月27日	100人	57人
文学紀行「四国路の文学館を訪ねて」	11月16～18日	25人	27人

16 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
公会堂コンサート(29コンサート)	6～10月	3,480人	2,673人

17 青年センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
青年教室(6教室)	5～3月	240人	190人
ユースカレッジ	6～12月	30人	16人
国際交流事業	8月23日	70人	61人
'07青年センターフェスティバル	10月21日		1,127人
フレッシュテニス教室(2期)	6～9月	120人	98人
第17回ステップアップ杯 勤労青年交歓ソフトボール大会	7月8日	9チーム 108人	11チーム 132人
第17回ステップアップ杯 勤労青年交歓ソフトバレーボール大会	3月9日	15チーム 90人	18チーム 90人

18 亀田青少年会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
こどもまつり	7月28日	130人	88人
小学生卓球教室	8月6～11日	40人	41人
ステップアップ杯小学生卓球大会	8月12日	50人	43人
ステップアップ杯夏休み少年少女わんぱく チャンバラ大会	8月18日	40人	21人
ステップアップ杯わんぱく少年少女卓球 大会	9月9日	120人	97人
ステップアップ杯小学生親子輪投げ大会	11月11日	40組80人	15組30人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
小学生わんぱくチャンバラ教室	1月7～12日	40人	48人
ステップアップ杯冬休み小学生わんぱくチャンバラ大会	1月13日	50人	57人

19 市民体育館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
スポーツ教室			
初級・中級者卓球	第1期 4～5月 第2期 8～9月	30人 30人	27人 26人
ジュニア室内サッカー	第1期 4～7月 第2期 8～11月 第3期 1～2月	70人 70人 20人	62人 59人 9人
シニアスポーツ	第1期 4～7月 第2期 8～11月	40人 40人	40人 40人
親子体育	第1期 4～7月 第2期 8～10月	50組100人 50組100人	39組 78人 50組100人
わんぱく	第1期 4～7月 第2期 8～10月 第3期 1～2月	60人 60人 30人	60人 69人 28人
ミニバスケット	第1期 4～6月 第2期 8～11月 第3期 1～2月	30人 30人 30人	26人 29人 19人
ソフトバレー	第1期 5～7月 第2期 9～11月	40人 40人	22人 19人
やさしい筋力アップ ストレッチ	第1期 4～7月 第2期 8～10月	30人 30人	30人 33人
心身リフレッシュ体操	第1期 4～6月 第2期 8～11月	40人 40人	40人 40人
体引き締めトレーニング	第1期 4～5月 第2期 8～10月	15人 15人	15人 9人
総合型地域少年スポーツ教室			
軟式少年野球	4月15日	60人	38人
バドミントン	11月6日・15日		10人
「陣内貴美子」少年少女バドミントン教室	7月8日	100人	75人
函館市地域スポーツ指導員育成研修講座	9月～11月	50人	26人
キッズアートジム	9月17日	310人	64人
こどもたちに「元気」と「笑顔」を！ キッドピクス体験教室	10月27日	午前200人 午後50人	午前100人 午後24人
NHK杯道南地区タグラグビー大会	11月25日		7チーム51人
室内小学生キックベースボール大会	1月13日	10チーム 100人	13チーム 120人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
市民スポーツ研修会	2月16日	70人	32人

20 市民プール

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ワンポイントレッスン	4～3月	960人	1,578人
水泳教室			
市民水泳教室(午前の部・午後の部)(8期)	4～3月	400人	313人
サタディナイトコース(5期)	4～3月	100人	53人
サンディスイム(4期)	4～3月	80人	46人
きっちり4泳法マスターコース(8期)	4～3月	160人	167人
きっちり4泳法ナイトコース(4期)	4～3月	40人	41人
パワフルスイム(8期)	4～3月	400人	254人
バラエティーコース(4期)	4～3月	40人	43人
専科コース(5期)	4～3月	100人	146人
少年少女わんぱく水泳教室(8期)	4～3月	360人	374人
ウォータビクス教室(9期)	4～3月	270人	242人
ウォータビクスロング教室(2期)	4～3月	80人	49人
水中ウォーキング教室(昼の部・夜の部)(8期)	4～3月	560人	515人
ロング・ロング50マスターコース(4期)	4～3月	80人	76人
始めてみようかな・ ゆっくりゆっくり水泳教室(8期)	4～3月	160人	73人
幼児の水遊び教室(4期)	4～3月	120人	99人
着衣水泳体験研修会	4月3日		45人
こどもの日無料開放	5月5日		291人
市民プールまつり	7月29日		871人
市民水泳記録会	12月9日	150人	124人

21 千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
プロ野球パ・リーグ公式戦 「北海道日本ハムファイターズVS西武ライオンズ」	8月11日 8月12日	20,000人 20,000人	17,824人 18,548人

22 千代台公園庭球場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
初心者テニス体験コース (昼の部・夜の部)	第1期 第2期 4月 7月	20人 20人	10人 10人
テニス教室 (昼の部・夜の部)	第1期 第2期 5～6月 9～10月	100人 100人	96人 82人

23 千代台公園陸上競技場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
グリーンパークみんなであそぼ!	9月23日	300人	230人
少年少女ランニング教室	9月29日	50人	38人

24 市民スケート場

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
スケート教室			
初心者スケート教室A, B, C	12月17～29日	120人	121人
ジュニアフィギュアスケート教室	12月22～29日	60人	60人
親子フィギュアスケート教室	12月17～25日	15組30人	5組10人
スケート場イベントデー	12月23日 2月9日	100人 100人	81人 118人
スケート場初すべりお年玉プレゼント	1月2日	200人	200人
伊藤みどりin函館フィギュア・スケート教室 (5教室)	1月14～17日	75人	73人
スケート実技講習会	12月20日	30人	19人

25 戸井教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ふれあい学園	6～7・10～3月(8回)		延264人
大間町との文化交流	11月3～4日		17人
大間町との交流(はまなす駅伝大会参加)	9月30日		23人
地域文化祭	10月21日		443人
道南駅伝競走大会	10月28日		348人
芸術文化鑑賞教室	7月27日		31人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
生涯学習セミナー			
輪踊り教室	6月(4回)	40人	実53人
陶芸教室	8月(5回)	10人	9人
子ども体験事業			
本の読み聞かせ教室	5~3月(10回)		延147人
勾玉作り体験教室	8月28日		17人
昔の遊び体験教室	12月26日		28人
少年体育事業			
小学生水泳教室	8月7~10日(4回)	40人	実40人
小学校陸上競技記録会	9月7日		
小学生ミニバレーボール大会	11月17日		33人
ウィンタースポーツ教室	1月10・11日	25人	7人
子ども会対抗ミニバレーボール大会	2月2日		36人
一般体育事業			
玉入れ大会	5月30日		75人
パークゴルフ教室	5月25~6月5日(2回)	35人	実36人
グラウンドゴルフ大会	6月(1回)		31人
ゲートボール交流会	12~3月(4回)		延132人

26 恵山教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
春の社会体験学習 (手作り体験と施設見学)	5月13日	40人	42人
第1期函館市恵山ふれあい高齢者大学	5月~2月(年6回)	60人	延べ224人
自然探索(夏だ海で遊ぼう)	8月26日	50人	62人
秋の収穫体験学習 (果物・野菜等を収穫しよう)	9月30日	40人	55人
恵山地区文化祭及びステージ発表会	10月28~29日		611人
新春書き初め会 (楸法華地区と共催)	1月10日	30人	13人(恵山)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ジュニアリーダー親子宿泊研修会	1月10～11日	25人	8人
ミニバレーボール春季大会	6月2日	130人	175人
小学生夜間水泳教室	7月25日～8月2日	35人	延べ83人
軟式野球大会	9月2日	50人	36人
少年野球大会	9月8日	60人	53人
ゲートボール大会	9月10日	44人	29人
ミニバレーボール大会	9月21日	130人	100人
パークゴルフ大会	10月13日	80人	69人
フットサル大会	2月16日	100人	86人
バレーボール冬季大会	2月22日	50人	39人

27 榎法華教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験教室事業			
陶芸	4月14・15日 7月14・15日	1日：7人 1日：7人	12人 12人
榎法華ふれあい大運動会	6月23日		450人
風間浦村・榎法華地区 友好地域子ども交流会	8月11～12日		39人
世代間交流事業「盆踊り」	8月12日		36人
健康推進事業「恵山登山」	5月20日 9月23日	50人 50人	20人 40人
新春書き初め会(恵山地区と共催)	1月8日		40人
榎法華地区文化祭事業	11月3日		260人
生涯スポーツ普及事業			
地域交流ミニバレーボール大会	11月9日		51人
地域交流パークゴルフ大会	9月30日		20人
高齢者ふれあいいきいき学級事業			
健康講座「軽運動」	5月23日		36人
チャレンジ教室「英語に親しもう」全6回	10月30日～11月29日		21人

28 南茅部教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
成人教育事業			
家庭教育学級	10～2月(14回)	4校	279人
文化振興事業			
南茅部地域文化祭	11月3・4日		出展500点 来館320人
青少年事業			
親子わくわくキャンプ	8月8・9日	30人	44人
親子でおもちゃ作り&もちつき大会	12月26日	30人	40人
新春書き初め大会	1月8日	40人	27人
函館市南茅部沿岸漁業大学事業			
資格取得講座			
玉掛け技能資格取得講座	6月11～13日	40人	12人
二級小型船舶操縦士資格取得講座	6月20～26日	10人	12人
高齢者専科講座	10月19日	40人	44人
専修課程講座			
最新の話から南かやべの水産業と漁村を研究する	12月14日	80人	45人
スケトウダラ卵稚仔の生き残りと資源変動について	2月12日	100人	90人
女性専科講座			
娯楽鑑賞	1月31日・2月20日		49人
料理	2月26日		20人
フラワーアレンジメント	2月27日		35人
教育事務所長杯			
野球大会	5月12日		4チーム 60人
卓球大会	1月16日		49人
バドミントン大会	6月18日		16ペア 32人
フットサル大会	10月2日		8チーム 54人
ミニバレー大会	5月29日		9チーム 41人
バスケットボール大会	2月7日		4チーム 30人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教育事務所長杯			
バレーボール大会	1月31日		4チーム 30人
スポーツ振興会長杯			
少年野球大会(共催)	8月18日		4チーム 87人
小学生フットサル大会(共催)	11月17日		29チーム 174人
一般水泳教室	4月~10月(22回)	20人	延137人
ワンポイント水泳教室	4月~10月(15回)	20人	延15人
ちびっ子水遊び教室	5~10月(32回)	20人	延551人
少年少女水泳教室	5~10月(42回)	30人	延264人
水泳記録会	4月28日 8月2日		15人
南茅部地域マラソン大会	9月17日		209人
南茅部地域小・中学生水泳大会	10月27日		96人
着衣水泳教室	10月31日		24人
南茅部地域スキー大会	2月9日		50人
親と子の冬フェスティバル	2月23日		105人

4 社会教育・スポーツ施設の概要

(1) 社会教育施設の概要一覧

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要	
学 習 活 動 拠 点 施 設	函館市公民館	S 22. 5. 3	1,267.31㎡	構造 概要	鉄筋コンクリート造3階建(本館), レンガ造2階建および木造平屋建(別館), 敷地1,302.11㎡ 講堂(353.76㎡/346人), 第1集会室(59.79㎡/50人), 第2集会室(57.62㎡/30人), 第3集会室(29.23㎡/15人), ロビー, 事務室 他
	函館市 亀田公民館	S 38. 6. 29	489.24㎡	構造 概要	木造モルタル2階建, 敷地657.62㎡ 講堂(158.67㎡/80人), 第1集会室(33.06㎡/20人), 第2集会室(39.75㎡/30人・和室), 第3集会室(52.93㎡/30人・和室) 調理室(40.47㎡/24人), 事務室 他
	函館市 戸井公民館	S 42. 4. 1	583.31㎡	構造 概要	補強ブロック造平屋建(一部中2階), 敷地2,474.52㎡ 講堂, 和室, 第1研修室, 第2研修室, 実習室
	函館市 南茅部公民館	S 47. 9. 2	1,429.21㎡	構造 概要	鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建, 敷地3461.48㎡ 講堂(299.19㎡/384人), 第1会議室(35.20㎡/30人) 第2会議室(47.30㎡/32人), 第1研修室(70.40㎡/60人) 第2研修室(75.75㎡/70人), 第3研修室(58.80㎡/50人) 調理室(55.35㎡/24人), 図書室, ロビー, 事務室 他
	函館市戸井 生涯学習センター	H 10. 4. 1	749.70㎡	構造 概要	木造一部鉄骨造平屋建, 敷地2,022.60㎡ 講堂, 研修室(A, B, C), 茶室, 調理実習室, 工房
	函館市戸井 総合学習センター	S 53. 10. 1	1,724.49㎡	構造 概要	鉄筋コンクリート造3階建, 敷地1,485.00㎡ 大会議室, 小会議室, 研修室, 研修会議室, 青年研修室, 調理実習室
	函館市榎法華 総合センター	S 55. 9	1,444.25㎡	構造 概要	鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建 大ホール, 研修室(第1, 第2, 第3), 会議室, 調理実習室 視聴覚室, プレイルーム, 控室, 配膳室
	函館市 亀田福祉センター	S 46. 11. 1	2,323.49㎡	構造 概要	鉄筋コンクリート造3階建, 敷地3016.49㎡ 講堂(576㎡/500人), 和室(90㎡/40人), 調理室(48㎡/25人) 会議室(3室/20~100人), 研修室(3室/20~30人), 特別室 (135㎡/60人), 談話ホール, 美原図書室(130.46㎡), 事務室他
	函館市 青年センター	S 44. 5. 17	1,786.20㎡	構造 概要	鉄筋コンクリート造2階建(本館), 鉄骨造平屋建(体育館) 敷地2,360㎡ 体育館(540㎡), 音楽視聴覚室(46㎡/15人), 調理実習室(44㎡/20人), 第1クラブ室(59㎡/33人), 会議室(56㎡/42人) 第2クラブ室(28㎡/18人), 相談室(30㎡), 活動室(45㎡) 第2活動室(22㎡), 和室(14畳/28人), 洋室(6基), ロビー (163㎡), 談話ホール(41㎡), ギャラリー(壁面利用), 事務室 他
	函館市青少年 研修センター (ふるる函館)	H 8. 7. 21	2,178.48㎡	構造 概要	木造2階建(宿泊棟), 鉄骨造平屋建(研修棟・体育館) 鉄筋コンクリート造平屋建(浴室棟), 敷地8,395.02㎡ 研修室(大研修室/120人, 中研修室/50人, 小研修室/30人) 体育館(445.50㎡), 宿泊室(洋室12室/80人, 和室2室/40人) 食堂(120人), メモリアルホール 他
	函館市 亀田青少年会館	S 47. 4. 3	514.05㎡	構造 概要	鉄筋コンクリートブロック造平屋建, 敷地3,453㎡ 体育室(286.00㎡), 研修室(63.90㎡/30人), 事務室 他
	函館市 戸井青少年会館	S 43. 11. 1	526.70㎡	構造 概要	補強コンクリート造一部鉄骨造平屋建, 敷地3,599.44㎡ 体育室, 集会室(第1, 第2, 第3), 研修室, 調理室
函館市 南茅部青少年会館	S 46. 12. 24	482.00㎡	構造 概要	鉄骨造平屋建, 敷地2,630.00㎡ 体育館(330㎡), 研修室, 事務室 他	

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要	
学習活動拠点施設	函館市中央図書館	H 17. 11. 27	7,687.13㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階地上2階建 エントランススペース, 開架スペース, 視聴覚ホール レファレンスコーナー, 読書テラス, 研修室 ボランティアルーム, 開架書庫, 貴重資料室 他
	函館市千歳図書室	H 15. 4. 4	551.29㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造2階建(187.84㎡) 開架書架(363.45㎡), 書庫, 事務室 他
	函館市美原図書室	S 51. 5. 21	130.46㎡	概要	開架書架(113.96㎡), 事務室(16.5㎡)
	函館市湯川図書室	S 57. 11. 15	110.20㎡	概要	開架書架(68.0㎡), 読書コーナー(2.0㎡) 児童コーナー(12.0㎡), 事務室(12.0㎡) 他
	函館市旭岡図書室	H 2. 1. 12	181.32㎡	概要	開架書架(115.40㎡), 読書コーナー(4.0㎡) 児童コーナー(8.0㎡), 事務室(14.3㎡) 他
	函館市港図書室	H 8. 4. 2	255.59㎡	概要	開架書架(187.13㎡), 事務室(15.23㎡) 他
	函館市桔梗配本所	S 53. 5. 25	26.00㎡	概要	児童コーナー(26.00㎡)
学習活動援助施設	市立函館博物館	S 41. 4. 28	2,502.39㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造3階建, 敷地900.00㎡ 展示室(1,175.66㎡), 収蔵庫(291.16㎡), 研究室(115.31㎡) 図書室(38.55㎡), 集会室(78.53㎡), 事務室(52.10㎡) 他
	市立函館博物館 五稜郭分館 (H19.11.30閉館)	S 30. 6. 30	630.31㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造2階建, 敷地(特別史跡五稜郭跡内), 展示室(429.66㎡), 収蔵庫(40.70㎡), 科学教室(40.70㎡) 事務室(40.70㎡) 他
	市立函館博物館 郷土資料館	S 44. 11. 1	286.75㎡	構造	耐火煉瓦造2階建, 敷地191.99㎡
	函館市 戸井郷土館	S 48. 1. 24	354.07㎡	構造	鉄筋コンクリート造2階建, 敷地2,474.52㎡
	函館市 恵山郷土博物館	S 43. 7. 27	178.00㎡	構造	鉄筋コンクリート造2階建, 敷地3,351.79㎡
	函館市重要文化財 旧函館区公会堂	S 58. 4. 27	1,900.10㎡	構造概要	木造2階建棧瓦葺(本館), 木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟) 敷地7,730.60㎡ 1階(大食堂, 球技室, 事務室 他), 2階(大広間 他)
	函館市北洋資料館	S 57. 9. 16	665.34㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造平屋建, 敷地(芸術ホール敷地内) 展示室(334.80㎡), 収蔵庫(32.5㎡), ホール(152.60㎡) 他
	函館市文学館	H 5. 4. 1	1,026.86㎡	構造概要	煉瓦および鉄筋コンクリート造陸屋根3階建, 敷地970.80㎡ 展示室(624.93㎡), 収蔵庫(30.18㎡), 資料保存室(53.97㎡) 事務室 他
	函館市 北方民族資料館	H 5. 4. 1	3,043.11㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造地下1階付陸屋根4階建, 敷地1,735.74㎡ 展示室(613.82㎡), 収蔵庫(346.70㎡), 研修室(74.40㎡) 事務室 他 (H元・11・3函館市北方民族資料館・石川啄木資料館として開館)
	函館市大船遺跡 埋蔵文化財展示館	H 12. 4. 28	185.49㎡	構造	木造パネル工法平屋建
	函館市戸井埋蔵 文化財展示館	H 10. 9. 22	588.00㎡	構造	鉄骨造平屋建
函館市北海道 教育センター	S 49. 9. 1	1,946.35㎡	構造概要	鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造2階建, 敷地4,102.92㎡ 会議室3, 研修室4, 音楽室, 資料室2, 理科室2, コンピュータ室 録音室 他	
芸術活動・観覧施設	函館市民会館	S 45. 7. 1	7,277.33㎡	構造概要	鉄骨鉄筋コンクリート造独立基礎外壁茶系磁気質山丁掛窯変タイルパイル打ち地下1階地上4階建, 敷地35,340.05㎡ 大ホール(固定席1,370席, 楽屋5室), 小ホール(342㎡/500席) 大会議室(276㎡/300席), 小会議室(1号・72㎡/20人, 2号・72㎡/26人), 和室(28畳/40人), 展示室(360㎡), 事務室 他
	函館市芸術ホール (ハ-モ二-五稜郭)	H 10. 5. 9	5,945.71㎡	構造概要	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建(一部鉄筋コンクリート造) 敷地13,068.50㎡ ホール(固定席708席, 移動席130席, 車イス席4席), 楽屋3室 キャラリー(400㎡), リハーサル室(182㎡), 練習室(1号・27㎡/2号・20㎡), 会議室(56㎡), 録音調整室(10㎡), 事務室 他

函館市公民館・亀田公民館

1 施設の概要

(1) 公民館

- ・設 立 昭和22年5月3日
- ・所 在 地 函館市青柳町12番17号
(TEL22-3320・FAX22-8196)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(本館),
レンガ造2階建及び木造平屋建(別館)
- ・敷地面積 1,302.11㎡
- ・建物延面積 1,267.31㎡
- ・建物内容 講 堂 ~ 346人(固定席)
第1集会室 ~ 50人(机30人, 椅子50人)
第2集会室 ~ 30人(机24人, 椅子30人)
第3集会室 ~ 15人(机10人, 椅子15人)



(2) 亀田公民館

- ・設 立 昭和38年6月29日
- ・所 在 地 函館市富岡町1丁目18番3号
(TEL・FAX41-2445)
- ・構 造 木造モルタル2階建
- ・敷地面積 657.62㎡
- ・建物延面積 489.24㎡
- ・建物内容 講 堂 ~ 80人(机 50人, 椅子80人)
第1集会室 ~ 20人(机 10人, 椅子20人)
第2集会室 ~ 30人(座卓26人, 座 30人)
第3集会室 ~ 30人(座卓24人, 座 30人)
調 理 室 ~ 24人



(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休館日 月曜日(月曜が祝日の時は火曜日), 国民の祝日,
年末年始(12月31日~1月5日)

2 運営の方針

社会教育法に基づき地域住民の実生活に即する教育, 学術および文化に関する各種事業を実施し, 地域住民の教養の向上, 健康増進, 情操の純化を図り生活文化の振興, 社会福祉の増進に寄与するとともに, 生涯学習体制の確立を目指し社会連帯意識の向上を図り, 明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす公民館としてその機能発揮に努める。また, 勤労者向けの講座や, 人づくりを主眼とした講座を重視しながら地域住民に社会教育, 生涯教育の浸透を図る。

3 主要事業

事業名	内 容	期 間
公民館講座	郷土の歴史, 書道, 絵てがみ, 陶芸, 料理, きもの着付など25講座	4月~3月
高齢者大学	1年制普通科(一般教養)	5月~11月
短期老人大学	2年制(一般教養)	4月~11月

4 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
公民館	25,288人	27,290人	31,955人
亀田公民館	23,925人	22,168人	22,918人
計	49,213人	49,458人	54,873人

函館市戸井公民館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和42年4月1日
- ・所 在 地 函館市浜町290番地1 (TEL82-2273)
- ・構 造 補強ブロック造平屋建 (一部中2階)
- ・敷地面積 2,474.52㎡
- ・建物延面積 583.31㎡
- ・建物内容 講堂 (184.3㎡) , 第1研修室 (49.7㎡) , 第2研修室 (29㎡) , 和室 (33.7㎡) , 実習室 (29㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 国民の祝日 (その日が月曜日に当たるときは, その日およびその翌日) 前日および翌日が国民の祝日である日, 年末年始 (12月31日～1月5日)

(2) 施設の特徴

郷土館との併設により, 展示資料や図書室を備えた複合施設。

(3) 運営の方針

市民の自主的な社会教育活動を促進し, 各種サークル活動の振興育成を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	5,887人	6,412人	4,898人



函館市南茅部公民館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和47年9月
- ・所 在 地 函館市川汲町1520番地4
(TEL25-3789 ・ FAX25-3790)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
- ・敷地面積 3,461.48㎡
- ・建物延面積 1,429.21㎡
- ・建物内容 講 堂 ~ 384人(机 300人,椅子384人)
第1会議室 ~ 30人(机 10人,椅子 30人)
第2会議室 ~ 32人(机 20人,椅子 32人)
第1研修室 ~ 60人(座卓36人,座 60人)
第2研修室 ~ 70人(机 40人,椅子 70人)
第3研修室 ~ 50人(座卓30人,座 50人)
調 理 室 ~ 24人
図 書 室 ~ 20人
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休 館 日 土・日曜日, 祝日, 年末年始(12月31日~1月5日) 行事があれば土日, 祝日も開館

(2) 施設の特徴

南茅部地域の中心部に位置し, 講堂, 会議室, 調理室, 図書室等を備え, 同地域の社会教育行政の中心的役割を果たしている。

(3) 運営の方針

函館市民憲章ならびに函館市教育目標に基づき, 公民館が学習の場, ふれあいの場, 憩いの場として市民の生涯にわたる自主的な社会教育活動を促進するとともに, 生涯学習体制の確立を目指し, 社会連帯意識の向上を図り, 明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす公民館として, その機能発揮に努める。

(4) 主催事業(南茅部教育事務所事業)

- 文化振興事業 - 南茅部地域文化祭
- 青少年事業 - 親子わくわくキャンプ, 親子でおもちゃ作り&もちつき大会, 書き初め大会
- 函館市南茅部沿岸漁業大学事業(外郭団体)
 - 資格取得講座, 女性専科講座, 高齢者専科講座, 市民教養講座, 専修課程講座

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	13,950人	9,834人	13,265人



函館市戸井生涯学習センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市浜町33番地2 (TEL82-2234)
- ・構 造 木造一部鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 2,022.6㎡
- ・建物延面積 749.7㎡
- ・建物内容 講堂(223.56㎡), 研修室A(35.64㎡)
研修室B(35.64㎡), 研修室C(102.06㎡)
茶室(34.02㎡), 工房(34.02㎡), 調理室(45.36㎡)
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休 館 日 年末年始(12月31日~1月5日)



(2) 施設の特徴

陶芸の工房や茶室を備えた,各種教室などに使用される市民の生涯学習活動施設。

(3) 運営の方針

市民の生涯学習に関する活動,および地域における集会の場を提供し,学習センター施設の機能発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	4,207人	4,561人	3,981人

函館市戸井総合学習センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和53年10月1日
- ・所 在 地 函館市浜町308番地1 (TEL82-3111)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 1,485㎡
- ・建物延面積 1,724.49㎡
- ・建物内容 大会議室(496.4㎡),
研修会議室(244.75㎡),
青年研修室(57.75㎡), 研修室(52.5㎡),
小会議室(58.85㎡), 調理実習室(57.75㎡)
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休 館 日 年末年始(12月31日~1月5日)



(2) 施設の特徴

ステージ照明を備えた大会議室や,ステージ付の和室(研修会議室)があり,文化祭や各種講演会開催のほか,地域の集会等にも利用される施設。

(3) 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し,もって市民の生涯学習活動の振興と学習センター施設機能の発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	5,618人	4,015人	3,887人

函館市榎法華総合センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和55年9月
- ・所 在 地 函館市新浜町156番地1 (TEL86-2451・FAX86-2838)
- ・構 造 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建
- ・建物延面積 1,444.25㎡
- ・建物内容 大ホール 440.00㎡(内舞台100.00㎡) 固定席無し 収容人数 約450人
第1研修室 和室46.74㎡ 収容人数 約30人
第2研修室 洋室56.26㎡ 収容人数 約20人
第3研修室 和室36.85㎡ 収容人数 約15人
会 議 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
視 聴 覚 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
調理実習室 90.20㎡ 調理実習台7台設置(内1台講師用) 収容人数 約24人
プレイルーム 34.10㎡ 収容人数 約10人
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 年末年始(12月31日～1月5日)

(2) 施設の特徴

函館市榎法華支所と隣接し、榎法華地域の市民が集会等に利用しやすいよう、大ホール等様々な広さの研修室を備えた施設。また、生涯学習関係事業や行政関係事業等、各種事業の会場としても利用されている。

(3) 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し、もって市民の生涯学習活動の振興に資する。

(4) 施設の利用状況

年 度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	4,010人	3,843人	4,231人



函館市亀田福祉センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年11月1日
- ・所 在 地 函館市美原1丁目26番12号 (TEL42-7023・FAX42-9792)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 3,016.49㎡
- ・建物延面積 2,323.49㎡
- ・建物内容 講 堂 ~ 500人(机300人, 椅子500人)
第1会議室 ~ 100人(机100人, 椅子100人)
第2会議室 ~ 96人(机 96人, 椅子 96人)
第3会議室 ~ 20人(机 20人, 椅子 20人) ただし, 講堂使用者のみ
特 別 室 ~ 60人(机 60人, 椅子 60人)
第1和室 } ~ 40人(座卓40人, 座40人)
第2和室 }
第1研修室 } ~ 30人(座卓30人, 座30人)
第2研修室 }
第3研修室 ~ 20人(机 20人, 椅子 20人)
調 理 室 ~ 25人

- ・開館時間 午前9時~午後10時
- ・休 館 日 月曜日, 毎月最終金曜日, 年末年始(12月31日~1月5日)

(2) 運営の方針

各種団体, サークル等が開催する会議・研修会等に会場を提供し, 市民の自主的な社会活動の促進, 生涯学習の促進に努め, 福祉センター施設の機能発揮を図る。

(3) 主催事業

- 函館市亀田老人大学 5月~11月
- 子ども放送局 毎月第2・4土曜日(8月除く22回)

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	143,764人	138,964人	137,612人



函館市青年センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和44年3月31日
- ・所 在 地 函館市千代台町27番5号 (TEL51-3390)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建(本館)
鉄骨造平屋建(体育館)
- ・敷地面積 2,360㎡
- ・建物延面積 1,786.20㎡
- ・建物内容 体育館(バドミントン, 卓球等)
活動室5
(~30人収容 3室, 30~60人収容 2室),
音楽視聴覚室, 調理実習室, PCコーナー, 談話コーナー,
事務室, ギャラリー(壁面利用)等



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時~午後10時
- ・休館日 水曜日, 年末年始(12月31日~1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

- ・勤労青少年の余暇を過ごすための憩いと活動の場として開放する。
- ・勤労青少年相互の交流を深め, 健全育成を促進するための事業を実施する。
- ・社会人としての資質の向上, および郷土を愛する心を養うための研修の場となるよう, その運営に努める。
- ・勤労青少年の活動の場を妨げない範囲で, 広く一般にも開放し, 施設の有効活用と市民各層の交流拡大を図る。

(4) 施設の特徴

函館市の中心部, 各種スポーツ施設のある千代台公園の入口に位置し, 交通至便で若者がふれあい, 語らい, 憩う場として気軽に利用できる体育館や活動室を備えた勤労青少年の活動施設。

(5) 利用対象

- ・勤労青少年(15歳以上29歳未満は無料)
- ・一般市民(勤労青少年の利用がない場合, 有料で利用できる)
- ・ロビー, ギャラリーは一般市民も無料で利用できる。

(6) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・文化事業~青年教室, ユースカレッジ, 国際交流事業, 青年センターフェスティバル 他
- ・スポーツ事業~フレッシュテニス教室, ソフトバレーボール大会, ソフトボール大会 他

(7) 施設の利用状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
主催事業	6,220人	5,478人	4,871人
青年利用	24,498人	22,207人	16,953人
一般利用	31,498人	31,198人	34,310人
計	62,216人	58,883人	56,134人

函館市青少年研修センター（ふるる函館）

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成8年7月21日
- ・所 在 地 函館市谷地頭町5番14号
(TEL23-5961・FAX23-1315)
- ・構 造 木造2階建(宿泊棟)
鉄筋コンクリート造平屋建(浴室棟)
鉄骨造平屋建(研修棟・体育館)
- ・敷地面積 8,395.02㎡
- ・建物延面積 2,178.48㎡
- ・建物内容 宿泊室(収容人員120名)
洋室宿泊室:4名定員2室,6名定員8室,
12名定員2室
和室宿泊室:20名定員2室
研修室:大研修室120名,中研修室50名,
小研修室30名,体育館,食堂,メモリアルホール等
- ・休 館 日 月曜日,祝日,年末年始(12月31日~1月5日),器材点検日(随時)



(2) 施設の特徴

「青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の場」としての施設。函館山東側山麓に位置し、周囲には立待岬や函館公園などがあり、歴史的建造物の点在する西部地区にも徒歩で行けるなど、歴史学習や自然観察など利用目的に合わせ、幅広い研修が可能。

(3) 運営の方針

次に掲げる事項に留意して運営を行うものとする。

- ・立地条件を生かした特色ある事業や運営を行うよう努める。
- ・利用者の年齢および利用目的に応じた運営を行うよう努める。
- ・広く青少年教育関係者の理解と協力を得るよう努める。
- ・民間有志指導者(ボランティア)の協力を得るよう努める。
- ・社会教育関係機関との連携に努める。
- ・利用者の安全に努める。

(4) 利用対象

原則として小学生以上で、具体的な研修計画を有し、引率者(指導者)がいる5人以上の団体とする。

(5) 研修活動

主催事業

- ・リーダー養成講座(小・中学生,高校生ボランティア,施設ボランティア)
- ・ふるる広場(日帰り事業) 歴史探検講座 四季のつどい(春・夏・秋・冬)

団体利用事業

- ・自然観察(野鳥・植物・海浜動植物・天体)・散策・歴史探訪ウォークラリー
- ・函館山ハイキング・レクリエーション(ゲーム他)・各種クラフト・キャンドルの集い・野外炊飯
- ・ファイヤーストーム・キャンピング

(6) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	20,877人	18,857人	18,208人

函館市亀田青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和47年4月3日
- ・所 在 地 函館市亀田本町19番21号
(TEL41-4383)
- ・構 造 鉄筋コンクリートブロック造平屋建
- ・敷地面積 3,453㎡
- ・建物延面積 514.05㎡
- ・建物内容 体育室(バドミントン, パレーボール等), 研修室, 事務室等

(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

青少年の教養の向上・健康増進ならびに情操の純化を図るための活動の場として開放している。また, よりよい人間関係の確立のため, 各種の事業を推進して青少年の健全育成に寄与できるような運営に努めている。

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・文化事業～縄文の文化を探る旅
- ・スポーツ事業～少年少女・親子向け各種スポーツ大会, こどもまつり 他

(5) 施設の利用状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
主催事業	888人	430人	828人
一般利用	26,187人	25,049人	22,980人
計	27,075人	25,479人	23,808人



函館市戸井青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和43年11月1日
- ・所 在 地 函館市釜谷町755番地（TEL82-2088）
- ・構 造 補強コンクリート造一部鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 3,599.44㎡
- ・建物延面積 526.7㎡
- ・建物内容 体育室(231.87㎡)，第1～3集会室(59.62㎡)，
研修室(111㎡)，調理室(14.91㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日，国民の祝日の翌日
年未年始（12月31日～1月5日）



(2) 施設の特徴

体育室と図書を備えた，青少年が気軽に利用できる施設。

(3) 運営の方針

青少年の教養の向上および健康の増進を図り，豊かな情操を養い，青少年の健全な育成を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	4,658人	3,722人	5,393人

函館市南茅部青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年12月24日
- ・所 在 地 函館市安浦町302番地（TEL・FAX無）
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 2,630.00㎡
- ・建物延面積 482.00㎡
- ・建物内容 体育館(330㎡)，研修室，事務室等
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日，年未年始（12月31日～1月5日）



(2) 施設の特徴

南茅部地域の中心部付近に位置し，体育館，研修室等を備えた青少年が自由に活動できる施設。

(3) 運営の方針

青少年の教養の向上・健康の増進ならびに情操の純化を図るための活動の場として開放し，青少年の健全育成に寄与できるような運営に努める。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	716人	784人	704人

函館市中央図書館

1 施設の概要

(1) 中央図書館

- ・ 設 立 平成17年11月27日
- ・ 所 在 地 函館市五稜郭町26番1号
(TEL35-6800 FAX35-5524)
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地下1階地上2階建
- ・ 敷 地 面 積 11,707.81㎡
- ・ 建物延面積 7,687.13㎡
- ・ 収 蔵 冊 数 630,000冊



(2) 各図書室等

- ・ 千歳図書室 (函館市千歳町15番10号 TEL23-9811 蔵書数: 46,788冊)
- ・ 美原図書室 (函館市美原1丁目26番12号 TEL45-5125 蔵書数: 32,685冊)
- ・ 湯川図書室 (函館市湯川町2丁目40番13号 TEL57-4120 蔵書数: 24,601冊)
- ・ 旭岡図書室 (函館市西旭岡町2丁目51番12号 TEL50-2340 蔵書数: 21,156冊)
- ・ 港図書室 (函館市港町2丁目7番1号 TEL43-8211 蔵書数: 26,542冊)
- ・ 桔梗配本所 (函館市桔梗4丁目1番18号 TEL47-1510 蔵書数: 7,406冊)
- ・ 移動図書館 (ともしび号 TEL35-6800 蔵書数: 18,223冊)

(3) 開館時間, 休館日

- ・ 開館時間 中央図書館 午前9時30分～午後8時 (視聴覚ホール・研修室は午後9時)
各図書室 午前10時～午後5時
桔梗配本所 午後1時～午後4時45分 (土曜日および学校の長期休業日は午前10時開館)
- ・ 休 館 日 中央図書館 水曜日, 年末年始(12月31日～1月5日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)
各図書室 月曜日(桔梗配本所は日曜日), 祝休日, 毎月の最終金曜日,
年末年始(12月31日～1月5日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)

2 運営の方針

図書館においては, 今後ますます進展する情報化社会において, 市民の学習意欲の高揚に即応できるよう「親しまれ, 信頼される図書館」づくりを基本方針とし, 多様な市民要求に応えられるよう, 適切な資料の収集充実に努める。また, より高密度な奉仕体制をめざして, 逐次地域図書館施設, 移動図書館車による図書館奉仕網の整備促進と他の関係機関および関連施設との連携に努め, 生涯学習の推進に資する。

3 奉仕体制

- ・ 個人貸出し 市民在住者および通勤通学者を対象に貸出 (貸出期間-2週間)
- ・ 予約制度 読みたい本の予約とリクエストができる
- ・ 図書相談 調査研究や図書・読書に関する相談
- ・ 複写サービス 図書館資料の複写サービスのため複写機を設置
- ・ 障害者サービス 視力障害者に対する点字図書, 録音テープの貸出

4 図書館資料利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
貸出人数 (総数)	223,023人	402,075人	394,597人
貸出冊数 (総数)	1,005,531冊	1,595,334冊	1,579,386冊
蔵書数 (総数)	523,045冊	605,929冊	654,214冊

市立函館博物館

1 施設の概要

(1) 博物館本館

- ・設 立 明治12年5月25日
- ・所 在 地 函館市青柳町17番1号
(TEL23-5480・FAX23-0831)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 900㎡
- ・建物延面積 2,502.39㎡
- ・常設展示 北海道の旧石器時代を代表する樽岸の石器
市内各遺跡等の発掘資料、志海苔古銭
ブラキストンの石斧、明治の函館博物資料
各種絵画および美術工芸品



(2) 五稜郭分館

- (H19.11.30閉館)
- ・設 立 昭和30年6月30日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町44番2号
(TEL51-2548・FAX51-2146)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積 380㎡
- ・建物延面積 630.31㎡
- ・常設展示 五稜郭築造と箱館戦争関係資料
高松凌雲の医療器具



(3) 郷土資料館 (旧金森洋物店)

- ・設 立 昭和44年11月1日
- ・所 在 地 函館市末広町19番15号
(TEL・FAX23-3095)
- ・構 造 耐火煉瓦造2階建
- ・敷地面積 191.99㎡
- ・建物延面積 286.75㎡
- ・常設展示 明治13年の金森洋物店建築時を再現し、
明治のハイカラ文化、伝統的建造物群を紹介



(4) 開館時間、休館日

- ・開館時間 (4月1日～10月31日)午前9時～午後4時30分
(11月1日～3月31日)午前9時～午後4時
- ・休館日 月曜日、祝日、毎月の最終金曜日、年末年始(12月31日～1月5日)

2 運営の方針

総合博物館として、市民の生涯学習推進、調査研究、レクリエーションに資するため、博物館体制の充実および博物館活動の促進を図り、教育・学術文化の発展に努める。

3 主要事業

事業名	内 容	期 間
特別展	「没後100年榎本武揚 - 箱館戦争の光と影 - 」	7月19日～8月31日
特別企画展	「函館繁盛記 - 街を支えたモノツクリ - 」	5月27日～7月6日
	「国宝中空土偶と函館発掘物語」	9月9日～9月23日
企画展	「アイヌ語地名を歩く - 山田秀三の地名研究から - 」	10月9日～11月16日
	「新収蔵資料展」	10月9日～11月16日
博物館講座	単講座～自然科学、考古、歴史、民族、美術24講座	5月～1月
	通年講座～自然科学2講座	4月～3月

4 入館状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
博物館本館	8,037人	7,774人	18,494人
五稜郭分館	79,820人	54,885人	50,052人
郷土資料館	9,247人	8,246人	8,358人
計	97,104人	70,905人	76,904人

函館市戸井郷土館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和48年1月24日
- ・所 在 地 函館市浜町290番地1 (TEL82-2273)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積 2,474.52㎡
- ・建物延面積 354.07㎡
- ・建物内容 展示室(225.77㎡),資料収納室(22㎡),
図書室(50㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後5時
- ・休 館 日 月曜日(その日が休日の場合は, その日およびその翌日)
年末年始(12月31日～1月5日)



(2) 施設の特徴

縄文時代の土器類,昭和初期の人々の暮らしの道具類を展示しているほか,公民館との複合施設として図書室を備えた施設。

(3) 運営の方針

郷土に関する資料を収集し,保管し,及び展示して市民の利用に供し,もって市民の文化的向上並びに教育及び学術の発展に資する。

(4) 展示の内容

北海道有形文化財指定の「戸井の板碑」を始め,縄文時代の土器類や昭和初期の漁具や暮らしの道具類を展示。

(5) 入館状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	411人	302人	349人

函館市恵山郷土博物館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和43年7月27日
- ・所 在 地 函館市柏野町117番地146 (TEL85-2400)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積 3,351.79㎡
- ・建物延面積 178.00㎡
- ・開館時間 午前8時45分～午後5時15分
季節開館(5月1日～8月31日)
- ・休 館 日 月曜日(月曜日が休日の場合はその日およびその翌日)



(2) 施設の特徴

郷土恵山の歴史的資料

(3) 運営の方針

先住民族の重要埋蔵文化財の公開,郷土開拓資料の公開を通して,開発を担う後継者の養成,郷土愛の啓発を行う。

(4) 展示の内容

郷土恵山の歴史を知る上での貴重な資料を展示し開館する。

(5) 入館状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	6,165人	5,414人	5,742人

函館市重要文化財旧函館区公会堂

(1) 施設の概要

- ・開館 昭和58年4月27日
(明治43年9月20日公会堂として開堂)
- ・所在地 函館市元町11番13号 (TEL22-1001・FAX22-8284)
- ・構造 木造2階建棧瓦葺(本館)
木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟)
- ・敷地面積 7,730.60㎡
- ・建物延面積 1,900.10㎡
- ・重要文化財指定 昭和49年5月21日(本館), 昭和55年12月18日(附属棟)

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時~午後7時(4月1日~10月31日)
午前9時~午後5時(11月1日~3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日~1月3日), 館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般~300円, 学生・生徒・児童~150円
(団体20人以上は一般~240円, 学生・生徒・児童~120円)
- ・北方民族資料館, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般~500円, 学生・生徒・児童~250円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般~720円, 学生・生徒・児童~360円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般~840円, 学生・生徒・児童~420円(団体割引なし)

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・公会堂コンサート(弦楽器, ピアノ, 合唱等)を年間31回開催

(5) 入館状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	119,960人	125,719人	117,988人
団体利用	27,264人	32,503人	26,315人
計	147,224人	158,222人	144,303人



函館市北洋資料館

(1) 施設の概要

- ・開館 昭和57年9月16日
- ・所在地 函館市五稜郭町37番8号 (TEL55-3455・FAX55-3586)
- ・構造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 665.34㎡

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～100円, 学生・生徒・児童～50円
(団体10人以上は一般～80円, 学生・生徒・児童～40円)

(4) 展示の内容

展示室は334㎡で3つのコーナーに分かれ, 約500点を展示

- ・むかしの北方漁業の歩み
漁業の始まりから北方民族漁業, 和人の進出とニシン・サケ漁, 樺太・南千島の漁業開発, そして明治時代までを実物・写真などで紹介している。
- ・北洋漁業の歩み
北洋漁業の概要をはじめ, かに網, さけます流し網, 底びき網の各漁業, そして北洋基地「函館の歴史」などを実物・模型・写真を使って立体的に展示している。
- ・200海里時代とこれからの北洋漁業
これからの漁業の将来展望を50枚のスライドを使い解説するマルチ映像, 北洋のサケなどの漁場をボタン操作で確認できる模型を展示している。
- ・その他, 荒海を独航船で行く「3分間北洋航海体験室」がある。

(5) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・函館の「海と港」児童絵画展, 北の海子ども体験教室, 企画展 ほか

(6) 入館状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	14,716人	16,608人	14,282人
団体利用	4,155人	3,523人	4,519人
計	18,871人	20,131人	18,801人



函館市文学館

(1) 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
- ・所在地 函館市末広町22番5号
(TEL22-9014・FAX22-9065)
- ・構造 煉瓦および鉄筋コンクリート造
陸屋根3階建
- ・敷地面積 970.80㎡
- ・建物延面積 1,026.86㎡



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 北方民族資料館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 展示内容

- ・1階展示ホール＝函館ゆかりの作家たち, 梁川剛一コーナー, 辻仁成コーナー
函館の歴史的歩みを背景に, 明治期以降の日本文学史の流れの中で, 北海道・函館文学をみつめ, 函館の風土性, 郷土性が生み出した著名な作家たちを紹介する。
[主な作家～高橋掬太郎, 久生十蘭, 長谷川海太郎, 亀井勝一郎]
- ・2階展示ホール＝漂泊の詩人石川啄木コーナー
函館生活から始まる北海道漂泊時代, そして啄木が生まれ育った浜民, 盛岡時代, 文学形成への在京時代と啄木27年間の生涯を詳しく紹介し, 特別展示室では, 今までに公開される機会の少なかった啄木の自筆資料数点を展示している。
[日記関係, ノート類, 宮崎郁雨あて書簡など]

(5) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・石川啄木講座, 文学紀行, 文学館講演会, 文学の夕べ, 企画展 他

(6) 入館状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	16,343人	16,971人	15,901人
団体利用	2,187人	1,985人	2,091人
計	18,530人	18,956人	17,992人

函館市北方民族資料館

(1) 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
(平成元年11月3日函館市北方民族資料館・石川啄木資料館として開館)
- ・所在地 函館市末広町21番7号
(TEL22-4128・FAX 22-8874)
- ・構造 鉄筋コンクリート造地下1階
付陸屋根4階建
- ・敷地面積 1,735.74m²
- ・建物延面積 3,043.11m²



(2) 開館時間，休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円，学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円，学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂，文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円，学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂，文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円，学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂，文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円，学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 展示内容

明治のはじめ開拓使等が収集した市立函館博物館旧蔵資料，北方民族研究の世界的権威・馬場脩氏，児玉作左衛門氏が収集した国の重要有形民俗文化財を含むアイヌ・ウイльтаなどの北方民族資料を展示。館内は展示ホールその他，展示室ごとに「装いの美学」，「北の神々」，「くらしの中の手仕事」，「北方民族HAKODATE COLLECTION」，「あそびの世界」，「アイヌ民族学の先駆者たち」，「アイヌ絵の世界」の各テーマごとに展示。アイヌ民族文様の刺繍や彫刻を施した衣装や生活用具，アイヌ女性の母から娘へと受け継がれた首飾り(タマサイ)，大陸との交易で手に入れた山丹服(蝦夷錦)のほか，北方のアリュート民族が海を渡るときに操った三人乗りの皮舟(パイダルカ)など，300点を超える貴重な資料の数々を見ることができる。

(5) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・北方民族資料館講座，体験学習講座，企画展 他

(6) 入館状況

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	22,111人	23,338人	21,087人
団体利用	4,422人	3,838人	3,831人
計	26,533人	27,176人	24,918人

函館市大船遺跡埋蔵文化財展示館

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成12年4月28日
- ・所 在 地 函館市大船町575番地1
- ・構 造 木造パネル工法平屋建
- ・建物延面積 185.49㎡
- ・開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- ・休 館 日 無休(開館期間4月1日～11月12日)



(2) 施設の特徴

大船遺跡を中心に、南茅部の数々の遺物を展示。

(3) 運営の方針

南茅部地域に花開いた縄文文化の息吹を感じ、もって市民の文化的向上に寄与する。

(4) 展示の内容

遺跡紹介、縄文土器展示、国宝「土偶」(中空土偶)複製展示、北の縄文回廊紹介、大船遺跡ジオラマ、縄文体験(土器作り、アングイン織り)等

(5) 入館状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	10,829人	9,711人	13,350人

函館市戸井埋蔵文化財展示館

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年9月22日
- ・所 在 地 函館市泊町177番
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 2,642.75㎡
- ・建物延面積 588㎡
- ・収容能力 展示室(137㎡)、管理諸室(451㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後5時
- ・休 館 日 土・日曜日、国民の祝日、
年末年始(12月31日～1月5日)



(2) 施設の特徴

縄文時代の土器類を展示しているほか、数多くの石器や土器、骨角器を保管している。

(3) 運営の方針

郷土から出土した埋蔵文化財を保存し、および展示してその活用を図り、もって市民の文化的向上に寄与する。

(4) 展示の内容

戸井地区内の各遺跡、貝塚から発掘された縄文時代の土器類を展示。

(5) 入館状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	7人	8人	8人

函館市民会館

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 昭和45年7月1日
- ・ 所 在 地 函館市湯川町1丁目32番1号
(TEL57-3111・FAX57-3115)
- ・ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造独立基礎
外壁茶系磁気質山丁掛窯変タイル
パイル打ち地下1階地上4階建
- ・ 建物延面積 7,277.33㎡
- ・ 建物内容 大ホール 固定席1,370席
(車いす使用席12席含む)
楽屋5室, 舞台243㎡
小ホール 椅子500席
大会議室 椅子300席
展示室(展示用360㎡)
小会議室1号(応接室風72㎡・20人)
小会議室2号(円卓会議室風72㎡・26人)
和室(28畳・40人), 事務室, 応接室等



(2) 開館時間, 休館日

- ・ 開館時間 午前9時～午後10時
- ・ 休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

優れた舞台芸術の発表や鑑賞の場として, 市民の文化意識の高揚を図るとともに, ホールとして市民に親しまれ活用される運営に努める。また, 市民の創造的な文化活動を助長する事業を展開・推進することにより, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業を行う。

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・ 鑑賞型事業 ~ 松竹大歌舞伎函館公演, NHK交響楽団函館演奏会, 東京バレエ団ニューイヤーガラコンサート, 札幌交響楽団函館演奏会 他
- ・ 参加創造型事業 ~ 市民文化祭(舞台芸術部門, 展示部門) 他
- ・ 育成学習型事業 ~ ざいだん邦楽こども教室, 函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ定期演奏会

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
大ホール	131,686人	136,319人	138,208人
小ホール	48,287人	42,256人	47,368人
大会議室	26,284人	33,372人	25,385人
その他諸室	35,524人	38,376人	39,882人
計	241,781人	250,323人	250,843人

函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年5月9日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町37番8号
(TEL55-3521・FAX55-3586)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階
地上4階建(一部鉄筋コンクリート造)
- ・建物延面積 5,945.71㎡
- ・建 物 内 容 ホール(音楽用712席, 多目的842席
[各車イス使用席4席含む])



楽屋3室

音楽舞台 [最大幅17m×高さ11m×奥行9.5m]

多目的舞台[プロセニウム幅13.8m×高さ6~8m(可動式)×奥行12.5m,全幅30m]

ギャラリー(400㎡),リハーサル室(182㎡),練習室1号(27㎡),

練習室2号(20㎡),録音調整室(10㎡),会議室(楽屋として使用可56㎡),

オープンギャラリー,カフェテラス,事務室,応接室等

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時~午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日~1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民の芸術・文化活動の創作, 発表の場, 質の高い音楽演奏などを提供する場として, 地域の芸術・文化振興の核となる運営に努める。また, ギャラリーやオープンギャラリーなどの施設を有効に活用し, 市民会館とあわせ, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業の実施に努める。

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・鑑賞型事業~リサイタルシリーズ 他
- ・育成学習型事業~弦楽アンサンブルクリニック, 函館舞台塾演劇教室舞台セミナー 他
- ・参加創造型事業~市民文化祭(舞台芸術部門, 展示部門)
- ・奨励型事業~ZAIDAN JAZZ & MUSIC SALON, 函館舞台塾演劇フェスティバル 他
- ・展示事業~市民美術展「はこだて・冬・アート展」

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
ホール	82,461人	80,785人	88,416人
リハーサル室	13,542人	13,060人	13,616人
ギャラリー	30,042人	28,036人	27,923人
その他諸室	10,569人	8,365人	7,318人
計	136,614人	130,246人	137,273人

(2) スポーツ施設の概要一覧

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
千代台公園陸上競技場	千代台町 22-24	S36・10・29 (H11.3 改修)	31,200	20,400	第2種公認 全天候トラック9レーン スタンド収容人員15,000人
野球場					
千代台公園野球場	千代台町 22-26	S26・7・4 (H6.3 改修)	23,400	13,650	両翼99.1m, 中堅122m スタンド収容人員20,000人
函館八幡宮外苑野球場	谷地頭町 9	S29・7	13,014	8,300	市有地8,816.24㎡ 借地4,197.44㎡
新川公園野球場	上新川町 18	S23	8,158	6,700	スタンド収容人員100人
根崎公園野球場	高松町 29	S49・9・1	12,100	11,000	スタンド収容人員450人 ダッグアウト(2ヶ所)各15㎡
西桔梗野球場	西桔梗町 252-27	H19・5・1	24,032	10,600	両翼90m, 中堅115m ダッグアウト(2ヶ所) 照明設備 スタンド収容人員270人
運動広場					
根崎公園少年運動広場	高松町 581	S57・10・25	6,090	4,950	少年野球・少年サッカー
函館市 戸井運動広場	小安町 525-1	S61・4・1	28,496		多目的グラウンド, テニス・ゲートボールコート 幼児遊場, クラブハウス(木造平屋建284.31㎡)
函館市 恵山運動広場	川上町 511	S54・6・9	9,207.5		グラウンド
函館市 古部グラウンド	古部町 252-3	H11・4・1	1,617		
函館市 南茅部運動広場	川汲町 1657	H元・4・1	36,639		野球場, グラウンド, 管理棟, 駐車場
函館市 磯谷グラウンド	岩戸町 214	H11・4・1	2,187		
球技場					
函館市 日吉サッカー場	日吉町4丁目 7	H9・4・1	47,771	17,940	芝, クレイコート各1面, クラブハウス 収容人員2,500人
根崎公園ラグビー場	湯川町3丁目 6	S44・9・1	20,400	13,500	スタンド収容人員3,000人
庭球場					
函館市 青柳市民庭球場	青柳町 9	S15・8・1	2,380	1,600	クレイコート2面, 更衣室, トイレ
千代台公園庭球場	千代台町 27-2	S43・4・1 (H3~5改修)	12,900	7,600	人工芝10面, 夜間照明設備 クラブハウス
NHK広場テニスコート	富岡町3丁目 21	S49・8・20	2,400	1,400	アスファルトコート2面
函館市 日吉市民庭球場	日吉町4丁目 7	S60・8・31	3,864	3,400	クレイコート5面

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
庭球場					
函館市 南茅部市民庭球場	白尻町 327-3	H2・10・1	3,562	1,672	ゴムチップウレタンコート2面
総合体育館					
函館市民体育館	湯川町丁目 32-2	S50・2・21	7,426.04		主競技場1,720㎡ 収容人員5,000人
函館市 恵山総合体育館	川上町 506	S49・4・1	1,516		
函館市 古部体育館	古部町 252-3	H11・4・1	432		
函館市南茅部 スポーツセンター	白尻町 604-1	S59・7・1	2,291.90		アリーナ, 研修室兼柔剣道室 研修室兼トレーニング室, 控室
函館市 磯谷体育館	岩戸町 214	H11・4・1	531		
プール					
函館市民プール	千代台町 22-25	S46・7・20 (S61.6改修)	6,701.01		50m×21m 8コース (日本水泳連盟公認) 25m×16m 7コース
函館市 恵山プール	川上町 506	S49・7・1	723.61		25m×16m 6コース
函館市 南茅部プール	尾札部町 1608-1	H10・4・1	1,667.08		25m×13m 6コース 低学年プール, ジャグジープール
千代台公園弓道場	千代台町 27-8	S32・8・28 (H12・7改修)	512		道場169㎡ 的数5ヶ 射程距離28m
根崎公園アーチェリー場	湯川町3丁目 6	S44・9・1	4,140		射場2,700㎡ 的数14ヶ 射程距離90m
海水浴場					
函館市 湯川海水浴場	根崎町4~6 10,11番先	H7・7・9	8,250	7,000	遊泳区域70m×100m, 浮島5m×10m 通路2m×35m, トイレ, シャワー, 更衣室
函館市 入舟町前浜海水浴場	入舟町 22	S55			遊泳区域60m×50m トイレ, 更衣室
函館市 白尻スキー場	白尻町 593-1	H2・1・10		25,000	ロープ塔(第1・第2ゲレンデ) ロッジ 92.74㎡
函館市民スケート場	金堀町 10-8	H3・1・13 (H14・3改修)	5,024.4 (氷面積)	5,024.4 (氷面積)	スピードスケートリンク(1周250m) サブスケートリンク(29m×60m) 貸スケートコーナー

千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和26年7月4日
(全面改修 平成6年5月28日供用開始)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番26号
(TEL53-3210・FAX31-7460)
- ・施設面積 23,400m²
- ・施設概要 グラウンド 13,650m²
 - ・両翼99.1m，中堅122m，内野(クレイ)，外野(芝生)，スタンド
 - ・収容人員 約20,000人
 - 内野メインスタンド 鉄筋コンクリート造3階建
 - 内野スタンド 盛土階段スタンド
 - 外野スタンド 盛土芝生スタンド
 - ・主要諸室 事務室，本部席，審判席，放送席，役員席，医務室，
公式記録員席，会議室，トレーニング室，ロッカールーム，
シャワー室，トイレ，ブルペン

(2) 開設期間

5月1日～10月31日

(3) 主催事業（文化・スポーツ振興財団事業）

- ・プロ野球パ・リーグ公式戦「北海道日本ハムファイターズVS西武ライオンズ」

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	47,213人	69,687人	75,365人



西桔梗野球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成19年5月1日
- ・所在地 函館市西桔梗町252番地27
(TEL・FAX49-3384)
- ・施設面積 24,032㎡
- ・施設概要 グラウンド 10,600㎡
 - ・両翼90m, 中堅115m, スタンド
 - ・収容人員 約270人 照明設備
 - ・主要諸室 事務室, ロビー, 更衣室
トイレ, 物品庫



(2) 開設期間等

- 5月1日～11月第2日曜日まで
- 供用時間 午前5時から午後10時まで

(3) 運営の方針

スポーツ振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	- 人	- 人	5,312人

函館市戸井運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和61年4月1日
- ・所在地 函館市小安町525番地1 (TEL82-3537)
- ・施設面積 28,496㎡
- ・施設概要 クラブハウス(284.31㎡), 事務室(12.96㎡),
医務室(12.96㎡), 器具室(22.68㎡),
談話室(87.48㎡), 更衣室(25.92㎡),
多目的グラウンド1面, テニスコート2面,
ゲートボールコート2面, 幼児広場
ランニングロード500m



(2) 開設期間

- 4月1日～11月30日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後5時30分
- ・休 館 日 月曜日, 国民の祝日の翌日

(4) 運営の方針

市民がそれぞれの年齢と体力に応じてスポーツを楽しむと共に, 憩いの場として活用し, 心身ともに健康で明るい生活を送れるよう開放する。

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	8,002人	7,758人	7,933人

函館市恵山運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和54年6月9日
- ・所 在 地 函館市川上町511番地
- ・施設面積 9,207.5㎡
- ・施設概要 野球グラウンド1面, 器具室, トイレ

(2) 開設期間

5月1日～10月31日

(3) 開館時間, 休館日

午前5時から日没まで

(4) 運営の方針

市民の健康増進を図り、体力の向上に寄与するため

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用 者 数	917人	1,048人	1,022人



函館市南茅部運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成元年4月1日
- ・所 在 地 函館市川汲町1657番地 (TEL25-5967)
- ・施設面積 36,639㎡
- ・施設概要 野球場 面積14,000㎡ 両翼90m,
中堅110m内野(クレイ), 外野(芝生)
スタンド 収容人員 約700人
〔内野スタンド 鉄筋コンクリート造(200人)
外野スタンド 盛土芝生スタンド(500人)
本部室, ダッグアウト,
グラウンド(クレイ)
〔収容人員 約500人, 面積11,200㎡
トラック 300m×6, サッカー1面, ソフトボール2面,
管理事務室, トイレ, 休憩所, 器具庫



(2) 開設期間等

4月第4土曜日～10月第4日曜日

供用時間 午前5時～日没

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
野 球 場	6,500人	6,263人	4,006人
グラウンド	4,553人	3,945人	3,183人
計	11,033人	10,208人	7,189人

函館市日吉サッカー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成9年4月1日
- ・所在地 函館市日吉町4丁目7番
(TEL・FAX54-1960)
- ・施設面積 51,634.75㎡(テニスコート含む)
- ・施設概要 芝コート(115m×78m),クレイコート(同左)
各1面(日本サッカー協会競技規則準拠)
管理事務所(鉄骨造2階建)335.36㎡
1階(195.2㎡)
 - ・事務室,トイレ(男女・身障者用),シャワー室,更衣室,器具庫,物品庫
 2階(140.16㎡)
 - ・会議室(80名収容),多目的広場(ゲートボール場22×17m,木製遊具),
駐車場64台(管理事務所側34台,テニスコート側30台)



(2) 開設期間等

- 4月1日～ 8月31日まで 午前7時～午後7時まで
 9月1日～ 9月30日まで 午前7時～午後6時まで
 10月1日～ 11月30日まで 午前7時～午後5時まで

(3) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	16,899人	17,530人	17,112人

根崎公園ラグビー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所在地 函館市湯川町3丁目6番(根崎公園内)
- ・施設面積 20,400㎡
- ・施設概要 プレー面積13,500㎡(芝)
スタンド(3,000人収容)
更衣室,物品庫,ゴールポスト



(2) 開設期間

- 4月第2日曜日～ 11月第2日曜日

(3) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	4,980人	3,360人	2,690人

千代台公園庭球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和43年4月1日(改修 平成3～5年)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番2号
(TEL・FAX31-6993)
- ・施設面積 12,900㎡
- ・施設概要 テニスコート
砂入人工芝コート10面(プレー面積7,600㎡)
移動式ベンチ40基, 審判台10基
夜間照明
メタルハイドランプ(1000W×80個)
4灯用12基, 8灯用4基(いずれも電撃殺虫器付)
平均照度 800ルクス
放送設備
スピーカー8基, CDダブルカセットデッキ, マイクセット一式
観覧席
盛土コンクリート階段スタンド(ベンチ式席), 収容人員 約800人
クラブハウス
構造: 鉄骨造2階建, 面積: 1階148.55㎡, 2階140.77㎡, 延べ289.32㎡
主要諸室
ロッカー室(男女各1), 男子トイレ(大1小2), 女子トイレ(2), シャワー室(シャワー男女各3基)
大会運営室(サービスカウンター付)



(2) 開設期間等

- 4月1日～11月第2日曜日
- 利用時間 午前6時～午後5時(日中)
午後5時～午後10時(夜間)

(3) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・硬式テニス教室

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	66,376人	67,419人	66,633人

函館市南茅部市民庭球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成2年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町327番地3
- ・施設面積 3,562㎡
- ・施設概要 テニスコート(プレー面積1,672㎡)
全天候型(ゴムチップウレタン塗装)2面



(2) 開設期間等

- 4月第4土曜日～11月第3日曜日
- 開館時間 午前9時～日没

(3) 運営の方針

- スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	95人	375人	415人

函館市民体育館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和50年2月21日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番2号
(TEL57-3141・FAX57-3142)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造4階建一部鉄骨造
外壁茶系磁気質三丁掛窯変タイル
- ・敷地面積 35,340.05㎡
- ・建物延面積 7,426.04㎡
- ・建物内容 競技場 1,720㎡～室内競技全種目
収容人員5,000人 固定スタンド席1,500席
移動椅子席 3,500席



- 第1体育室 (393.6㎡)
- 第2体育室 (192㎡～柔道練習室)
- 第3体育室 (192㎡～剣道・空手練習室)
- 第4体育室 (110㎡)
- 幼児体育室 (121㎡)
- トレーニング室 (174㎡)
- スポーツサウナ室 (男女各室93.6㎡)
- 会議室 (第1・第2・第3), 更衣・シャワー室, 応接室, 事務室等

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民生活におけるスポーツ振興と生活内容として営むことのできる生涯体育の基礎をつくり, スポーツの継続化, 生活化を促進する。

- ・生涯スポーツの基礎づくりとスポーツのもつ社会的機能・役割の促進
- ・健康な生活を高めるスポーツ活動の促進
- ・市民総参加の活動を目指した普及振興事業の推進
- ・施設利用プログラムの編成と自主スポーツクラブの育成・推進

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・スポーツ教室～親子体育, ジュニア室内サッカー, 筋力アップストレッチ 他
- ・スポーツ振興事業～各種スポーツ大会
- ・指導者養成～函館市地域スポーツ指導員研修会, 市民スポーツ研修会 他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	69,917人	82,780人	80,250人
団体利用	96,534人	109,794人	143,164人
計	166,451人	192,574人	223,414人

函館市恵山総合体育館

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和49年4月1日
- ・所 在 地 函館市川上町506番地(TEL84-2031・FAX84-2031)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建
- ・敷地面積 12,084.92㎡
- ・建物延面積 1,516㎡
- ・建物内容 体育館(936㎡), 更衣室(男女各1:128㎡), 談話ホール(90㎡), 器具室, 事務室(24.5㎡)



(2) 開設期間

1月6日～12月30日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時30分～午後4時30分(日・木・土・祝日)
午前9時30分～午後8時30分(火・水・金)
- ・休館日 月曜日・祝日の翌日

(4) 運営の方針

社会体育の振興を図り、市民体育の向上に寄与するため

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	9,618人	7,558人	7,522人

函館市古部体育館

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成11年4月1日
- ・所 在 地 函館市古部町252番地3
- ・構 造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 432㎡
- ・建物内容 体育館(283.36㎡)



(2) 開設期間等

1月1日～12月31日

開館時間 午前9時～午後9時

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	247人	331人	400人

函館市南茅部スポーツセンター

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和59年7月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町604番地1
(TEL・FAX25-5039)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 2,291.90㎡
- ・建物内容 アリーナ(957㎡)
研修室兼トレーニング室(73.5㎡)
研修室兼柔剣道室(230㎡)
更衣室(男女別), 事務室, 控室



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時(日曜日のみ午後5時まで)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月5日)

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	1,850人	3,233人	2,829人
団体利用	16,635人	18,550人	16,034人
計	18,485人	21,783人	18,863人

函館市磯谷体育館

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成11年4月1日
- ・所 在 地 函館市岩戸町214番地
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・建物延面積 531㎡
- ・建物内容 体育館(459.50㎡)



(2) 開設期間等

1月1日～12月31日
開館時間 午前9時～午後9時

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	0人	0人	0人

函館市民プール

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年7月20日
(昭和61年 屋内50mプール改修)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番25号
(TEL52-7452・FAX52-7657)
- ・構 造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
2階建一部地階
- ・敷地面積 8,886.54㎡
- ・建物延面積 6,701.01㎡
- ・建物内容 管理棟, 事務室, 会議室,
ロビー, シャワー室等
25mプール棟~25×16m×7コース
50mプール棟~50×21m×8コース
幼児プール×2(15m×6m, 変形)
採暖室, シャワー室, 指導員・監視員室, 放送室
医務室, ロビー, 会議室, 観客席(固定席600席)等



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前10時~午後9時
- ・休館日 年末年始(12月31日~1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民皆泳をめざし, 水泳活動の拠点としての施設の機能と役割を果たす効率的な運営を図る。

管理運営目標

- ・安全管理体制の充実 ・施設, 設備の整備充実
- ・指導体制の充実強化 ・広報, 広聴活動の促進

主催事業目標

- ・水泳知識と技術の普及 ・市民皆泳の推進

施設利用目標

- ・余暇時間の健全な活用と個人利用の拡充 ・クラブの育成と拡充

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・水泳教室~市民水泳教室, パワフルスイム, 水中ウォーキング教室, ウォータビクス教室 他
- ・水泳振興事業~市民プールまつり, 市民水泳記録会 他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人利用	53,203人	40,747人	41,127人
回数券利用		12,247人	12,503人
団体利用	46,014人	45,640人	41,969人
その他	45,649人	39,072人	42,179人
計	144,866人	137,706人	137,778人

函館市恵山プール

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成49年7月1日
- ・所 在 地 函館市川上町506番地(TEL84-2031)
- ・構 造 鉄筋鉄骨コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 723.61㎡
- ・建物内容 25mプール ~ 25×16m×6コース
シャワー室, ロッカー室, サウナ室



(2) 開設期間

6月1日～9月30日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時30分～午後4時30分(日・木・土・祝日)
午前9時30分～午後8時30分(火・水・金)
- ・休館日 月曜日・祝日の翌日

(4) 運営の方針

市民の心身の健全な発達を図るとともに, 水泳の基本的な技術の習得を図り, もって水に対する事故に対応できる市民の育成を図る。

(5) 主催事業

プール教室(年20回), 水泳記録会

(6) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	2,042人	1,336人	1,755人

函館市南茅部プール

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市尾札部町1608番地1
(TEL・FAX63-2269)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 1,667.08㎡
- ・建物内容 一般用プール 25×13m×6コース
低学年用プール
ジャグジープール
更衣室, ミーティング室, トレーニング室, 事務室



(2) 開設期間等

- ・開設期間 4月1日から10月31日まで
- ・開館時間 午後1時～午後6時(水曜日および金曜日にあつては午後8時まで)
- ・休館日 月・火曜日

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	7,725人	8,381人	8,341人

千代台公園弓道場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和32年8月28日
(一部改修 平成12年4月～7月)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番8号(TEL53-4322)
- ・施設面積 512㎡
- ・施設内容 建築面積 射場・待機場他169㎡, 的場30㎡
的数5ヶ, 射程距離28m



(2) 開設期間等

通年(1月4日～12月28日)ただし, 毎週水曜日は休館日
開館時間 午前9時～午後9時

(3) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用人員	12,490人	11,913人	11,606人

根崎公園アーチェリー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目6番
- ・施設面積 4,140㎡
- ・施設内容 射場 2,700㎡, 的数14ヶ
射程距離 90m, スタンド(1,000人収容)
更衣室, 物品庫



(2) 開設期間

4月第2日曜日～11月第2日曜日

(3) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用人員	1,265人	1,470人	1,225人

函館市湯川海水浴場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成7年7月9日
- ・所 在 地 函館市根崎町4,5,6,10,11番地先
(函館市熱帯植物園前浜)
- ・施設規模 75×110m (遊泳区域70×100m)
水深0～1.2m, 浮島5×10m (通路2×35m)
- ・設置形態 シーズン設置～杵ロープ, 筋ロープ, 敷きネット
側ネット, 浮島, コースロープ
航路標識灯
- ・付帯施設 トイレ(男女各5), シャワー(男女各3)
更衣室(男女各1), 監視所(電話, 放送設備等)
駐車場(約90台)



(2) 開設期間等

- ・7月15日～8月31日(午前10時～午後5時)
ただし, 遊泳時間は午前10時～午後4時30分まで

(3) 運営の方針

市民の心身の健康な発達とスポーツ・レクリエーション活動の普及, 促進を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用人員	58,423人	45,358人	30,818人

函館市入舟町前浜海水浴場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和55年
- ・所 在 地 函館市入舟町22番地先
- ・施設規模 60×50m, 水深0～3m
- ・付帯施設 トイレ(男女各1), 更衣室(男女各1), 監視所, 駐車場(約10台)

(2) 開設期間等

- ・7月22日～8月15日(午前10時～午後4時30分)
ただし, 遊泳時間は午前10時～午後4時00分まで

(3) 運営の方針

市民の心身の健康な発達とスポーツ・レクリエーション活動の普及, 促進を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用人員	6,865人	4,340人	3,714人

函館市白尻スキー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成2年1月10日
- ・所 在 地 函館市白尻町593番地1 (TEL25-5797)
- ・施設面積 25,000㎡
- ・施設内容 第1ゲレンデ 13,000㎡
第2ゲレンデ 12,000㎡
斜度 最高 約30度, 最低 9度
簡易リフト 第1リフト 170m
第2リフト 206m
ナイター照明6柱, ロッジ(木造平屋造) 92.74㎡



(2) 開設期間等

- 12月第4土曜日～3月第3日曜日 供用時間 午前9時～午後9時
ただし, リフト運行時間: 午後1:00(日曜日および祝日によっては午前9時)～午後9時

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	4,767人	3,065人	3,991人

函館市民スケート場

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成3年1月13日
(全面改修 平成14年12月14日供用開始)
- ・所 在 地 函館市金堀町10番8号
(TEL54-5233・FAX54-5616)
- ・構 造 仮設式アイスパネル屋外組立解体式
- ・氷 面 積 5,024.4㎡
- ・施設内容 スピードスケートリンク(1周250m)
サブスケートリンク(29m×60m)
休憩所(屋内・外), 貸スケートコーナー等



(2) 開設期間等

- ・開設期間 12月上旬～翌年2月末日
- ・開場時間 土・日・祝日, 公立小中学校の冬休み期間 午前11時～午後7時
その他の日 正午～午後7時
時間外開場(専用使用の場合に限る) 午後7時～午後10時
- ・休 場 日 12月31日, 1月1日

(3) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・各種スケート教室, スケート指導員育成研修会, スケート場イベントデー 他

(4) 施設の利用状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用人員	37,601人	40,379人	34,755人

(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況

(単位:人)

分類	施設名	17年度	18年度	19年度	備考	
社会教育施設	学習活動拠点施設					
	公民館	25,288	27,290	31,955		
	亀田公民館	23,925	22,168	22,918		
	戸井公民館	5,887	6,412	4,898		
	南茅部公民館	13,950	9,834	13,265		
	戸井生涯学習センター	4,207	4,561	3,981		
	戸井総合学習センター	5,618	4,015	3,887		
	榎法華総合センター	4,010	3,843	4,231		
	亀田福祉センター	143,764	138,964	137,612		
	青年センター	62,216	58,883	56,134		
	青少年研修センター	20,877	18,857	18,208		
	亀田青少年会館	27,075	25,479	23,808		
	戸井青少年会館	4,658	3,722	5,393		
	南茅部青少年会館	716	784	704		
	学習活動援助施設	中央図書館(移動図書館含)	100,527	305,154	295,776	H17.11.27開館
		図書館本館	4,528	-	-	H17.5.23休館
		千歳図書室	39,769	29,016	28,708	
		美原図書室	27,401	22,037	22,630	
		湯川図書室	24,403	20,503	20,967	
		旭岡図書室	7,792	8,641	9,026	
		港図書室	15,158	12,982	13,144	
		桔梗配本所	3,445	3,742	4,346	
		博物館	8,037	7,774	18,494	
		五稜郭分館	79,820	54,885	50,052	H19.11.30 閉館
		郷土資料館	9,247	8,246	8,358	
		戸井郷土館	411	302	349	
		恵山郷土博物館	6,165	5,414	5,742	
	重要文化財旧函館区公会堂	147,224	158,222	144,303		
	北洋資料館	18,871	20,131	18,801		
	文学館	18,530	18,956	17,992		
	北方民族資料館	26533	27,176	24,918		
	道立函館美術館	50,920	62,625	52,839	総観覧者数	
	大船遺跡埋蔵文化財展示館	10,829	9,711	13,350		
	戸井埋蔵文化財展示館	7	8	0		
	芸術活動 観覧施設					
	市民会館	241,781	250,323	250,843		
	芸術ホール	136,614	130,246	137,273		
スポーツ施設	陸上競技場	千代台公園陸上競技場	102,166	93,593	92,502	
	野球場	千代台公園野球場	47,213	69,687	75,365	
		函館八幡宮外苑野球場	7,788	7,086	6,403	
		新川公園野球場	7,057	6,875	9,522	
		根崎公園野球場	9,564	9,171	11,957	
		西桔梗野球場	-	-	5,312	
	運動広場	根崎公園少年運動広場	4,380	4,535	5,155	
		戸井運動広場	8,002	7,758	7,933	
		恵山運動広場	917	1,048	1,022	
		古部グラウンド	0	0	0	
		南茅部運動広場	11,033	10,208	7,189	
		磯谷グラウンド	0	0	0	
	球技場	日吉サッカー場	16,899	17,530	17,112	
		根崎公園ラクビー場	4,980	3,360	2,690	
	庭球場	青柳市民庭球場	7,427	5,201	4,635	
		千代台公園庭球場	66,376	67,419	66,633	
		NHK広場テニスコート	1,513	465	1,274	
		日吉市民庭球場	5,982	6,174	3,814	
		南茅部市民庭球場	95	375	415	
	総合体育館	函館市民体育館	166,451	192,574	223,414	H17.7~12改修
		恵山総合体育館	9,618	7,558	7,522	
		古部体育館	247	331	400	
		南茅部スポーツセンター	18,485	21,783	18,863	
		磯谷体育館	0	0	0	
	プール	函館市民プール	144,866	137,706	137,778	
		恵山プール	2,042	1,366	1,755	
		南茅部プール	7,725	8,381	8,341	
弓道場	千代台公園弓道場	12,490	11,913	11,606		
アーチェリー場	根崎公園アーチェリー場	1,265	1,470	1,225		
海水浴場	函館市湯川海水浴場	58,423	45,358	30,818		
	函館市入舟町前浜海水浴場	6,865	4,340	3,714		
スキー場	函館市白尻スキー場	4,767	3,065	3,991		
スケート場	函館市民スケート場	37,601	40,379	34,755		

5 学校開放事業の概要

(1) スポーツ開放事業

ア 開放の目的

小・中学生の施設を学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ活動等に開放し、青少年の健全な育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。

イ 開放の区分

(ア) 校庭開放 ~ 児童および幼児（幼児は保護者の付添いのあるもの）の遊び場として利用に供するため、グラウンドおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの。

(イ) 遊泳開放 ~ 児童および生徒の団体であって、成人の責任者の引率するものが遊泳に供するため、プールを開放するもの。

(ウ) スポーツ開放 ~ 函館市内に在住または勤務する者の団体であって、成人の責任者の引率するものが行うスポーツおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの。

ウ 開放する学校

(ア) 校庭開放（16校）

小学校 弥生，青柳，あさひ，北星，港，高盛，千代田，柏野，深堀，北日吉，高丘，北昭和，昭和，北美原，鍛神，東山

(イ) 遊泳開放（25校）

小学校 西，弥生，青柳，あさひ，北星，八幡，万年橋，港，中島，駒場，高丘，上湯川，旭岡，亀尾，東，桔梗，中の沢，昭和，北昭和，中央，北美原，神山，東山，本通，南本通

(ウ) スポーツ開放（54校）

小学校 弥生，青柳，あさひ，中部，北星，八幡，万年橋，港，千代ヶ岱，中島，千代田，柏野，金堀，駒場，上湯川，深堀，北日吉，亀尾，鱒川，石崎，桔梗，中の沢，北昭和，昭和，亀田，赤川，中央，北美原，鍛神，東山，神山，本通，南本通，戸井西，日新，えさん，椴法華，木直，磨光，大船
中学校 潮見，凌雲，大川，港，光成，深堀，湯川，戸倉，赤川，桔梗，亀田，桐花，日新，椴法華

エ 開放時間帯

(ア) 校庭開放	土曜日	午後1時 ~ 午後4時
	日・祝日(春・夏・冬休み含む)	午前10時 ~ 午後1時
(イ) 遊泳開放		午後1時 ~ 午後4時
	夏休み期間中の土曜日	午後1時 ~ 午後3時
	夏休み期間中の日曜日	午前10時 ~ 正午
(ウ) スポーツ開放		午後1時 ~ 午後3時
	月曜日 ~ 土曜日(祝日を除く)	午後6時 ~ 午後9時

オ 管理体制

開放校に学校開放主事と学校開放管理指導員を置く。

学校開放管理指導員は、教育委員会、学校開放主事の命を受けて、利用者の指導および事故防止等の業務に従事する。

(2) 文化開放事業

ア 開放の目的

文化活動（音楽・芸能・文学・芸術など）や趣味の活動（将棋・生け花・料理など）を行うグループ・サークルに対し、練習や活動の場を提供する。

イ 開放する学校および諸室（12校）

小学校（7校）

- 八幡小学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，うさぎ広場，音楽広場
- 金堀小学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室
- 石崎小学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室
- 鍛神小学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，図工室，多目的教室
- あさひ小学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，図工室，1階昇降口ホール
- 中の沢小学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，図工室，多目的教室
- 昭和小学校 ~ 音楽室，視聴覚室，図工室

中学校（5校）

- 港中学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室
- 深堀中学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，技術室，作法室(和室)
多目的ホール
- 戸倉中学校 ~ 図書室，会議室
- 桐花中学校 ~ 図書室，音楽室，視聴覚室，技術室，美術室
作法室(和室)，多目的スペース
- 桔梗中学校 ~ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，技術室，美術室
多目的教室

ウ 開放期間および開放時間帯

1月1日～5日，12月31日を除き通年開放。ただし，学校諸行事が優先。

- 月～金曜日 午後6時～9時
- 土・日曜日および祝日 午前9時～正午
午後1時～午後4時
午後6時～午後9時

エ 管理体制

開放時に学校開放管理員1名を置く。（業務委託）

(3) 学校開放状況の推移

校庭開放・スポーツ開放

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
開放校数	56校	56校	56校
校庭開放	16校	16校	16校
スポーツ開放	52校	53校	54校
校庭・スポーツ開放	12校	13校	14校
利用人員	128,589人	128,322人	126,581人
開放回数	10,297回	10,377回	10,852回
一校あたりの平均回数	183.9回	185.3回	193.8回

遊泳開放

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
開放校数(実施校数)	29校(2校)	26校(1校)	25校(1校)
利用人員	2団体47人	1団体17人	1団体31人
開放回数	3回	3回	3回
実施校の平均回数	2回	3回	3回

文化開放

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
開放校数	11校	11校	12校
利用回数	1,837回	1,859回	1,833回
利用人員	32,016人	23,849人	21,896人

6 財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

設立 平成元年.2.15

湯川町一丁目3番1号 函館市民会館内
TEL57-9734 FAX57-3115

(1) 設立趣旨

函館市の社会教育施設の管理に市民の参加と民間経営の手法を導入することにより、効率良い運営とサービスの向上を図るとともに、市民の求めている文化・スポーツ事業や学習活動を市民参加の中で柔軟に計画・実施・運営することにより、市民の文化・スポーツの振興に寄与することを目的とする。

(2) 設立形態および基本財産

民法第34条による公益法人
函館市出捐金 3,000万円

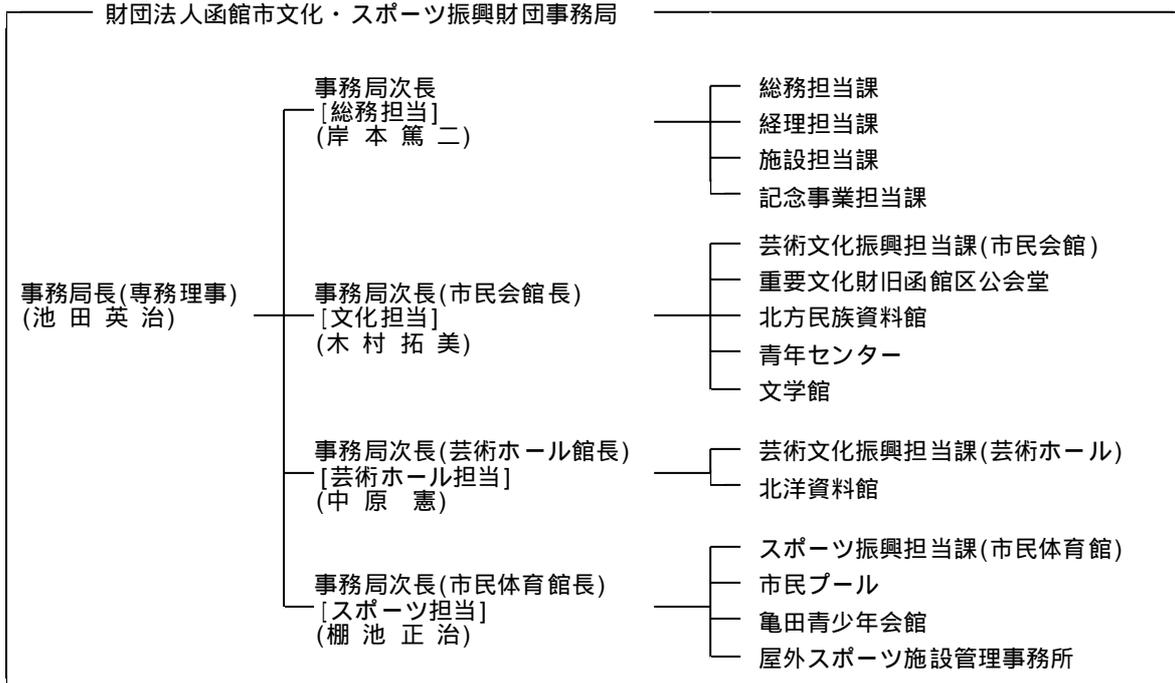
(3) 管理運営施設

市民会館，市民体育館，市民プール，
重要文化財旧函館区公会堂，
北方民族資料館，北洋資料館，
青年センター，亀田青少年会館，文学館
屋外スポーツ施設：千代台公園野球場
千代台公園陸上競技場
千代台公園庭球場，芸術ホール，湯川公園

(4) 管理運営施設（直営）

市民スケート場（12月～2月）

財団法人函館市文化・スポーツ振興財団事務局



(5) 事業概要

文化振興事業

鑑賞型事業，参加創造型事業
育成学習型事業，市民活動奨励事業
管理施設事業

スポーツ振興事業

スポーツ教室事業，イベント事業
指導者養成事業，鑑賞事業
文化・スポーツ施設等管理運営事業
函館市の指定を受けて，文化・スポーツ施設の管理運営を行う。

スケートリンク運営事業

市民のウィンタースポーツの振興・普及を図るとともに，活動の場を提供する。

広報事業

文化・スポーツの情報誌を発行し，市民の利便を図るとともに，文化・スポーツ活動の活性化を促進する。
(財団ニュース「ステップアップ」の発行等)

収益事業

売店等の収益により，文化・スポーツ事業への還元を図るとともに，重要文化財旧函館区公会堂等をPRする函館らしい商品の開発などを行う。

学 校 教 育

1	平成20年度函館市学校教育の重点	96
2	市立学校施設一覧	97
3	児童・生徒・園児	101
4	育英事業	103
5	学校保健	105
6	学校安全	107
7	学校給食	108
8	就学援助	110
9	特別支援	112
10	中学生海外派遣事業	113
11	函館市南北海道教育センター	114
12	創意ある学校づくり推進事業（知恵の予算）	115

1 平成20年度 函館市学校教育の重点（函館市の学校教育の充実に向けて）

これまで私たちは、地域とともに、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育を進めてきました。今後は、本年度からスタートする「函館市義務教育基本計画」に基づき、さらに函館の教育の充実を図ります。

函館市義務教育の基本理念

心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ

めざす子ども像

個性豊かに生きる子ども

「確かな学力」を身に付け、個性や創造性を発揮し、自らの生き方を創り出す子どもをはぐくみます。

優しさをもって生きる子ども

責任とモラルを重んじ、他者を思いやり、人間尊重の精神や自他の生命を大切にすることをはぐくみます。

たくましく生きる子ども

健やかな心と体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する活力に満ちた子どもをはぐくみます。

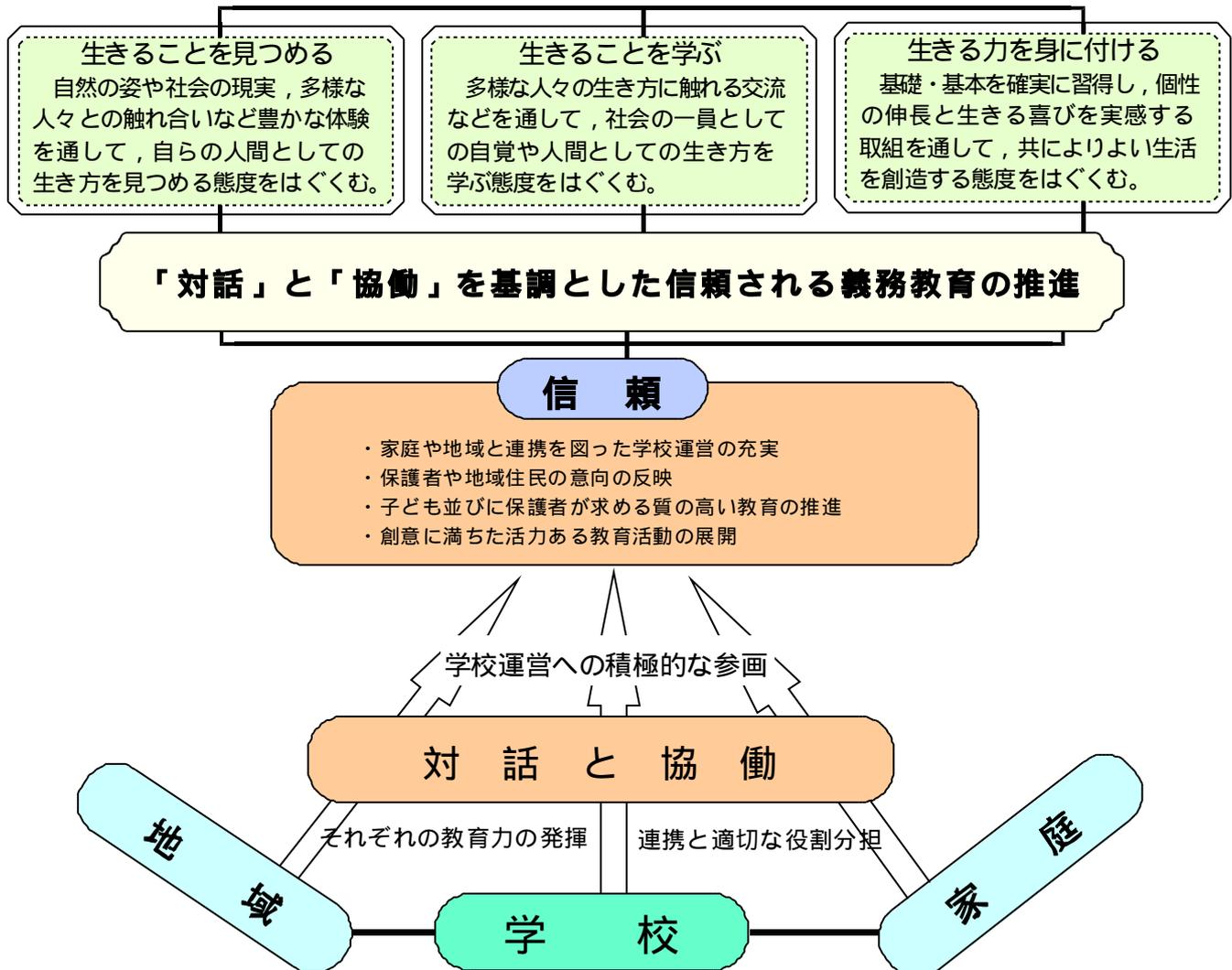
函館に生きる子ども

ふるさとのおよさを見付け、誇りを持ち、先人の生き方に学び、進取の精神をもって新たな文化を創造する子どもをはぐくみます。

共に未来を生きる子ども

社会の変化に主体的に対応する力を持ち、広い視野に立って社会に貢献する子どもをはぐくみます。

基本姿勢 **生きることを見つめ 生きることを学ぶ学校教育の創造**



2 市立学校施設一覧

(1) 小学校

学 校 名	学級数		児童数		校舎保有面積 ㎡	屋内運動場 保有面積㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 西	6		77		3,672	784	6,259	2,173	8,432
2 弥生	6	2	171	4	6,850	1,123	9,749	1,960	11,709
3 青柳	11		271		6,133	1,265	7,721	2,665	10,386
4 あさひ	12	1	275	2	4,402	1,084	4,719	4,182	8,901
5 中部	7	2	189	8	4,183	835	4,707	6,595	11,302
6 北星	6	1	128	1	3,422	875	6,835	3,089	9,924
7 八幡	17	1	492	1	5,600	1,000	9,891	4,043	13,934
8 万年橋	6	1	120	2	3,376	956	6,994	4,670	11,664
9 港	16	3	491	12	5,797	1,018	8,580	9,820	18,400
10 高盛	6		213		6,093	1,035	9,486	2,000	11,486
11 千代ヶ岱	6		178		4,283	872	7,317	4,000	11,317
12 中島	6	1	204	2	3,587	1,062	5,602	5,156	10,758
13 千代田	6	1	153	2	3,640	1,004	8,258	5,022	13,280
14 柏野	14	2	378	9	5,392	952	8,152	5,453	13,605
15 金堀	9		275		4,679	1,044	10,641	9,866	20,507
16 駒場	12	1	361	3	5,100	998	11,395	14,915	26,310
17 深堀	12	1	293	3	4,374	829	7,611	8,621	16,232
18 日吉が丘	12	2	338	6	5,980	897	9,766	8,107	17,873
19 北日吉	14	2	446	4	4,129	789	13,396	7,583	20,979
20 湯川	13	2	399	10	5,790	798	10,382	7,200	17,582
21 高丘	12	1	371	1	3,604	752	10,118	6,411	16,529
22 上湯川	6		179		5,076	855	11,835	8,000	19,835
23 旭岡	12	1	303	1	5,117	749	11,004	10,794	21,798
24 亀尾	4		27		1,442	(併)	3,066	5,088	8,154
25 鱒川	3	1	17	3	668	(併)	9,946	4,670	14,616
26 東	6	1	174	1	3,256	602	9,914	7,015	16,929
27 石崎	4		34		1,968	825	30,441	8,190	38,631
28 桔梗	13	2	420	4	4,612	1,057	8,923	5,076	13,999
29 中の沢	15		455		3,024	678	6,498	4,814	11,312
30 北昭和	12	1	349	6	3,462	652	8,264	7,750	16,014
31 昭和	17	1	505	2	6,183	927	15,095	10,799	25,894
32 亀田	12	4	341	26	5,991	778	12,875	5,080	17,955
33 赤川	7	1	205	1	3,203	942	8,092	3,469	11,561
34 中央	12	2	397	7	5,774	867	10,249	9,589	19,838
35 北美原	20		701		4,816	895	7,851	9,161	17,012
36 鍛神	14	4	456	15	5,728	793	12,013	9,426	21,439
37 神山	17		510		4,315	1,002	7,965	6,535	14,500
38 東山	17	1	513	1	4,413	770	9,115	6,317	15,432
39 本通	12		359		5,535	945	9,059	17,229	26,288
40 南本通	11	1	276	2	3,138	772	4,993	8,024	13,017
41 戸井西	6	2	84	2	1,604	748	11,230	11,220	22,450
42 日新	6		77		2,997	747	7,545	4,886	12,431
43 えさん	6	1	155	1	2,958	708	6,120	13,528	19,648
44 椴法華	5	1	59	1	2,329	652	10,188	5,416	15,604
45 木直	6		56		1,560	560	6,519	4,426	10,945
46 磨光	6	1	137	1	3,629	1,329	13,732	8,789	22,521
47 白尻	6	1	61	1	2,406	586	14,124	10,411	24,535
48 大船	6	1	56	1	1,526	570	9,462	5,357	14,819
小学校計	470	51	12,729	146	200,584	39,854	453,697	334,590	788,287

平成20年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	ランチ ルーム	学 校 開 放				学 校 名
						校庭	遊泳	スポーツ	文化	
蒸気		鋼製		子						西
ポット式灯油		ステンレス		子						弥生
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス		子						青柳
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス		親						あさひ
蒸気	ダクト式高温風			単独						中部
ガスFF	ダクト式高温風	ステンレス		親						北星
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス		単独						八幡
温水	遠赤外線放射	ステンレス		単独						万年橋
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス		単独						港
ポット式灯油				単独						高盛
ポット式灯油	ダクト式高温風			単独						千代ヶ岱
温水	遠赤外線放射	コンクリート		単独						中島
温水	遠赤外線放射			親						千代田
温水	遠赤外線放射			単独						柏野
ガスFF	遠赤外線放射			単独						金堀
温水	遠赤外線放射	ステンレス		単独						駒場
ポット式灯油	ダクト式高温風			子						深堀
ポット式灯油	ダクト式高温風			子						日吉が丘
電気	ダクト式高温風			子						北日吉
温風				親						湯川
電気	ダクト式高温風	鋼製		子						高丘
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス		子						上湯川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		親						旭岡
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親						亀尾
灯油FF				子						鱒川
温風	ダクト式高温風	鋼製		子						東
灯油FF				親						石崎
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親						桔梗
電気	遠赤外線放射	FRP		子						中の沢
電気	遠赤外線放射	鋼製		子						北昭和
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス		親						昭和
ガスFF	ダクト式高温風			親						亀田
灯油FF	遠赤外線放射			子						赤川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		子						中央
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		単独						北美原
ガスFF	ダクト式高温風			親						鍛神
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親						神山
灯油FF		鋼製		親						東山
温風		鋼製		子						本通
温水	ダクト式高温風	ステンレス		子						南本通
灯油FF	温水			センター						戸井西
電気	温水			センター						日新
温水	温水			センター						えさん
温水	温水			センター						椴法華
灯油FF				センター						木直
温水	温水			センター						磨光
ポット式灯油				センター						白尻
ポット式灯油				センター						大船
										小学校計

(2) 中学校

学 校 名	学級数		生徒数		校舎保有面積 ㎡	屋内運動場 保有面積㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 西	4		102		3,759	794	4,900	2,793	7,693
2 潮見	6	1	189	2	4,270	1,161	9,369	11,713	21,082
3 宇賀の浦	5		133		5,785	827	7,440	2,600	10,040
4 凌雲	7	2	220	10	6,176	1,248	13,555	7,525	21,080
5 五稜	8		246		4,206	1,064	8,314	8,320	16,634
6 大川	6		215		4,271	1,225	8,759	9,177	17,936
7 港	9	1	248	1	4,439	1,200	11,391	9,221	20,612
8 光成	5		113		3,162	1,173	5,048	5,445	10,493
9 的場	12	1	397	1	6,245	1,267	9,105	14,670	23,775
10 深堀	11		366		5,960	947	10,949	13,922	24,871
11 湯川	10	4	299	29	6,232	1,136	15,142	8,709	23,851
12 戸倉	12	2	381	3	5,066	1,028	11,348	12,500	23,848
13 旭岡	6		178		3,569	972	11,704	10,681	22,385
14 亀尾	3		20		624	403			
15 鱒川	2		13		724	679			
16 銭亀沢	6		145		2,802	719	11,252	18,067	29,319
17 赤川	15		508		4,840	1,128	7,511	11,952	19,463
18 桔梗	11		397		4,405	908	9,691	10,321	20,012
19 亀田	20		671		7,064	1,115	21,802	19,717	41,519
20 桐花	11	4	328	23	5,309	1,231	11,229	13,763	24,992
21 本通	19	2	673	4	6,579	1,040	12,557	15,240	27,797
22 北	9	1	307	1	4,311	1,005	6,914	12,023	18,937
23 潮光	3	1	46	1	2,624	1,104	9,369	7,134	16,503
24 日新	3		32		2,747	983	21,524	8,926	30,450
25 恵山	3		83		2,385	770	10,267	10,573	20,840
26 榎法華	3	1	30	3	2,022	761	9,858	12,405	22,263
27 尾札部	4		115		4,450	808	11,175	19,059	30,234
28 白尻	3		74		2,413	733	13,897	16,572	30,469
中学校計	216	20	6,527	78	116,439	27,429	284,070	293,028	577,098

(3) 高等学校

学 校 名	学 級 数	生 徒 数	校舎保有面積 ㎡	屋内運動場 保有面積㎡	校 地 面 積 ㎡		
					建物敷地	グラウンド	計
1 市立函館	28	1,031	9,229	3,270	38,399	51,580	89,979
2 恵山	1	13	2,478	797	9,853	9,992	19,845
高等学校計	27	1,044	11,707	4,067	48,252	61,572	109,824

(4) 幼稚園

学 校 名	学 級 数	園 児 数	園舎保有面積 ㎡	園 地 面 積 ㎡			園 舎 暖 房
				建物敷地	グラウンド	計	
1 はこだて	4	92	785	1,735	665	2,400	ガスFF
2 万年橋	1	10	396	-	-	-	ガスFF
3 日吉	1	10	626	1,000	1,580	2,580	ポット式灯油
4 戸井	3	43	661	6,614	1,051	7,665	電気
幼稚園計	9	155	2,468	9,349	3,296	12,645	

平成20年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	学 校 開 放				学 校 名
					校庭	遊泳	スポーツ	文化	
蒸気	ダクト式高温風			子					西
ガスFF	遠赤外線放射			親					潮見
ポット式灯油	遠赤外線放射			単独					宇賀の浦
ポット式灯油	ダクト式高温風			子					凌雲
ポット式灯油				子					五稜
ポット式灯油				親					大川
温水				子					港
ポット式灯油				親					光成
ポット式灯油	遠赤外線放射			単独					的場
ガスFF	ダクト式高温風			単独					深堀
ガスFF	遠赤外線放射			単独					湯川
ポット式灯油				親					戸倉
蒸気	ダクト式高温風			子					旭岡
灯油FF	遠赤外線放射			子					亀尾
灯油FF				子					鱒川
蒸気				子					銭亀沢
蒸気	ダクト式高温風			子					赤川
温水	ダクト式高温風			親					桔梗
ガスFF	遠赤外線放射			親					亀田
ガスFF	遠赤外線放射			子					桐花
蒸気				子					本通
温水	ダクト式高温風			親					北
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製		センター					潮光
電気	温水			センター					日新
温水	温水			センター					恵山
温水	温水			センター					榎法華
ポット式灯油				センター					尾札部
ポット式灯油	遠赤外線放射			センター					白尻
									中学校計

校舎暖房	体育館暖房
ガスFF	遠赤外線放射
温水	遠赤外線放射

3 児童・生徒・園児

(1) 市立小中学校児童・生徒の推移

(各年度5月1日現在)

年 度	小 学 校							中 学 校						
	学 校 数	普通学級		特別支援		計		学 校 数	普通学級		特別支援		計	
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
10	42	518	15,842	16	75	534	15,917	23	271	9,221	12	51	283	9,272
11	42	510	15,236	18	79	528	15,315	23	255	8,764	14	61	269	8,825
12	42	489	14,690	19	84	508	14,774	23	244	8,277	11	55	255	8,332
13	42	472	14,123	20	81	492	14,204	23	237	8,007	12	58	249	8,065
14	41	465	13,814	23	86	488	13,900	23	231	7,662	14	58	245	7,720
15	40	457	13,507	25	91	482	13,598	22	217	7,272	13	58	230	7,330
16	40	455	13,281	28	98	483	13,379	22	204	6,767	11	55	215	6,822
17	48	498	13,706	37	106	535	13,812	28	213	7,051	19	67	232	7,118
18	48	493	13,378	42	126	535	13,504	28	215	6,817	21	73	236	6,890
19	48	477	13,023	48	137	525	13,160	28	219	6,764	21	79	240	6,843
20	48	470	12,729	51	146	521	12,875	28	216	6,527	20	78	236	6,605

(2) 市立小学校入学児童の幼稚園・保育所等修了状況

(各年度5月1日現在)

入 学 年 度	施 設 修 了 園 児							未 修 了 児 童	
	入 学 者 数	幼 稚 園		保 育 所		そ の 他 の 施 設		人 数	割 合 (%)
		人 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)		
10	2,312	1,521	65.8	745	32.2	9	0.4	37	1.6
11	2,378	1,546	65.0	798	33.6	9	0.4	25	1.0
12	2,321	1,532	66.0	746	32.2	5	0.2	38	1.6
13	2,283	1,417	62.1	833	36.5	7	0.3	26	1.1
14	2,230	1,387	62.2	807	36.2	11	0.5	25	1.1
15	2,157	1,334	61.8	791	36.7	7	0.3	25	1.2
16	2,180	1,360	62.4	789	36.2	6	0.3	25	1.1
17	2,215	1,308	59.0	870	39.3	4	0.2	33	1.5
18	2,145	1,236	57.6	890	41.5	2	0.1	17	0.8
19	2,097	1,198	57.1	853	40.7	16	0.8	30	1.4
20	2,018	1,199	59.4	781	38.7	9	0.5	29	1.4

(3) 中学校卒業生の進路状況

(各年5月1日現在)

卒 業 年	卒 業 者 数	進 学 者 数		各 種 学 校 等 入 学 者 数		就 職 者 数		そ の 他	
		人 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)	人 数	割 合 (%)
9	3,549	3,453	97.3	17	0.5	43	1.2	36	1.0
10	3,359	3,270	97.4	10	0.3	25	0.7	54	1.6
11	3,331	3,253	97.7	13	0.4	14	0.4	51	1.5
12	3,220	3,154	98.0	6	0.2	17	0.5	43	1.3
13	3,126	3,073	98.3	3	0.1	9	0.3	41	1.3
14	3,007	2,936	97.6	12	0.4	25	0.8	34	1.2
15	2,912	2,857	98.1	1	0.1	10	0.3	44	1.5
16	2,923	2,875	98.4	5	0.2	10	0.3	33	1.1
17	2,861	2,836	99.1	1	0.1	5	0.2	19	0.7
18	2,760	2,734	99.1	4	0.1	4	0.1	19	0.7

(4) 平成20年度 研究指定校の紹介

学 校 名	機 関	年 度	研 究 領 域	研 究 主 題
柏 野 小	市・局	19～20	教 育 課 程	『「生きる力」を確かなものにする教育課程の創造と展開』 ～PDCA(計画・実行・評価・改善)に基づいた柏野小プランづくり～
西 中	市・局	19～20	地域と一体と なった教育活動	『保・小・中・高・大と地域が連携した教育活動の展開』 ～地域と一体となった文化活動・ ボランティア活動等を通して～
旭 岡 小	市・局	20～21	学 習 指 導	『自ら課題を見つけ、確かな学びを追究し合う子どもの育成』 ～自分の思いや考えをもち、伝え合う力を育てる授業の 創造を通して～
宇賀の浦中	市・局	20～21	学 習 指 導	『主体的に学習に取り組み、確かな学力を育む指導の工夫』 ～主体的な学習を支えるための指導の工夫～

(5) 外国人英語指導助手派遣事業

児童生徒の国際理解の基礎を培うとともに、英語教育の充実を図ることを目的とし、外国人英語指導助手による市立学校での訪問授業および教師の研修等を行っている。平成5年度から各学校へ派遣を開始し、現在6名体制で実施している。

4 育英事業

(1) 奨学金制度

函館市民の子弟で、向学心に燃え、その能力が十分であるにもかかわらず、経済的理由のみによって修学困難な次に掲げる条件を兼ね備えた者に奨学金を貸与する。

ア 大学院、大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程・専修学校（専門課程・高等課程）に在学すること。

イ 学資に乏しいこと。

ウ 身体健康・学業優秀・性行善良であること。

エ 2人の連帯保証人が得られること。

奨学金の返還は、奨学生が目的の学校を卒業したとき、奨学生の希望する15年以内の期間で翌年から年度割りをもちて毎年その相当額を返還する。

奨学金月額

大学院生、大学生および短大生
 国立17,000円 私立19,000円
 高等専門学校学生 14,000円
 高等学校生徒および中等教育学校の後期課程の生徒
 国立10,000円 私立14,000円
 専修学校生徒
 専門課程17,000円 高等課程10,000円

奨学生年度別採用状況

年度	大 学				高 専				高 校				専 修				合 計			
	申込	採 用			申込	採 用			申込	採 用			申込	採 用			申込	採 用		
		新規	継続	計		新規	継続	計		新規	継続	計		新規	継続	計		新規	継続	計
19	国立7 私立13	7 13	12 26	19 39	5	5	7	12	国立23 私立30	22 26	36 58	58 84	専門7 高等0	7 0	8 1	15 1	85	80	148	228
20	国立9 私立8	7 8	14 24	21 32	4	4	10	14	国立21 私立47	19 36	40 51	59 87	専門11 高等2	11 2	9 0	20 2	102	87	148	235

平成20年度は6月末の人数、また継続生については旧函館市での採用人数

(2) 育英金制度

函館市民の子弟で優秀な大学生または大学院生に対し、特別奨学生として1人につき年額24万円以内の育英金を支給し、有為な人材の育成を図る。

また、大学生・大学院生が外国において研修を行う場合も随時予算の範囲内で育英金を支給する。

特別奨学生年度別採用状況

年度	申込	採 用			新規採用の学校名
		新規	継続	計	
19	12	2	5	7	札幌医科大学 1 早稲田大学 1
20	13	2	5	7	小樽医科大学 1 同志社大学 1

(3) 入学準備金制度

函館市民で高等学校，高等専門学校，短期大学，大学，大学院または専修学校に入学を希望する者の保護者等で，入学準備金の調達が困難な者に必要な資金を貸し付ける。

入学準備金の返還は，当該年の10月から定められた期間内に月賦で返還する。

奨学生年度別採用状況

年度	対象者	対象	貸付者
18	19年4月入学者を有する者	105	94
	高校・高専	87	78
	専修	5	5
	短大・大学・大学院	13	11
19	20年4月入学者を有する者	110	88
	高校・高専	83	66
	専修	6	6
	短大・大学・大学院	21	16

入学準備金の貸付金額・返還金額

区分	貸付金額	返還期間
高校・高専	10万円以内	30か月以内
専修	15万円以内	42か月以内
短大・大学・大学院	20万円以内	48か月以内

(4) 幼稚園就園奨励制度

幼稚園教育の普及充実に図るための一環として，幼稚園に通園する3歳児～5歳児の保護者に対し，入園料および保育料を減免するもので，昭和47年度より実施。

(平成11年度までは3～5歳児のみ助成の対象だったが，平成12年度から満3歳児にも対象が拡大された。)

幼稚園就園奨励事業状況

年度	区分	幼稚園総数	幼児総数 (人)	保育料等減免措置対象児数(人)					減免額または 交付額(円)
				生活保護・市民税 非課税	所得割 非課税	所得割 18,600円 以下	所得割 135,000円 以下	計	
平成18年度	市立	4	5歳児 4歳児 3歳児 計	13 8 2 23				13 8 2 23	490,000
	私立	26	5歳児 4歳児 3歳児 満3歳児 計	109 80 41 6 236	43 48 25 4 120	173 167 82 20 442	604 581 373 81 1,639	929 876 521 111 2,437	
	合計	30	5歳児 4歳児 3歳児 満3歳児 計	165 136 68 10 379		173 167 82 20 442	604 581 373 81 1,639	942 884 523 111 2,460	
平成19年度	市立	4	5歳児 4歳児 3歳児 計	5 4 6 15		所得割 34,500円 以下	所得割 183,000円 以下	5 4 6 15	354,000
	私立	28	5歳児 4歳児 3歳児 満3歳児 計	103 94 46 9 252	41 35 17 1 94	167 148 104 16 435	579 573 435 89 1,676	890 850 602 115 2,457	
	合計	32	5歳児 4歳児 3歳児 満3歳児 計	149 133 69 10 361		167 148 104 16 435	579 573 435 89 1,676	895 854 608 115 2,472	

5 学校保健

(1) 平成19年度児童・生徒の三計測平均値

区 分		6 歳		7 歳		8 歳		9 歳		10 歳		11 歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	函館市	117.3	116.4	122.9	122.3	128.5	127.8	134.4	134.6	139.9	141.3	145.7	147.9
	北海道	117.1	116.2	123.3	122.3	128.8	127.6	134.2	134.1	139.5	141.2	145.5	147.8
	全 国	116.6	115.8	122.5	121.6	128.3	127.4	133.6	133.5	139.0	140.3	145.1	146.8
体重 (kg)	函館市	22.1	21.5	25.0	24.2	28.4	27.0	32.7	31.6	36.8	36.4	40.9	41.3
	北海道	21.8	21.4	25.0	23.9	28.6	27.3	32.3	31.7	35.9	36.0	40.5	40.2
	全 国	21.5	21.0	24.2	23.5	27.4	26.6	30.7	30.0	34.4	34.3	38.7	39.1
座高 (cm)	函館市	64.8	64.6	67.5	67.2	70.2	69.9	72.9	73.0	75.5	76.2	77.9	79.7
	北海道	65.0	64.5	68.0	67.5	70.6	69.8	72.8	72.9	75.0	76.3	77.8	79.5
	全 国	64.8	64.5	67.7	67.3	70.4	70.0	72.7	72.8	75.1	76.0	77.7	79.3

区 分		12 歳		13 歳		14 歳		15 歳		16 歳		17 歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	函館市	153.8	152.6	160.6	155.3	165.9	156.9	169.2	156.4	171.0	158.2	171.4	158.3
	北海道	153.8	153.0	160.7	155.3	166.0	156.9	169.0	157.8	170.5	157.9	170.9	158.4
	全 国	152.5	152.1	159.8	155.1	165.2	156.7	168.5	157.3	170.0	157.8	170.8	158.0
体重 (kg)	函館市	47.5	46.0	52.3	48.7	56.1	51.9	60.7	52.2	62.7	53.8	65.0	54.2
	北海道	47.0	45.6	51.3	48.7	56.1	51.0	60.5	53.0	63.5	53.0	64.9	53.7
	全 国	44.5	44.1	49.6	47.6	54.7	50.3	60.0	52.1	62.0	53.2	63.7	50.3
座高 (cm)	函館市	81.8	82.3	85.2	83.6	88.3	84.6	90.0	85.1	91.7	86.5	92.3	86.5
	北海道	82.0	82.5	85.4	83.9	88.4	84.9	90.4	85.2	91.5	85.5	91.8	85.8
	全 国	81.3	82.2	85.0	83.9	88.0	84.9	90.2	85.4	91.3	85.6	91.8	85.7

(2) 平成19年度 定期健康診断時の児童・生徒の疾病等状況

小学校 (単位：人,%)

区 分		人数	構成比	
在籍者数		13,167	-	
口 腔 検 査	受検者数	12,833	97.5	
	歯周疾患治療要する者	197	1.5	
	その他歯疾病等異常の者	609	4.6	
	疾病者計	806	6.1	
眼 の 検 査	受検者数	12,855	97.6	
	結膜			
	アレルギー性の者	490	3.7	
	感染性の者	2	0.02	
	その他の者	11	0.1	
	その他			
	眼位の異常の者	43	0.3	
その他の異常・眼疾の者	102	0.8		
疾病者計	648	4.9		
耳・鼻・咽 喉 の 検 査	受検者数	7,055	53.6	
	耳の疾患	滲出性の中耳炎の者	47	0.4
		慢性中耳炎の者	3	0.02
		その他の者	302	2.3
	鼻の疾患	アレルギー性鼻炎の者	754	5.7
		慢性鼻炎の者	69	0.5
		副鼻腔炎の者	79	0.6
	その他の者	41	0.3	
	咽喉の疾患	アデノイドの者	0	0.0
		扁桃肥大の者	64	0.5
		その他疾病異常の者	7	0.1
疾病者計	1,366	10.4		
結核検査	受検者数	13,108	99.6	
	精密検査実施者	6	0.05	
	結核罹患患者	0	0.0	
尿検査	受検者数	13,090	99.4	
	陽性者	61	0.5	
心臓検診	受検者数	2,101	16.0	
	2次検査指示数	22	0.2	
内科的疾患等の検査	受検者数	12,535	95.2	
	脊柱・胸郭異常の者	27	0.2	
	皮膚疾患	アトピー性皮膚炎の者	526	4.0
		伝染性皮膚疾患の者	2	0.02
		その他皮膚疾患の者	8	0.1
	寄生虫病の者	0	0.0	
	疾病者計	563	4.3	

中学校 (単位：人,%)

区 分		人数	構成比	
在籍者数		6,824	-	
口 腔 検 査	受検者数	6,577	96.4	
	歯周疾患治療要する者	220	3.2	
	その他歯疾病等異常の者	503	7.4	
	疾病者計	723	10.6	
眼 の 検 査	受検者数	6,222	91.2	
	結膜			
	アレルギー性の者	201	2.9	
	感染性の者	1	0.01	
	その他の者	11	0.2	
	その他			
	眼位の異常の者	21	0.3	
その他の異常・眼疾の者	14	0.2		
疾病者計	248	3.6		
耳・鼻・咽 喉 の 検 査	受検者数	3,089	45.3	
	耳の疾患	滲出性の中耳炎の者	3	0.04
		慢性中耳炎の者	1	0.01
		その他の者	43	0.6
	鼻の疾患	アレルギー性鼻炎の者	355	5.2
		慢性鼻炎の者	0	0.0
		副鼻腔炎の者	6	0.1
	その他の者	4	0.1	
	咽喉の疾患	アデノイドの者	0	0.0
		扁桃肥大の者	9	0.1
		その他疾病異常の者	0	0.0
疾病者計	421	6.2		
結核検査	受検者数	6,796	99.6	
	精密検査実施者	3	0.04	
	結核罹患患者	0	0.0	
尿検査	受検者数	6,645	97.4	
	陽性者	55	0.8	
心臓検診	受検者数	2,216	32.5	
	2次検査指示数	62	0.9	
内科的疾患等の検査	受検者数	6,645	97.6	
	脊柱・胸郭異常の者	18	0.3	
	皮膚疾患	アトピー性皮膚炎の者	140	2.1
		伝染性皮膚疾患の者	0	0.0
		その他皮膚疾患の者	1	0.01
	寄生虫病の者	0	0.0	
	疾病者計	159	2.3	

構成比は、在籍者数に対する割合

6 学校安全

(1) 平成19年度独立行政法人日本スポーツ振興センター加入・給付状況

(加入者数はH19.5.1現在)

内 訳		学校種別	小 学 校 (48校)	中 学 校 (28校)	高 校 (2校)	幼 稚 園 (4園)	計
加入 内 訳	加入者数		13,157	6,838	1,147	201	21,343
	掛金額(A)		11,456,830	5,840,945	2,139,155	59,295	19,496,225
給 付 内 訳	医療費 給付対象(B)		12,416	6,324	1,147	201	20,088
	件数(C)		693	1,114	312	3	2,122
	給付金額(D)		5,210,822	9,949,987	3,279,786	8,320	18,448,915
	給付率($\frac{C}{B} \times 100$)		5.6	17.6	27.2	1.5	10.6
	平均給付額($\frac{D}{C}$)		7,519	8,932	10,512	2,773	8,694
障 害	件数		0	0	1	0	0
	給付金額		0	0	820,000	0	0
死 亡	件数		0	0	0	0	0
	給付金額		0	0	0	0	0
合 計	件数		693	1,114	313	3	2,123
	給付金額(E)		5,210,822	9,949,987	4,099,786	8,320	19,268,915
	掛け金に対する給付率 ($\frac{E}{A} \times 100$)		45.5	170.3	191.6	14.0	98.8

負傷・疾病給付金額には、継続給付金額を含む。

7 学校給食

(1) 調理方式

(単位：校，人)

区 分	小 学 校		中 学 校		計	
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	児童・生徒数
単 独 校 方 式	11	3,639	4	1,225	15	4,864
親 子 共 同 調 理 場 方 式	親学校	4,128	7	2,279	20	6,407
	子学校	4,416	11	2,717	27	7,133
	計	8,544	18	4,996	47	13,540
共 同 調 理 場 (セ ン タ ー) 方 式	8	692	6	384	14	1,076
合 計	48	12,875	28	6,605	76	19,480

当市の学校給食は、全校完全給食で、単独校（自校）方式、親子共同調理場方式、共同調理場（センター）方式を学校の実情にあわせて実施している。

親子共同調理場方式とは、調理施設のある学校（親）から調理施設のない学校（子）へ温食等を運搬する方式である。

共同調理場（センター）方式とは、センターで温食等を調理し、調理施設を併設しない学校へ運搬する方式である。

(2) 給食費の推移

旧函館市

(単位：円)

区 分	年 度	1食あたり平均単価				実 施 回 数	年 間 給 食 費	月 額 給 食 費	
		学年	主食	牛乳	副食				
小 学 校	18	2～5	55.67	34.27	129.21	219.15	185	40,550	(10回徴収)
		1・6							・2～5年生 4～1月 4,055
	19	2～5	55.56	35.15	128.44	219.15	182	39,890	・1・6年生 4～1月 3,989
		1・6							(10回徴収)
	20	2～5	59.59	36.28	141.04	236.91	185	43,830	(10回徴収)
		1・6							・2～5年生 4～1月 4,383
18	1～2	70.69	34.27	173.70	278.66	181	50,440	(10回徴収)	
	3							・1・2年生 4～1月 5,044	
19	1～2	70.57	35.15	172.94	278.66	173	48,210	・3年生 4～1月 4,821	
	3							(10回徴収)	
20	1～2	75.08	36.28	186.81	298.17	181	53,970	(10回徴収)	
	3							・1・2年生 4～1月 5,397	
									・3年生 4～1月 5,159

旧戸井町 (単位：円)

区分	年度	1食あたり平均単価				実施回数	年間給食費	月額給食費		
		主食	牛乳	副食	計					
小学校	18	64.99	34.27	121.46	220.72	193	42,600	(12回徴収)	4～3月	3,550
	19	57.83	35.15	127.74	220.72	193	42,600	(12回徴収)	4～3月	3,550
	20	59.84	36.28	124.60	220.72	193	42,600	(12回徴収)	4～3月	3,550
中学校	18	76.25	34.27	163.05	273.57	193	52,800	(12回徴収)	4～3月	4,400
	19	68.59	35.15	169.83	273.57	193	52,800	(12回徴収)	4～3月	4,400
	20	71.67	36.28	165.62	273.57	193	52,800	(12回徴収)	4～3月	4,400

旧恵山町 (単位：円)

区分	年度	1食あたり平均単価				実施回数	年間給食費	月額給食費		
		主食	牛乳	副食	計					
小学校	18	67.75	34.27	125.35	227.37	190	43,200	(10回徴収)	5～2月	4,320
	19	58.75	35.15	133.47	227.37	190	43,200	(10回徴収)	4～1月	4,320
	20	59.75	36.28	131.34	227.37	190	43,200	(10回徴収)	4～1月	4,320
中学校	18	78.77	34.27	164.85	277.89	190	52,800	(10回徴収)	5～2月	5,280
	19	69.67	35.15	173.07	277.89	190	52,800	(10回徴収)	4～1月	5,280
	20	70.65	36.28	170.96	277.89	190	52,800	(10回徴収)	4～1月	5,280

旧椴法華町 (単位：円)

区分	年度	1食あたり平均単価				実施回数	年間給食費	月額給食費		
		主食	牛乳	副食	計					
小学校	18	67.75	34.27	125.35	227.37	190	43,200	(12回徴収)	4～3月	3,600
	19	58.75	35.15	133.47	227.37	190	43,200	(10回徴収)	4～3月	4,320
	20	59.75	36.28	131.34	227.37	190	43,200	(10回徴収)	4～1月	4,320
中学校	18	78.77	34.27	164.85	277.89	190	52,800	(12回徴収)	4～3月	4,400
	19	69.67	35.15	173.07	277.89	190	52,800	(10回徴収)	4～3月	5,280
	20	70.65	36.28	170.96	277.89	190	52,800	(10回徴収)	4～1月	5,280

旧南茅部町 (単位：円)

区分	年度	1食あたり平均単価				実施回数	年間給食費	月額給食費		
		主食	牛乳	副食	計					
小学校	18	53.60	34.27	123.71	211.58	190	40,200	(12回徴収)	4～3月	3,350
	19	53.03	35.15	123.40	211.58	190	40,200	(10回徴収)	4月 5～1月	4,200 4,000
	20	56.27	36.28	119.03	211.58	190	40,200	(10回徴収)	4月 5～1月	4,200 4,000
中学校	18	64.17	34.27	160.51	258.95	190	49,200	(12回徴収)	4～3月	4,100
	19	63.04	35.15	160.76	258.95	190	49,200	(10回徴収)	4月 5～1月	5,100 4,900
	20	66.38	36.28	156.28	258.94	190	49,200	(10回徴収)	4月 5～1月	5,100 4,900

8 就学援助

(1) 就学援助費支給内容（平成20年度，年額）

（単位：円）

区 分		小 学 校		中 学 校	
給 食 費	旧函館市	1・6年	43,120	1・2年	53,970
		2～5年	43,830	3年	51,590
	旧戸井町		42,600		52,800
	旧恵山町		43,200		52,800
	旧楳法華村		43,200		52,800
	旧南茅部町		40,200		49,200
学用品費 通学用品費 校外活動費	1年		12,610		23,880
	その他の学年		14,780		26,050
新入学児童生徒学用品費等			19,900		22,900
体育実技用具費	柔道		-		7,300
	剣道		-		50,500
	スキー		25,300		36,300
	スケート		11,270		11,270
宿泊校外活動費		上限	3,470	上限	5,840
修学旅行費			実費		実費
通学費			実費		実費
医療費			実費		実費
特別支援教育就学費		上記金額の2分の1（通学のみ全額）			

(2) 給食扶助

（単位：人，％，円）

年度	学校別	児童生徒数（A）	該当人員（B）	$(B) \div (A) \times 100$	扶助総額
18	小学校	13,504	3,372	25.0	132,007,623
	中学校	6,890	1,656	24.0	80,399,148
	計	20,394	5,028	24.7	212,406,771
19	小学校	13,160	3,380	25.7	131,784,417
	中学校	6,843	1,698	24.8	82,274,423
	計	20,003	5,078	25.4	214,058,840

(3) 学用品等扶助

(単位：円)

年度	学校別	学用品費等扶助		新入学児童生徒用品費等扶助		修学旅行扶助費		通学扶助費		計	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
18	小学校	3,379	48,191,517	512	10,188,800	708	15,582,897	111	1,285,080	4,710	75,248,294
	中学校	1,661	44,041,490	544	12,457,600	668	35,717,404	38	2,078,830	2,911	94,295,324
	計	5,040	92,233,007	1,056	22,646,400	1,376	51,300,301	149	3,363,910	7,621	169,543,618
19	小学校	3,385	48,278,869	514	10,228,600	710	15,381,493	71	1,295,540	4,680	75,184,502
	中学校	1,706	45,189,610	563	12,892,700	697	35,843,325	62	2,694,820	3,028	96,620,455
	計	5,091	93,468,479	1,077	23,121,300	1,407	51,224,818	133	3,990,360	7,708	171,804,957

(4) 医療扶助

(単位：円)

年度	学校別	トラコーマ及び結膜炎		中耳炎		慢性副鼻腔炎およびアデノイド		う 歯		伝染性の皮膚疾患 (白癬・疥癬・膿痂疹)	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
18	小学校	17	59,590	23	201,240	22	350,530	532	4,359,940	-	-
	中学校	9	49,230	1	7,130	11	410,294	142	1,694,650	-	-
	計	26	108,820	24	208,370	33	760,824	674	6,054,590	-	-
19	小学校	18	51,810	24	275,740	25	211,950	540	4,508,630	-	-
	中学校	4	14,290	4	14,080	9	123,340	134	1,501,380	-	-
	計	22	66,100	28	289,820	34	335,290	674	6,010,010	-	-

年度	学校別	寄 生 虫		計	
		人員	金額	人員	金額
18	小学校	-	-	594	4,971,300
	中学校	-	-	163	2,161,304
	計	-	-	757	7,132,604
19	小学校	-	-	607	5,048,130
	中学校	-	-	151	1,653,090
	計	-	-	758	6,701,220

(5) 特別支援教育就学扶助

(単位：円)

平成18年度						平成19年度					
小学校		中学校		計		小学校		中学校		計	
人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
87	2,361,311	30	1,961,395	117	4,322,706	93	2,588,666	37	2,376,479	130	4,965,145

9 特別支援

(1) 特別支援学級の設置状況（平成20.5.1現在）

小学校

障がい別 学校名	知的障がい		情緒障がい		肢体不自由		病弱		言語	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
弥生	1	1	1	3						
あさひ			1	2						
中部	1	4	1	4						
北星	1	1								
八幡					1	1				
万年橋			1	2						
港	1	8	1	3			1	1		
中島	1	2								
千代田			1	2						
柏野	1	2	1	7						
駒場	1	3								
深堀			1	3						
日吉が丘	1	3	1	3						
北日吉	1	3	1	1						
湯川	1	7	1	3						
高丘	1	1								
旭岡	1	1								
鱒川			1	3						
東	1	1								
桔梗	1	1	1	3						
北昭和	1	6								
昭和			1	2						
亀田	2	10	2	16						
赤川					1	1				
中央	1	5	1	2						
鍛神	2	10	1	4	1	1				
東山					1	1				
南本通			1	2						
戸井西	1	1							1	1
えさん	1	1								
椴法華			1	1						
磨光	1	1								
白尻	1	1								
大船	1	1								
計	25	74	20	66	4	4	1	1	1	1

中学校

障がい別 学校名	知的障がい		情緒障がい		肢体不自由	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
潮見	1	2				
凌雲	1	8	1	2		
港	1	1				
的場					1	1
湯川	3	22	1	7		
戸倉	1	1	1	2		
桐花	3	21	1	2		
本通	1	2	1	2		
北					1	1
潮光	1	1				
椴法華	1	3				
計	13	61	5	15	2	2



合同宿泊学習「函館山登山」

(2) 交流教育の推進

- ・ 函館盲学校との交流 ~ 北星小学校，大川中学校
- ・ 函館聾学校との交流 ~ 深堀小学校，深堀中学校
- ・ 五稜郭養護学校との交流 ~ 柏野小学校
- ・ 函館養護学校との交流 ~ 旭岡小学校，鍛神小学校，旭岡中学校
- ・ 北海道教育大学教育学部附属特別支援学校との交流
~ 弥生小学校，万年橋小学校，駒場小学校，鱒川小・中学校，中央小学校

(3) 行事

- ・ 小・中別合同宿泊学習（各1泊2日）
- ・ 職場見学会（中学校3年生対象）
- ・ 小・中作品展（含即売会）

10 中学生海外派遣事業

未来の函館を担う中学生を広い視野と国際感覚を備えた人材として育成することを目的として、姉妹都市をはじめとする海外諸都市に派遣する事業である。

派遣先においては市内視察，学校訪問，ホームステイなどを通じて，海外の中学生，市民などとの交流を深め，中学生の国際理解教育の充実を図っている。

学生海外派遣実績

年度	派遣先	派遣人数	派遣日程
13	ユジノサハリンスク市	13人	平成13年 8月24日～31日
	天津市	20人	平成13年10月18日～23日
14	ハリファックス市 1	14人	平成14年 8月 2日～ 9日
	ユジノサハリンスク市	14人	平成14年 9月 2日～ 9日
	天津市	20人	平成14年10月10日～15日
15	ユジノサハリンスク市	14人	平成15年 9月15日～22日
	ウラジオストク市	14人	平成15年10月10日～15日
	レイク・マコーリー市	20人	平成15年11月19日～24日
16	ユジノサハリンスク市	15人	平成16年 9月20日～27日
	ウラジオストク市	14人	平成16年 9月 9日～14日
	天津市	20人	平成16年10月16日～21日
17	ユジノサハリンスク市	15人	平成17年 9月19日～26日
	ウラジオストク市	19人	平成17年 7月 1日～ 5日
	天津市	20人	平成17年10月19日～24日
18	ウラジオストク市	20人	平成18年10月 8日～15日
	レイク・マコーリー市	20人	平成18年11月24日～29日
19	ユジノサハリンスク市	15人	平成19年 9月 7日～14日
	ユジノサハリンスク市 2	8人	平成19年 9月23日～26日
	ウラジオストク市	20人	平成19年10月 2日～ 9日
	レイク・マコーリー市	20人	平成19年10月24日～29日
20	ユジノサハリンスク市	15人	平成20年 9月12日～19日
予定	レイク・マコーリー市	16人	平成20年11月 5日～10日

1 13年度派遣予定であったが，アメリカ同時多発テロの影響により，14年度に延期したものである。

2 18年度派遣予定であったが，現地事情により19年度に延期したものである。



平成19年度 ウラジオストク市訪問団（潜水艦博物館）

11 函館市南北海道教育センター

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 昭和49年9月1日
- ・ 所 在 地 函館市湯川町3丁目38番38号 (TEL57-8251・FAX57-6232)
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨造2階)
- ・ 敷地面積 4,102.92㎡
- ・ 建物延面積 1,946.35㎡



(2) 事業の概要

ア 研究事業

当面する教育課題を解決するため、地域の教育センターの独自性を生かした基礎的で実践的な調査・研究を行い、学校教育の充実発展に寄与する。

- (ア) 教育方法に関する研究 ・ 確かな学力をはぐくむための授業改善に関する研究
- (イ) 情報教育に関する研究 ・ 情報モラル育成に関する研究
- (ウ) 教育相談に関する研究 ・ 学校不適應へのアプローチに関する研究

イ 研修事業

教職員および社会教育関係者の資質を高めるため、教職員の法定研修をはじめ地域の教育課題を踏まえた各種研修等を実施し、教育に関する専門性と指導力の向上に努める。

ウ 教育相談事業

心身の発達や適応についての悩みや課題のある子どもと保護者、教職員を対象とする教育相談を学校・家庭および関係機関との連携のもとに行い、不適應行動や不安の解消を図るとともに、適正な教育や養育への支援に努める。

エ その他

各種機関、団体への貸館を行う。

研究紀要、資料等の受け入れおよび貸し出しを行う。

(3) 平成19年度事業のまとめ

ア 研究事業

- (ア) 教育方法に関する研究 ・ 確かな学力をはぐくむための授業改善に関する研究
 (イ) 情報教育に関する研究 ・ 情報活用能力の育成に関する研究
 (ウ) 教育相談に関する研究 ・ 豊かな心をはぐくむ指導の在り方に関する研究

イ 研修事業

(ア) 基本研修の実施状況

研 修 名	受 講 者 数 (人)		
	小学校	中学校	計
初任者研修	8	10	18
教職経験者(小中学校)研究協議会	6	6	12
10年経験者研修	11	9	20
公立小中学校学校運営研修会	8	5	13
小中学校新任校長研修会	7	1	8
小中学校新任教頭研修会	7	1	8
小学校教育課程改善協議会	65	0	65
中学校教育課程改善協議会	0	42	42

(函館市立学校分)

(イ) 専門研修の実施状況

区 分	研修数	受講者数(人)	日程
教科等研修	8	119	8
課題別研修	14	351	14
計	22	470	22

(ウ) 担当者研修の実施状況

研 修 名	受講者数(人)
特別支援教育コーディネーター研修(1日目)	77
特別支援教育コーディネーター研修(2日目)	69
栄養教諭研修(1日目)	26
栄養教諭研修(2日目)	28

(函館市立学校分)

ウ 教育相談の実施状況

内 訳	相談回数
学習指導	11
生徒指導	20
精神・身体	340
進路・適性	98
計	469

エ その他

(ア) 貸館状況

区 分	件数	利用人数	備 考
函館市教育委員会	118	4,441	合同校長会等
渡島教育局	0	0	
函館市内教育研究会等	60	2,353	校長会, 教頭会, 研修会等
渡島市町教育研究会等	0	0	
その他	50	1,102	団体パソコン教室 発明クラブ等
計	228	7,896	

(イ) 視聴覚機材・教材の利用状況

貸出機材	学校	一般	計
16ミリ映写機	0	0	0
VTR	0	1	1
その他	0	2	2
小 計	0	3	3

貸出教材	学校	一般	計
16ミリフィルム	2	0	2
VTRテープ	5	0	5
小 計	7	0	7
貸出合計	7	3	10

12 創意ある学校づくり推進事業（知恵の予算）

（１）事業の概要

函館市教育委員会では、子どもたちの豊かな成長と学校の活性化を図るため、平成19年度から「創意ある学校づくり推進事業（知恵の予算）」を実施しています。

この事業は、学校規模に応じて、毎年60万円から100万円を支給するもので、各学校では、校長をはじめ教職員が一体となって知恵を絞り、子どもの実態や地域の特色を生かした様々な教育活動を展開しています。

（２）学校数 小中併設校2校含む

小学校	48校
中学校	28校
高等学校	2校

（３）支給額

児童生徒数200人未満の学校	60万円以内
児童生徒数200～500人未満の学校	80万円以内
児童生徒数500人以上の学校	100万円以内

（４）主な事業内容

自分たちの地域を見つめ直す活動として
地域の歴史や暮らしを支える施設を学ぶため資料館・遺跡や浄水場・清掃工場の見学
地域の方々や豊富な経験を持つ社会人の活用として
外部講師による、道徳・性教育の特別授業や講演会の開催
福祉・ボランティア活動として
校区内の清掃や地域デイサービスセンターとの交流
花と緑に触れ合い自然と親しむ活動として
花壇の設置やピオトープの整備
体力づくりや健康な体を目指す取組みとして
なわとび・マラソンの活動や冬季のスケート教室・スキー活動の実施
食育や心の健康教育の推進として
管理栄養士による食育講演・調理指導や、専門家による「心」・「いのち」に関する講演会の実施
芸術・伝統文化を体験する活動として
演劇・雅楽の鑑賞や茶道体験
学力向上や読書活動の充実として
支援員を配置した基礎学力の向上や、朝読書・調べ学習の充実のための図書整備

資料編

1	函館市教育の沿革概要	117
2	函館市内の指定文化財	131
3	市立学校・幼稚園一覧	137
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	141
5	社会教育関係団体一覧	143
6	社会教育施設利用グループ一覧	144

1 函館市教育の沿革概要

嘉永元年 (1848)	佐々木作右衛門が鍛冶町に私塾「藤村塾」開設
" 3年 (1850)	森菊三郎が内濶町に「猿山塾」を開設，読み方，書き方を教授
" 4年 (1851)	本道最初の心学道場「誠終舎」開設
安政元年 (1854)	ペリー来航，日米和親条約の締結で箱館開港
慶応2年 (1866)	富原九一郎が大黒町に「富原私塾」を開設，読み方，書き方，算術を教授
明治2年 (1869)	蝦夷地を北海道，箱館を函館と改称し，開拓使を設置
" 3年 (1870)	柳田藤吉が「郷学校」(のちに郷塾と改称)を会所町に設け，漢・英を教授
" 4年 (1871)	函館学校(本道最初の官立学校)創設，漢・英二学を教授(官員の子弟のみ)
" 5年 (1872)	学制公布 函館病院附属医学所で教授開始 官立函館学校へ一般人の入学許可 私立戸井教育所開設
" 6年 (1873)	官立函館学校を「露学校」と改称(翌年，官立松陰学校に，のち元町学校) 元町に正教学校開校 本道最初の中学校である官立変則中学校(3か年制)を富岡町に設立
" 7年 (1874)	変則中学校を富岡学校と改称，14歳以上19歳以下の者が入学 米国メソジスト監督教会員が元町で「日々(にちにち)学校」を開始(現遺愛学院の前身)
" 8年 (1875)	函館最初の官立小学校である会所学校が開校(6歳以上13歳以下の児童)
" 9年 (1876)	官立小学教科伝習所を会所学校に開設(本道における師範学校の前身) 公立松陰学校開校(最初の公立小学校)
" 10年 (1877)	公立内濶学校開校 私学愛陶舎，鶴岡学校設立 私立夜学の弁天学校，金蘭学校，行余学校，松濤学校(女子夜学校の最初)など開校(ともに小学校ではなく，日用簡易の学科教授)
" 11年 (1878)	公立住吉学校(現青柳小学校の前身)，公立宝小学校，公立常盤学校，公立亀田学校が開校 日本聖保禄会員が元町で教育の事業開始(現白百合学園高等学校の前身)
" 12年 (1879)	函館における最初の女子小学校である第一公立女学校が開校 函館における最初の夜間小学校(私立夜学)，淳風学校が開校 私立函館商船学校，公立上湯川学校が開校 函館公園内に開拓使仮博物館が落成(前年着工の函館公園完成) 小学校教科伝習所附属小学校開校(会所学校廃止)
" 13年 (1880)	私立臥牛小学校開校 公立石崎小学校，公立湯川小学校，公立宇賀小学校が開校 官立小学教科伝習所を官立函館師範学校と改称 小学校教科伝習所附属小学校を函館師範学校附属小学校と改称 図書館の先駆，思斉会が発足(翌年，書籍館となり一般公開) 戸井教育所を廃止，公立戸井学校，公立白浜学校，公立瀬田来学校を開校 楳法華簡易小学校開業
" 14年 (1881)	私立若山学校，沢学校，藤村学校など開校 官立函館師範学校内に一般青少年対象の私立函館夜学校を開設 函館教育協会(のちの函館教育会)発足

明治15年 (1882)	<p>私立福田学校，一貫学校が開校</p> <p>私立遺愛女学校開校（現遺愛女子高等学校，現校舎は1908年落成）</p> <p>公立弥生小学校開校</p> <p>私立東川小学校開校（同年，公立に編入して公立東川学校となる）</p> <p>開拓使を廃止，三県（函館，札幌，根室）設置</p> <p>函館県に教育令実施</p> <p>公立函館女学校開校（翌年，公立女子小学校と改称）</p> <p>私立高砂学校開校（翌年，私立高砂小学校と改称，明治17年公立に編入）</p> <p>この年，函館の人口36,419人，学齡児童5,049人，就学児童2,014人，未就学児童2,945人</p> <p>公立小安学校開校（戸井）</p>
" 16年 (1883)	<p>函館師範学校附属小学校内に幼稚園を設置，満3歳からの幼児20名を収容（函館における最初の幼稚園）</p> <p>函館県小学校校則，函館県小学校教則実施</p> <p>函館商船学校が県立に移籍（のち官立となり，東京商船学校函館分校となる）</p> <p>公立幸小学校開校，公立東川学校を公立東川小学校に改称</p> <p>私立商業学校が開校</p>
" 17年 (1884)	<p>私立商業私学校内に私立末広小学校開設</p> <p>元町正教学校内に露館裁縫場開設（のちの露西館女学校，正教女学校の創始）</p> <p>函館師範学校に教員講習場を設け，県内郡区の教員を対象に講習会開催</p> <p>函館公園内に博物館第二号館開設</p> <p>白浜学校，小安学校を合併し，小安学校とした。（戸井）</p>
" 18年 (1885)	<p>函館師範学校内に県立函館女学校創立</p> <p>私立皇漢英学講習所，私立五島学舎，私立函館学校開校，嘯山私塾開設</p> <p>戸井小学校新築</p>
" 19年 (1886)	<p>私立聖保禄女学校（現白百合高等学校）が開校</p> <p>私立豊川小学校，浜野小学校，堀川小学校，巴小学校が開校</p> <p>県が廃止され，札幌に北海道庁を設置</p> <p>札幌・函館の師範学校を廃止，改めて札幌に北海道師範学校を設置</p> <p>函館に当分，北海道師範学校分校を設置</p>
" 20年 (1887)	<p>庁立函館商業学校開校</p> <p>私立函館学校内に私立函館幼稚園開設</p> <p>北海道師範学校函館分校廃校（師範学校の校名を北海道尋常師範学校と改称）</p>
" 21年 (1888)	<p>公立函館書籍館開館</p> <p>私立六和女学校開校（現大谷高等学校の前身）</p> <p>椴法華簡易小学校 校舎改築</p>
" 22年 (1889)	<p>公立函館女学校開校 （高等小学校に類する女学校，修業年限4か年，ほかに別科として16歳以上の女子が入学）</p> <p>私立函館学校廃校（高等科の女生徒を公立函館女学校に移籍）</p> <p>高竜寺吉祥協会本部に私立吉祥女学校が開校</p> <p>聖公会牧師ウォルター・アンデレスが元町に私立靖和女学校を開校</p>
" 23年 (1890)	<p>元町正教女校に西洋裁縫科設置</p> <p>私立恵似小学校開校（北海道慈恵会設立）</p>
" 24年 (1891)	<p>官立函館商船学校新築落成，東京商船学校函館分校と改称</p>
" 25年 (1892)	<p>亀尾小学校開校</p> <p>英人ネトルシップ，元町に旧土人学校を開設</p> <p>私立遺愛女学校付設小学校・幼稚園開校</p> <p>戸井小学校鎌歌分校設置</p>

明治26年	(1893)	公立函館女学校を函館女子高等学校と改称(女子高等科単位の小学校)
" 28年	(1895)	米人シャーロツテ・ドレパー, 函館訓盲会を設立(現函館盲・聾学校の前身) 庁立函館商業学校が廃止, 庁立函館尋常中学校が開校, 商業専修科併設 (現函館中部高等学校の前身) 楳法華簡易小学校を楳法華尋常小学校と改称
" 29年	(1896)	私立東川尋常高等小学校に屋内運動場完成
" 30年	(1897)	公立幸尋常高等小学校・公立宝尋常高等小学校が開校(幸・宝小学校の改称)
" 31年	(1898)	住吉・東川・高砂尋常小学校が公立移管
" 32年	(1899)	函館尋常中学校商業専修科を廃止, 元町に庁立函館商業学校を新設・開校
" 33年	(1900)	函館区に初めて7名の学務委員設置(公民2, 区会議員3, 教員2) 戸井小学校鎌歌分校が独立し, 鎌歌小学校となる。
" 34年	(1901)	東京商船学校函館分校廃止, 庁立函館商船学校が開校(のち七重浜に移転) 庁立函館尋常中学校を庁立函館中学校と改称(明治39年現時任町に移転) 戸井, 瀬田来両尋常小学校を合併し, 日新尋常小学校と改称
" 35年	(1902)	私立六和女学校を私立函館大谷女学校と改称
" 36年	(1903)	函館区中部方面の学齢児童増加, 宝, 東川, 住吉, 高砂, 亀田の各小学校で二部授業開始 若松尋常高等小学校開校
" 38年	(1905)	庁立函館高等女学校開校(現函館西高等学校の前身) 宝小学校に宝補習夜学校を付設
" 39年	(1906)	私立函館実践女学校が東川町西別院内に開校
" 40年	(1907)	小学校令改正, 義務教育6か年制開始
" 41年	(1908)	私立函館幼稚園が栄町に設立 (昭和7年愛国婦人会函館幼稚園, 昭和18年函館幼稚園として市立に移管)
" 42年	(1909)	弥生小学校で区内の教員や児童の図画成績展覧会開催(函館初の展覧会) 函館教育会が谷地頭に公設運動場を設置(渡辺熊四郎の寄付) 市立函館図書館が函館公園内に設置・開館
" 43年	(1910)	公会堂落成・開堂(相馬哲平氏の寄付)
" 44年	(1911)	公立函館工業補習学校が青柳町に開校(大正9年新川町に新校舎に移転)
" 45年	(1912)	新川尋常小学校開校
<hr/>		
大正2年	(1913)	公立第二東川尋常小学校が開校 私立遺愛幼稚園が開園 五稜郭跡, 函館区に貸与(翌年6月, 公園として一般公開)
" 3年	(1914)	北海道函館師範学校開校(現北海道教育大学函館校の前身)
" 5年	(1916)	函館図書館五階建書庫落成(相馬哲平氏の寄付)
" 6年	(1917)	公立千代ヶ岱尋常小学校開校 函館教育会主催, 学童水泳会(七重浜, 水泳学校の最初) 小熊育英資金創始(小熊幸一郎氏の寄付) 公立第一尋常夜学校(第二東川小学校内), 公立第二尋常夜学校(新川小学校内)開校 函館慈恵院附属大森小学校開校
" 7年	(1918)	最初の区視学, 任命
" 8年	(1919)	楳法華尋常小学校 校舎新築落成
" 9年	(1920)	公立松風尋常高等小学校落成, 授業開始(翌10年開校式) 楳法華尋常小学校高等科を併置, 楳法華尋常高等小学校と改称
" 10年	(1921)	千代ヶ岱尋常小学校を千代ヶ岱尋常高等小学校と改称 函館教育会主催第一回児童安全デー開催(児童の交通安全を強調) 函館教育会主催第一回林間学校開設(最初の林間学校・大正15年から市が主催)

大正10年	(1921)	区立函館工業学校開校（翌年庁立，現函館工業高等学校の前身） 公立巴尋常小学校開校
" 11年	(1922)	函館支庁を渡島支庁と改称 函館区が函館市となり，区立小学校は市立小学校と改称 （当時，市内の市立尋常高等小学校は，弥生，函館女子，住吉，宝，東川，松風，若松，千代ヶ岱，亀田の9校，市立尋常小学校は，幸，常盤，第二東川，高砂，巴，新川の6校，私立小学校は，鶴岡尋常小学校，函館慈恵院附属大森小学校の2校） 五稜郭跡が国の史跡に指定
" 12年	(1923)	函館中学校に夜間中学校が開校 函館教育会が小学生の読物「函館の小学生」を刊行（昭和18年廃刊） 私立函館大谷女学校が私立函館大谷高等女学校と改称
" 13年	(1924)	谷地頭尋常高等小学校，弥生女子尋常高等小学校が開校 私立函館大妻技芸学校開校 （蓬莱町に開校，翌年松風町，昭和4年高砂町に移転・現函館大妻高等学校の前身）
" 14年	(1925)	私立遺愛第二幼稚園開園 函館市学校衛生婦会発足
" 15年	(1926)	函館市主催第一回林間学校，五稜郭公園内で開催 市教育課内に学校衛生主事を設置
昭和2年	(1927)	万年橋尋常小学校開校 函館教育会主催，ベストロッチ百年祭記念座談会開催（五島軒） 私立函館図書館が市立移管（新築して翌年7月開館） 大森尋常高等小学校開校
" 3年	(1928)	柏野尋常小学校開校 市立函館実修学校（商業部，工業部，女子商業部）開校
" 4年	(1929)	弥生女子尋常高等小学校ほか7校（谷地頭，住吉，東川，第二東川，松風，千代ヶ岱，巴）の高等科を廃止，市内高等科の女児全員を新設の函館女子高等小学校（開校式は翌年3月）に収容し，授業開始 国史跡五稜郭 堀外周長斜坂部が追加指定
" 5年	(1930)	谷地頭，住吉，汐見，新川の4小学校に養護学級設置 私立昭和技芸学校開校（現清尚学院高等学校の前身） 私立函館大谷幼稚園開園
" 6年	(1931)	函館市体操研究会主催第一回市内小学校教員陸上競技会を函館中学校で開催
" 7年	(1932)	函館大妻技芸学校を函館大妻女子高等技芸学校と改称 第一回函館市小学校連合体育大会を柏野総合運動場で開催 函館学校歯科医師会創設 函館市小学校地理教育研究会が「函館市地理読本」を編集，発行 函館市小学校診療所を松風小学校に開設
" 8年	(1933)	中島尋常小学校開校
" 9年	(1934)	四稜郭が国の史跡に指定 志苔館跡が国の史跡に指定 函館大火により，罹災学童18,046名，死亡学童218名 坂本市長「函館市教育是」発表
" 10年	(1935)	函館放送局が学校放送を開始 函館高等水産学校開校（現北海道大学水産学部の前身） 庁立函館商船学校が廃止され，新たに庁立函館水産学校が開校 私立竜谷幼稚園開園

昭和10年	(1935)	第一回北洋漁業視察小学校教員団6名出発
" 11年	(1936)	住吉尋常小学校を青柳尋常小学校,大森尋常高等小学校を高盛尋常高等小学校に改称 的場尋常高等小学校開校 私立函館第二大谷幼稚園開園
" 12年	(1937)	宝・松風・若松・新川の4小学校が尋常小学校となり,高等科廃止 大森尋常小学校開校 私立函館中等夜学校を私立函館夜間中学と改称 東川青年学校開校
" 13年	(1938)	弥生女子尋常小学校を弥生尋常高等小学校に合併
" 14年	(1939)	湯川町が函館市に合併 尋常高等小学校2校(湯川・亀尾),尋常小学校3校(鱒川・蛾眉野・寅沢)が市に移管 昭和技芸学校を市立昭和女子高等技芸学校(旧制中学校)と改称 私立函館経理学校が開校(現函館大学付属有斗高等学校の前身)
" 15年	(1940)	函館市立中学校が開校(旧函館東高等学校の前身)
" 16年	(1941)	国民学校令,国民学校施行規則が公布され,小学校は国民学校と改称 八幡国民学校開校 的場青年学校開校 太平洋戦争ぼっ発 椴法華尋常高等小学校を椴法華国民学校と改称
" 17年	(1942)	谷地頭・大森・万年橋・中島女子の各青年学校が開校 市教育課に体育主事設置
" 18年	(1943)	函館師範学校が北海道第二師範学校と改称 市立函館幼稚園開園(愛国婦人会函館幼稚園が市立移管)
" 19年	(1944)	寅沢国民学校が廃校 函館高等水産学校が函館水産専門学校と改称
" 20年	(1945)	市内国民学校初等科児童が集団疎開(亀尾,鱒川,銭亀沢,石崎,島川,市渡,駒ヶ岳,大沼,森,濁川,大野,清水,知内,湯里,吉岡,福島,松前等の学校,寺院その他へ分散宿泊) ポツダム宣言を受諾,終戦 谷地頭国民学校が廃止され,同校校舎に北海道第二師範学校女子部設置
" 21年	(1946)	放出物資によるミルク補食給食開始 (11月~幸小学校,翌年~高盛,千代ヶ岱,常盤,東川小学校) 椴法華小学校 校舎新築
" 22年	(1947)	教育基本法,学校教育法が公布(教育制度改革,六三三制発足) 函館市新学制実施協議会を結成 国民学校の名称が小学校と改称 新制中学校,公立13校(的場・弥生・新川・湯川・川原・時任・柳町・旭・中島・万年橋・亀尾・元町・五稜郭)国立1校(附属)私立3校(遺愛・大谷・白百合) 函館市公民館開館(旧青年会館) 函館市学校図書館研究会発足(全国で最初) 小安・汐首・日新小学校に新制中学校併置(戸井) 椴法華中学校開校
" 23年	(1948)	函館教育会が解散(函館文化会が継承) 万年橋中学校を大川中学校と改称 新制高等学校が発足 高盛中学校,松風中学校,青柳中学校が開校 教育委員会法公布 市立函館図書館第一分館開設

昭和23年	(1948)	市立函館博物館開設(市立図書館内) 日米文化センターが開設 椴法華中学校校舎新築落成
" 24年	(1949)	第一回函館市成人祭実施 レッド・パージにより, 6名の教員に休職発令 亀田村字港地区が函館市に合併(港小学校が市立移管) 弥生中学校を船見中学校と改称 時任・元町・五稜郭・青柳・川原の5中学校が廃校 私立函館藤幼稚園が開園 北海道第二師範学校が北海道学芸大学函館分校と改称
" 25年	(1950)	函館水産専門学校が北海道大学水産学部と改称 駒場小学校・千代田小学校が開校 愛宕中学校が開校 高盛中学校を光成中学校, 松風中学校を松川中学校, 中島中学校を中央中学校に改称 函館白百合幼稚園が開園(昭和39年元町より当時亀田町本通に移転) 青柳中学校を谷地頭中学校と改称し, 北海道第二師範学校女子部跡に移転 港小学校に特殊学級(精神薄弱)を設置 柏野小学校に養護学級(3学級)を設置 第一回函館市教育宝くじ発売 函館市文化賞規則制定(文化の日, 第一回授与式挙行)
" 26年	(1951)	函館昭和女子高等技芸学校移転(西川町 東川町)し, 昭和竜谷技芸高等学校に改称 千代ヶ岱公園に市営野球場が完成 第一回成人学校開校 函館市奨学資金条例制定 私立函館ちとせ幼稚園が開園 日新中学校独立校舎竣工(戸井)
" 27年	(1952)	文部省モデルスクールの新川中学校が落成 谷地頭中学校に特殊学級(精神薄弱)を設置 函館市学校給食研究会発足, 給食用パン代補助開始 函館市教育委員会が発足 私立めぐみ幼稚園開園(昭和49年本町より桔梗町に移転, 桔梗めぐみ幼稚園と改称) 潮光中学校独立校舎竣工(戸井) 国史跡五稜郭跡が特別史跡に指定
" 28年	(1953)	函館市教育委員会公報, 創刊号を発行 函館市新学制実施協議会を改め, 函館市学校教育審議会発足 函館商科短期大学開校 函館大妻技芸高等学校移転(高砂町 川原町) 公立戸井高等学校開校
" 29年	(1954)	第一回函館山市民ハイキング大会実施
" 30年	(1955)	函館市視聴覚ライブラリーを設置 谷地頭小学校開校 谷地頭中学校を潮見中学校と改称 第一回水泳学校開催(七重浜) 市立函館博物館五稜郭分館が開館
" 31年	(1956)	金堀小学校開校 私立国華幼稚園, 私立ひまわり幼稚園が開園
" 32年	(1957)	港中学校開校

昭和32年	(1957)	<p>函館市教育目標および教育課程を編成</p> <p>函館市学校教育の重点を設定</p> <p>函館市教育研究所を設置</p> <p>私立函館女子商業高等学校が開校（現函館大学附属柏稜高等学校）</p> <p>私立湯の川幼稚園，私立第二竜谷幼稚園が開園</p>
" 33年	(1958)	<p>第一回市民体育祭開催(千代ヶ岱公園陸上競技場)</p> <p>港中学校に特殊学級（精神薄弱）設置</p> <p>私立函館若葉幼稚園開園</p>
" 34年	(1959)	<p>青柳小学校，新川小学校，中島小学校，若松小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和38年，若松小の特殊学級廃止）</p> <p>函館市青少年保護育成事務局発足</p> <p>函館市青少年補導センター発足</p> <p>アイヌの生活用具コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定</p>
" 35年	(1960)	<p>函館市青少年問題協議会発足</p> <p>函館五稜郭病院内に柏野小学校・的場中学校の特殊学級「みどり学園」(病弱虚弱)を開設</p> <p>私立ラ・サール高等学校開校</p> <p>私立函館第三大谷幼稚園開園</p>
" 36年	(1961)	<p>深堀中学校開校</p> <p>弥生小学校，高盛小学校，新川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</p> <p>千代ヶ岱公園内に第二種公認陸上競技場が完成</p> <p>亀尾中学校の分教場が独立し，鱒川，蛾眉野中学校として開校</p> <p>私立湯川明照幼稚園，市立函館元町白百合幼稚園が開園</p> <p>昭和竜谷技芸高等学校が普通科を開設し，昭和竜谷女子高等学校と改称</p> <p>函館大妻技芸高等学校が函館大妻高等学校と改称</p> <p>安全都市宣言</p>
" 37年	(1962)	<p>五稜中学校開校</p> <p>函館五稜郭病院内特殊学級「みどり学園」(病弱虚弱)を五稜中学校に移管</p> <p>函館市文化財保護条例公布・施行</p> <p>国立函館工業高等専門学校開校</p>
" 38年	(1963)	<p>函館大谷女子短期大学開校</p> <p>函館北高等学校開校</p> <p>市立函館病院内に弥生小学校特殊学級「やよい学園」(肢体不自由)を開設</p> <p>柏野小学校養護学級を転用して精神薄弱学級を設置</p> <p>的場中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和48年廃止）</p> <p>村立戸井高等学校独立校舎竣工</p>
" 39年	(1964)	<p>日吉が丘小学校開校</p> <p>完全給食（A型）を実施（幸・常盤・弥生・谷地頭・青柳・東川・大森・新川・若松・松風・巴・八幡・万年橋・港・高盛・千代ヶ岱・中島・千代田・柏野・金堀・駒場・日吉が丘・湯川・亀尾・鱒川の25小学校，亀尾・鱒川の2中学校）</p> <p>昭和竜谷高等学校が東川町より亀田本町に移転</p> <p>万年橋小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</p> <p>「函館市ふたば学園」内に日吉が丘小学校および深堀中学校特殊学級(精神薄弱)を開設</p>
" 40年	(1965)	<p>函館市立道南青年の家が落成</p> <p>市内初の学校プールを金堀小学校に設置</p> <p>函館大学開校</p>
" 41年	(1966)	<p>松風小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</p> <p>市立松風幼稚園開園（松風小学校に併設）</p> <p>中央中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</p>

昭和41年 (1966)	<p>「市立函館整肢学院」に青柳小学校および旭中学校の特殊学級（肢体不自由）を開設（のちに青柳学園と改称）</p> <p>市立函館博物館本館開館</p> <p>銭亀沢村が函館市に合併（銭亀小学校，石崎小学校，宇賀小学校，銭亀沢中学校が市立移管）</p> <p>私立短期大学附属幼稚園開園</p>
" 42年 (1967)	<p>学校施設等を勤労青少年の社会教育活動に開放するため，初の学校開放実施（新川小学校）</p> <p>函館大谷高等学校に男子部（当時亀田本町本通）を設置</p> <p>亀田小学校（亀田町立当時）に特殊学級（精神薄弱）を設置</p> <p>木造大日如来坐像が国の重要文化財に指定</p> <p>戸井村学校給食開始</p> <p>戸井中央公民館開館</p> <p>第1回戸井村文化祭開催</p>
" 43年 (1968)	<p>桐花中学校（亀田町立当時）・大川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</p> <p>戸井青少年会館開館</p>
" 44年 (1969)	<p>函館商業高等学校が亀田町の新校舎に移転</p> <p>函館市青年センター開館</p> <p>梁川交通公園開設</p> <p>昭和竜谷女子高等学校を函館昭和女子学園高等学校と改称</p> <p>市立函館博物館郷土資料館開館</p>
" 45年 (1970)	<p>上湯川小学校開校</p> <p>西小学校開校（常盤小学校と幸小学校の統合）</p> <p>函館市民会館開館</p> <p>第一回新成人海外派遣実施</p>
" 46年 (1971)	<p>深堀小学校開校</p> <p>大森小学校に特殊学級（言語障がい）を設置</p> <p>函館市民プール開館</p> <p>太刀川家住宅店舗が国の重要文化財に指定</p> <p>戸井高等学校が全日制となる。</p> <p>南茅部町青少年会館開館</p>
" 47年 (1972)	<p>東小学校開校（銭亀小学校と宇賀小学校の統合）</p> <p>函館市働く婦人の家開館</p> <p>戸井郷土館開館</p> <p>南茅部町福祉センター（南茅部公民館）開館</p>
" 48年 (1973)	<p>新川小学校に特殊学級（情緒障がい・肢体不自由）を設置</p> <p>戸倉中学校開校</p> <p>市立日吉幼稚園開園</p> <p>亀田市が函館市と合併（亀田・鍛神・赤川・桔梗・中の沢・昭和・中央・本通の8小学校，鍛神小東山分校，桐花・亀田の2中学校が函館市立として編入，私立太陽の子幼稚園，私立大谷短期大学附属幼稚園，私立函館白百合学園幼稚園，私立ゆたか幼稚園の4園が函館市内となる）</p> <p>私立函館白百合学園中学校休校</p> <p>東幼稚園・西地区学校プール完成（戸井）</p>
" 49年 (1974)	<p>私立函館第二大谷幼稚園が花園町に移転し，花園大谷幼稚園として開園</p> <p>函館市北海道教育センター開所</p> <p>函館市民体育館開館</p> <p>旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定</p>
" 50年 (1975)	<p>北日吉小学校開校</p>

昭和50年 (1975)	<p>本通中学校開校</p> <p>「函館市ゆのかわ学園」に湯川小学校の特殊学級(精神薄弱)を開設</p> <p>重度心身障がい児のための住宅訪問指導員制度発足</p>
" 51年 (1976)	<p>北昭和小学校開校</p> <p>高丘小学校開校</p> <p>万年橋幼稚園開園</p> <p>日吉が丘小学校に特殊学級(情緒障がい)を設置</p> <p>「函館市ゆのかわ学園」に湯川中学校の特殊学級(精神薄弱)を設置</p> <p>市立函館図書館赤川通分室開館</p> <p>第一回函館市婦人大学講座開設</p> <p>第一回市民美術公募展開催</p> <p>国立函館大学誘致促進期成会発足</p> <p>戸井高等学校道立移管</p>
" 52年 (1977)	<p>西中学校開校(船見中学校と愛宕中学校の統合)</p> <p>市立函館図書館上湯川児童図書室開館</p> <p>私立第2太陽の子幼稚園開園</p> <p>第1回はこだて放送文化セミナー開設</p> <p>総合センター(戸井総合学習センター)開館</p>
" 53年 (1978)	<p>中部小学校が開校(新川小学校と松風小学校の統合)</p> <p>東山小学校が開校</p> <p>東高等学校校舎改築に着手(計画年度昭53~58)</p> <p>市立函館図書館第1分館桔梗配本所開設</p> <p>見晴町B遺跡・中野A遺跡発掘調査実施</p> <p>日新小学校改築工事竣工</p> <p>椴法華小学校 校舎改築落成</p>
" 54年 (1979)	<p>旭岡小学校開校</p> <p>北美原小学校開校</p> <p>私立函館ひかり幼稚園開園</p> <p>北海道五稜郭養護学校開校 (青柳小学校特殊学級(肢体不自由),旭中学校特殊学級(肢体不自由),柏野小学校特殊学級(病弱虚弱),五稜中学校特殊学級(病弱虚弱)を廃止)</p> <p>市立小・中学校に米飯給食を導入(週1回)</p> <p>移動図書館車(ともしび号)運行開始</p> <p>土偶が国の重要文化財に指定</p> <p>北海道指定有形文化財旧函館博物館1号修復工事実施</p> <p>権現台場遺跡発掘調査実施(昭54~55年度)</p> <p>函館市道立高等学校誘致促進期成会発足</p> <p>私立函館あおい幼稚園が開園</p> <p>日新中学校改築工事竣工</p> <p>椴法華小学校 屋内体育館改築落成</p>
" 55年 (1980)	<p>赤川中学校開校</p> <p>私立函館三育小学校開校</p> <p>銭亀沢中学校校舎改築</p> <p>重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事着手(昭55~57年度)</p> <p>第1回函館子どもの船開設</p> <p>第1回函館市民健康マラソン大会開催</p> <p>特別史跡五稜郭跡二の橋修理工事着手(昭55~56年度)</p> <p>函館市指定有形文化財旧北海道庁函館支庁舎保存修理工事着手(昭55~56年度)</p>

昭和55年 (1980)	<p>函館大谷女子短期大学に幼児教育科を新設</p> <p>函館市に道立高等学校の新設決定，昭和58年度開校 〔北海道教育長期総合計画（後期実施計画）〕</p> <p>函館市学校教育の重点を改訂</p> <p>楳法華総合センター開館</p>
" 56年 (1981)	<p>旭岡中学校開校</p> <p>湯川中学校分教場新築工事着手（翌年市立北中学校として開校）</p> <p>私立湯川明照幼稚園廃止</p> <p>私立ききょう幼稚園開園</p> <p>私立高丘幼稚園開園</p> <p>特別史跡五稜郭跡一の橋，二の橋修理工事完成</p> <p>函館市総合文化センター基本計画策定</p> <p>第1回函館子どもの祭典開催</p> <p>戸井西幼稚園開園（戸井地区）</p>
" 57年 (1982)	<p>北中学校開校</p> <p>凌雲中学校開校（中央中学校と松川中学校の統合）</p> <p>北洋資料館開館</p> <p>教育委員会施行30周年記念事業</p> <p>〔文化講演会，函館市教育委員会のあゆみ刊行（編集昭和57年度～59年度）〕</p> <p>「子どもの生活を考える」市内7ブロックで発足</p> <p>市立函館図書館湯川配本所開館（湯川支所内）</p> <p>銭亀沢中学校校舎改築</p> <p>北海道五稜郭養護学校校舎落成</p> <p>北海道函館養護学校校舎落成</p> <p>楳法華中学校改築</p>
" 58年 (1983)	<p>南本通小学校開校</p> <p>北海道函館稜北高等学校開校</p> <p>義務教育施設整備目標策定（昭59～平5年度）</p> <p>すずらん留守家庭児童会開設（上湯川小学校内）</p> <p>西部地区伝統的建造物群調査実施</p> <p>函館ハリストス正教会復活聖堂が国の重要文化財に指定</p>
" 59年 (1984)	<p>桔梗中学校開校</p> <p>函館大谷高等学校が男女共学開始</p> <p>核兵器廃絶平和都市宣言</p> <p>南茅部町スポーツセンター（南茅部スポーツセンター）開設</p>
" 60年 (1985)	<p>千代田小学校校舎改築（昭59～60年度）</p> <p>サイベ沢遺跡発掘調査完了（昭59～60年度）</p> <p>町民運動広場（戸井運動広場）完成（戸井地区）</p>
" 61年 (1986)	<p>函館市教育委員会30年誌発行</p> <p>中の沢小学校校舎・屋体改築</p> <p>湯川小学校校舎・防音改築（昭58～61年度）</p> <p>北海道立函館美術館開館</p> <p>市民プール50mプール改築（昭59～61年度）</p> <p>ふるさとの歴史的事跡モニュメント設置調査完了（昭59～61年度）</p>
" 62年 (1987)	<p>臨時教育審議会教育改革に関する第四次答申（最終答申）</p> <p>北星小学校校舎・屋体新築（昭61～62年度）</p> <p>史跡志苔館跡環境整備事業完了（昭58～62年度）</p>

昭和63年 (1988)	<p>函館市学校教育の重点を改訂 北星小学校が開校（巴小学校と若松小学校の統合） 義務教育施設整備計画〔木造校舎・屋内運動場改築事業（平成～7年度）〕策定 駒場小学校火災焼失(1月25日), 建設着手 亀田中学校校舎改築（昭62～63年度） 第42回全国レクリエーション大会兼第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 陣川町遺跡発掘調査完了（昭62～63年度） 重要文化財函館ハリストス正教会復活聖堂保存修理事業完了(昭61～63年度) 函館市西部地区歴史的景観条例公布・施行 函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区の決定および保存計画の策定 南茅部町民運動公園（南茅部運動広場）開設</p>
平成元年 (1989)	<p>財団法人函館市文化・スポーツ振興財団設立 駒場小学校改築 柏野小学校校舎改築（昭和63～平成元年度） 権現台場遺跡発掘調査実施 第44回国民体育大会「はまなす国体」水泳競技(夏季), 自転車競技(秋季)を開催 函館市北方民族資料・石川啄木資料館開館 伝統的建造物群保存地区保存事業開始 国際観光都市宣言</p>
" 2年 (1990)	<p>青柳小学校開校（青柳小学校と谷地頭小学校の統合） 桔梗小学校改築（平成元～2年度） 亀田小学校改築（平成元～2年度） 「登校拒否児童生徒の適応指導の在り方に関する調査研究委託事業」文部省委託（平成2～3年度） 「第4回ツール・ド・北海道」開催 特別史跡五稜郭跡保存整備基本計画策定 史跡四稜郭環境整備事業完了 箱館奉行所復元詳細調査実施 南茅部町民白尻スキー場（現白尻スキー場）開設 南茅部町民テニスコート（現南茅部市民庭球場）開設</p>
" 3年 (1991)	<p>赤川小学校改築 万年橋小学校改築（平成2～3年度） 湯川中学校改築（平成2～3年度） 第1回函館ハーフマラソン大会開催 青少年芸術教育奨励事業実施 豊原2遺跡発掘調査実施（平成3～5年度） 小・中学校へのコンピュータ導入</p>
" 4年 (1992)	<p>潮見中学校改築（平成3～4年度） 市制施行70周年記念事業宝くじスポーツフェア「名球会がやってくる」開催 中学生を対象とした適応指導教室「やすらぎ学級」を南北海道教育センター内に開校 「スポーツ健康都市宣言」制定</p>
" 5年 (1993)	<p>宇賀の浦中学校開校（旭中学校と新川中学校の統合） 函館市文学館開館（北方民族資料館は単独館化） 中島小学校改築（平4～5年度） 八幡小学校改築（平4～5年度） 外国人英語指導助手導入</p>

平成6年 (1994)	千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)全面改修 「第8回ツール・ド・北海道」開催 石倉貝塚発掘調査実施(平成6~8年度) 港小学校改築(平成5~6年度) 港中学校改築(平成5~6年度) 「いきいき長寿都市宣言」制定
" 7年 (1995)	神山小学校開校 金堀小学校改築(平成6~7年度) 深堀中学校改築(平成6~7年度) 外国人英語指導助手増員(2名体制) 湯川ネット式海水浴場開設
" 8年 (1996)	生涯学習部設置(社会教育部を改組) 社会教育施設整備基本計画策定 生涯学習推進基本構想策定 鱒川小中学校改築 石崎小学校改築 鍛神小学校改築(平成7~8年度) 桐花中学校改築(平成7~8年度) 外国人英語指導助手増員(3名体制) 函館市青少年研修センター(ふるる函館)開所 スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始(平成8~9年度)
" 9年 (1997)	私立函館大学附属女子高等学校を私立函館大学附属柏稜高等学校と改称(男女共学) 私立函館白百合学園中学校再開 第2次義務教育施設整備計画策定 函館市日吉サッカー場完成 港小学校プールに上屋設置 本通中学校屋内体育館改修(7月6日火災による) 中の沢小学校上屋付プール完成 第2回北海道生涯学習フェスティバル開催 「-男女共同参画社会をめざす-はこだてプラン21」策定 小中学校屋内体育館暖房設備の整備開始 潮光中学校新校舎完成
平成10年 (1998)	戦後学校教育の五十年発行 スクールカウンセラー活用調査研究委託事業継続(2名体制) 函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)完成 ウィークエンド・サークル活動推進事業開始 美原図書館夜間開館試行 駒場小学校上屋付プール完成 青柳小学校プールに上屋設置 「第12回ツール・ド・北海道」開催 長野県南佐久郡臼田町と「五稜郭ゆかりのまち協定書」締結 戸倉中学校情緒特殊学級「ふれあい学級」開設 戸井幼稚園開園(戸井東,西幼稚園統合) 鎌歌小学校を閉校し,日新小学校に統合 戸井西小学校開校(汐首小学校,小安小学校統合) 戸井生涯学習センター開館 南茅部町民プール(南茅部プール)開館

平成11年 (1999)	<p>函館市千代台公園陸上競技場全面改修 北美原小学校，赤川小学校に肢体不自由特殊学級開設 南本通小学校プールに上屋設置 瀬戸川1 遺跡発掘調査実施（平成11～14年度） 豊原4 遺跡発掘調査実施（平成12～14年度） 私立函館ラ・サール中学校開校 函館市千代台公園弓道場火災焼失(10月30日) 南茅部町立古部小学校廃校 南茅部町立磯谷小学校廃校 古部体育館，古部グラウンド，磯谷体育館，磯谷グラウンド開設</p>
" 12年 (2000)	<p>湯川小学校に情緒障がい特殊学級開設 大森小学校「ことばの教室」を廃止。中部小学校・中央小学校「ことばの教室」新設（日吉が丘小学校とあわせて3校体制に） 外国人英語指導助手増員（5名体制に） 函館市千代台公園弓道場改修 郷土資料館（旧金森洋物店）改修 中部小学校肢体不自由特殊学級閉鎖 特別史跡五稜郭跡箱館奉行所復元構想策定</p>
" 13年 (2001)	<p>事務局を生涯学習部・学校教育部の2部制に（管理部を廃止） 女性課を市民部に移管（男女共同参画課に） 特別史跡箱館奉行所庁舎復元計画策定 「第15回ツール・ド・北海道」開催 旧遺愛女子校宣教師館が国の重要文化財に指定 旧岩船氏庭園（香雪園）が国の名勝に指定 柏野小学校，中央小学校に情緒障がい特殊学級開設 湯川中学校肢体不自由特殊学級開設</p>
" 14年 (2002)	<p>亀尾小学校特認校に指定 中部小学校，港中学校に弱視特殊学級開設 東小学校に知的障がい特殊学級開設 桐花中学校に情緒障がい特殊学級開設 学校完全週5日制施行 学校評議員制度導入 あさひ小学校開校（大森小学校，東川小学校統合） 市立函館博物館がアルセニエフ博物館（ロシア）と姉妹提携 志海苔古銭と大甕，函館八幡宮大神輿が市指定有形文化財に 中央図書館プロポーザルコンペ実施 市立函館図書館第1分館廃止</p>
" 15年 (2003)	<p>はこだて幼稚園開園（函館幼稚園，松風幼稚園統合） 市立函館図書館千歳図書室開設 蛾眉野小中学校統合廃止（亀尾小中学校と統合） あさひ小学校，高丘小学校に情緒障がい特殊学級開設 北昭和小学校に知的障がい特殊学級開設 北海道志海苔中世遺構出土銭附甕敷板が国の重要文化財に指定</p>
" 16年 (2004)	<p>「第18回ツール・ド・北海道」開催 えさん小学校開校（尻岸内小学校，恵山小学校，古武井小学校，日浦小学校統合）</p>

平成16年 (2004)	<p>戸井町, 恵山町, 榎法華村, 南茅部町が函館市と合併 (戸井西・日新・えさん・榎法華・木直・磨光・臼尻・大船の8小学校, 潮光・日新・尻岸内・東光・榎法華・尾札部・臼尻の7中学校, 恵山高校, 戸井幼稚園が函館市立として編入, 道立戸井高校, 道立南茅部高校の2高校が函館市内となる)</p> <p>国指定史跡大船遺跡, 国指定重要文化財土偶が市に移管(南茅部)</p> <p>名勝旧岩船氏庭園(香雪園)保存修理事業実施(平成16~21年度)</p> <p>函館市スポーツ振興計画策定</p> <p>市立函館図書館上湯川児童図書室閉館</p>
" 17年 (2005)	<p>八幡小学校に肢体不自由特殊学級開設</p> <p>旭岡小, 鍛神小, 戸倉中に知的障がい特殊学級開設</p> <p>深堀小学校に情緒障がい特殊学級開設</p> <p>尾札部中学校に肢体不自由特殊学級開設</p> <p>恵山中学校開校(尻岸内中学校と東光中学校の統合)</p> <p>函館恵山高等学校が旧尻岸内中学校校舎へ移転</p> <p>市立函館図書館本館 中央図書館の移転に伴い休館</p> <p>遺愛学院(旧遺愛女学校)本館が国の重要文化財に追加指定</p> <p>大船遺跡発掘調査実施</p> <p>垣ノ島遺跡発掘調査実施</p> <p>市民体育館天井改修工事のため休館(6/30~12/17)</p> <p>函館市中央図書館閉館</p> <p>北星小, 駒場小, 港中, 臼尻小, 恵山中に知的障がい特殊学級開設</p> <p>昭和小学校改築(平成17~19年度)</p>
" 18年 (2006)	<p>函館市南茅部縄文遺跡群整備構想策定</p> <p>函館市文化芸術振興条例施行</p> <p>函館公園が国の登録記念物に指定</p> <p>ブラキストンの大型磨製石斧, 高松凌雲の医療器具が市の有形文化財に指定</p> <p>放送大学函館学習室開設(函館大学内)</p> <p>特別史跡五稜郭跡箱館奉行所庁舎復元工事着手(平成18~22年度)</p> <p>弥生小, 千代田小, 港小, 桔梗小, 本通小, 南本通小に情緒障がい特殊学級開設</p> <p>高丘小に知的障がい特殊学級開設</p> <p>の場中に肢体不自由特殊学級開設</p> <p>「縄文シティサミット in はこだて」, 「縄文市民サミット」開催</p>
" 19年 (2007)	<p>函館市西桔梗野球場開設</p> <p>市立函館高等学校開校(函館東高等学校と函館北高等学校の統合)</p> <p>土偶が国宝に指定</p> <p>函館市文化芸術の振興に関する基本方針策定</p> <p>外国人英語指導助手増員(6名体制に)</p> <p>市立函館博物館五稜郭分館閉館</p> <p>万年橋小, 日吉が丘小, 昭和, 鍛神小に情緒障がい特別支援学級開設</p> <p>北日吉小, えさん小に知的障がい特別支援学級開設</p> <p>東山小に肢体不自由特別支援学級開設</p>
" 20年 (2008)	<p>北日吉小, 鱒川小, 榎法華小, 本通中に情緒障がい特別支援学級開設</p> <p>桔梗小, 本通中に知的障がい特別支援学級開設</p> <p>鍛神小, 北中に肢体不自由特別支援学級開設</p>

2 函館市内の指定文化財

国指定(14件)



土偶



木造大日如来坐像



太刀川家住宅店舗



旧函館区公会堂



函館ハリストス正教会復活聖堂



遺愛学院(旧遺愛女学校)旧宣教師館



遺愛学院(旧遺愛女学校)本館



北海道志海苔中世遺構出土銭



大谷派本願寺函館別院(本堂)



アイヌの生活用具コレクション



五稜郭跡



四稜郭



志苔館跡



大船遺跡



旧岩船氏庭園(香雪園)

国選定(1件)

国登録(8件)



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区



函館公園(登録記念物 名勝地)

一 覧 表

(1) 国 指 定 (14件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	指 定 年 月 日	摘 要
国宝	土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	H19.6.8	縄文時代後期の土偶であり、大きさは41.5cmで中は中空
重要文化財	木造大日如来坐像	住吉町12-23 高野寺	高野寺	S42.6.15	11世紀から12世紀初期の作 明治24年(1891)紀州高野山から付与
	太刀川家住宅店舗	弁天町15-15	太刀川善一	S46.12.28	明治34年(1901)初代太刀川善吉が建築 明治末期の開港場商家の典型例
	旧函館区公会堂	元町11-13	函館市	S49.5.21	明治43年(1910)建設の洋風建築物
	函館ハリストス 正教会復活聖堂	元町3-13	函館ハリストス 正教会	S58.6.2	大正5年(1916)に建築されたロシアビ ザンチン様式を基本とする聖堂
	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館 旧宣教師館	杉並町23-11	学校法人 遺愛学院	H13.6.15	明治41年(1908)に建築された洋風木造 校舎と外国人宣教師の洋風住宅 (H16.12.10本館追加指定)
	北海道志海苔 中世遺構出土銭	青柳町17-1 博物館	函館市	H15.5.29	明治43年、志海苔町で発見された37万 枚を超える埋蔵古銭と大甕・敷板
	大谷派本願寺函館別院 本堂 鐘楼 正門	元町16-15	宗教法人 真宗大谷派函館別院	H19.12.4	本堂は大正4年に竣工した国内最初の 鉄筋コンクリート構造の寺院建築。 鐘楼、正門も大正初期に建設された。
重要有形 民俗文化財	アイヌの生活用具 コレクション	末広町21-7 函館市北方民族資料館	函館市	S34.5.6	民俗学者馬場脩氏が昭和初期に樺太な どから収集したアイヌ民族資料
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭町 本通1丁目	函館市	S27.3.29	安政4年(1857年)武田斐三郎設計によ り着工、元治元年(1864年)竣工 明治維新箱館戦争の舞台
史跡	四稜郭	陣川町	函館市	S9.1.22	明治2年(1869)五稜郭の背後を固める ため急造した洋式堡壘
	志海苔跡	志海苔町 赤坂町	函館市	S9.8.9	室町時代中期の小豪族の館
	大船遺跡	大船町	函館市	H13.8.13	縄文時代前期から中期末までの約千年 間に築いた集落跡
名勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	見晴町	函館市	H13.8.13	明治時代後半に市内の呉服商により造 成された、大規模で本格的な庭園

(2) 国 選 定 (1件)

種 別	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日	摘 要
重要伝統的 建造物群 保存地区	函館市元町末広町 伝統的建造物群 保存地区	弥生町,大町,元町,末広町,豊川町 の各一部	H1.4.21	旧外国公館,宗教施設および煉瓦造の 倉庫群,和洋折衷様式の町家など異国 情緒豊かな町並み

(3) 国 登 録 (8件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	指 定 年 月 日	摘 要
登録有形	五島軒本店旧館	末広町4-13	株五島軒	H9.5.7	昭和9年建築のレストラン
	北海道教育大学函館 校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	八幡町1-2	北海道教育大学	H12.4.28	大正3年建築の洋風木造校舎
	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	元町32-24	金盛喜久男	H12.4.28	昭和3年建築の洋風一般住宅
	函館中華会館	大町1-20	(社)函館中華会館	H13.4.24	明治43年建築の関帝廟式の集会所
	遺愛学院講堂	杉並町64-1	学校法人遺愛学院	H14.6.25	昭和10年建築の周囲との調和を図った講堂
	函館大手町ハウス (旧浅野セメント 函館営業所)	大手町5-1	澤田和子 阿部基子	H17.7.12	大正7年建築の、木造凝洋風社屋
	遺愛学院(旧遺愛女 学校)謝恩館	杉並町64-1	学校法人 遺愛学院	H17.7.12	大正11年建築,昭和36年2階部分増築 の同窓会会館
登録記念物 (名勝地)	函館公園	青柳町	函館市	H18.1.26	明治12年開園の和洋折衷型の公園

(4) 道 指 定 (20件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	樽岸出土の石器	青柳町17-1 博物館	函館市	S32.12.20
	夷酋列像粉本	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S34.2.24
	旧金森洋物店	末広町19-15	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館1号	青柳町17-5	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館2号	青柳町17-4	函館市	S38.7.26
	榎法華出土の尖底土器	青柳町17-1 博物館	函館市	S43.3.29
	釈迦涅槃図 蠣崎波響筆	船見町21-11 高龍寺	高龍寺	S43.3.29
	石崎八幡神社の鰐口	青柳町17-1 博物館	石崎八幡神社	S43.3.29
	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	刀銘 源 正雄	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	板碑(貞治の碑)	船見町18-14 称名寺	称名寺	S46.3.5
	板碑(戸井町の板碑)	浜町291-1 戸井郷土館	函館市	S46.3.5
	サイベ沢遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	住吉町遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	旧北海道庁函館支庁庁舎	元町12-18	函館市	S60.3.30
	旧開拓使函館支庁書籍庫	元町12-18	函館市	S60.3.30
無形民俗文化財	松前神楽	青柳町9-23	松前神楽函館 連合保存会	H20.6.9
史跡	恵山貝塚	恵山町	函館市	S42.3.17
	女那川煉瓦製造所跡	川上町	函館市	S42.3.17
	古武井溶鉱炉跡	高岱町	函館市	S42.3.17

(5) 市 指 定 (84件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	小林源之助著 蝦夷地草木写生図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	小玉貞良筆 蝦夷国風図絵	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	アイヌ風俗12ヵ月屏風1双(うち7月~12月は平沢屏山筆, 1月~6月は宮原柳僊模写)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	近藤重蔵書翰	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	イワン・マホフ著 ろしやのいろは	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	古川古松軒筆 松前蝦夷地之図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	菅原透ほか鏝23点, 唐草文ほか小物5点	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	恵山貝塚出土品を中心とする恵山文化期骨角器製品一括資料506点並びに恵山貝塚出土遺物を中心とする恵山式土器一括資料62点(いずれも旧能登川コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	日ノ浜遺跡出土 硬玉製玉(縄文晩期)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	カムチャツカ出土 マンモス牙	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	セイウチ(海象)剥製	五稜郭町37-8 北洋資料館	函館市	S37.11.3
	樺太出土 マンモス下顎骨と臼歯	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	十一面観音立像	船見町18-14 称名寺	須藤隆仙	S38.11.3
	阿弥陀如来像	船見町18-14 称名寺	須藤隆仙	S38.11.3
	不動明王立像	船見町20-20 真言寺	藤原義弘	S38.11.3

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	梁川八景	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S38.11.3
	唐美人	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	落下コロポックル人の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	蝦夷嶋図説	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S39.11.3
	蝦夷嶋奇観	柏木町28-15	渡辺 晃	S39.11.3
	維摩	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	アイヌ絵巻	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	蓬莱図	湯川町2丁目10-1	関 テイ	S39.11.3
	詩書 榎本武揚筆	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	函館新聞綴込一括	柏木町28-15	渡辺 晃	S39.11.3
	有舌尖頭器類73点	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	絹本着色 春雨桜雑図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 敵上鴛鴦図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 五節句図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 牡丹睡猫図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	紙本単彩 雁来紅図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記 9冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記付録12冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	蝦夷日誌 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	実験北蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷家財図説 松浦武四郎稿	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷嚮奇観 松浦武四郎写	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	短冊 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	黒百合 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷人巫寒山遙拝の図 松浦武四郎筆	柏木町28-15	渡辺 晃	S41.11.3
	伝ゴローニンの書	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S43.12.4
	弁天島八千代橋の図	白尻町595 白尻小学校	函館市	S53.2.28
	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 竜の図	川汲町2019 川汲温泉ホテル	酒井 慶吾	S53.2.28
	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 馬の図	川汲町2019 川汲温泉ホテル	酒井 慶吾	S53.2.28
	厳島神社旧社殿彫刻	白尻町151 厳島神社	宗教法人厳島神社	S53.2.28
	奉納経神社仏閣順拝帳	川汲町975	小坂 久弥	S53.2.28
	飯田屋漁場文書	尾札部町1220	飯田 勝雄	S53.2.28
	ヲタハマ稲荷文書	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	成田 利雄	S53.2.28
	尾札部稲荷神社文書	尾札部町473 尾札部稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S53.2.28
	熊泊稲荷文書	大船町316-1 大船稲荷神社	宗教法人 大船稲荷神社	S53.2.28
	旧イギリス領事館	元町33-14	函館市	S54.10.23
	ペリー提督寄贈の洋酒びん2本 (小島家旧蔵・旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S54.10.23
	伝目定作 釈迦如来坐像	尾札部町675	坂井 英一郎	S54.12.7
	伝目定作 釈迦如来立像	木直町94	山形 信芳	S54.12.7
	伝目定作 脇侍形菩薩立像	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	S54.12.7
	伝目定作 釈迦如来坐像	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	S54.12.7
	伝目定作 恵比須像	大船町124	成田 昭治	S54.12.7
	川汲稲荷神社奉納絵馬 『楠木正成正行父子桜井驛の別れの図』	川汲町1520-4 南茅部公民館	宗教法人 尾札部稲荷神社	H12.8.10
伝目定作 恵比須大黒神像	安浦町105	鳥山 仁	H12.8.10	
白尻B遺跡出土『シカ絵画土器』	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	H12.8.10	

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	八木B遺跡出土 『注口土器及び下部有孔土器』	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	H12.8.10
	日米親善人形『メリー』	白尻町595 白尻小学校	函館市	H12.8.10
	函館八幡宮大神輿	谷地頭町2-5 函館八幡宮	函館八幡宮	H14.6.5
	ブラキストンの大形磨製石斧	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12
	高松凌雲の医療器具	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12
有形民俗 文化財	コディアック・アリユート 3人乗皮舟 付かい3本	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S54.10.23
	木直稲荷神社 第1号～第6号棟札	木直町803 木直稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
	川汲稲荷神社 第1号～第4号棟札	川汲町861 川汲稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
	巖島神社 第1号～第6号棟札	白尻町151 巖島神社	宗教法人 巖島神社	S54.12.7
	ヲタハマ稲荷神社 第1号～第2号棟札	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	成田 利雄	S54.12.7
無形民俗 文化財	安浦駒踊り	安浦町	安浦駒踊り保存会	S53.2.28
	木直大正神楽	木直町	木直大正神楽 保存会	S53.2.28
史跡	高田屋嘉兵衛碑	柏野町	函館市	S34.8.1
	日ノ浜遺跡	高岱町	函館市	S34.8.1
	北海道建網大謀網発祥の地及び記念碑	尾札部町2725	函館市	S53.2.28
	東エゾ箱館在六箇場所白尻会所跡	白尻町234-1	函館市	S53.2.28
名勝	恵山	柏野町	函館市	S34.8.1
	道南金剛	日浦町	函館市	S34.8.1
	賽の河原	柏野町	函館市	S34.8.1
天然記念物	恵山高山植物群	柏野町	函館市	S34.8.1
	恵山断層	柏野町117	函館市	S34.8.1
	イチョウの大樹	白尻町175 覚王寺	宗教法人覚王寺	S53.2.28
	「大船の杉」大樹	大船町526	函館市	S53.2.28
	旧白尻村役場のエゾヤマザクラ	白尻町119	函館市	H16.3.10

3 市立学校・幼稚園一覧

(小学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 西	S45.4.1	村 上 一 典	26-1296	弥生町12-1	6		6
2 弥 生	M15.4.1	佐 野 太 三	23-5285	弥生町4-16	6	2	8
3 青 柳	H2.4.1	佐 藤 篤 正	23-8348	青柳町22-13	11		11
4 あさひ	H14.4.1	安 藤 信 男	22-2181	大森町6-11	12	1	13
5 中 部	S53.4.1	山 本 廣 幸	22-2503	新川町30-26	7	2	9
6 北 星	S63.4.1	林 潤 子	41-3340	大縄町24-26	6	1	7
7 八 幡	S16.1.15	野 呂 克 己	41-5245	八幡町15-30	17	1	18
8 万年橋	S2.1.10	溝 口 幸 司	42-0861	吉川町6-22	6	1	7
9 港	S22.11.8	鳴 海 順 二	41-5855	港町1丁目22-1	16	3	19
10 高 盛	S2.4.26	鎌 田 芳 樹	52-5168	高盛町17-1	6		6
11 千代ヶ岱	M6.4.9	大 堂 讓	51-3061	千代台町10-7	6		6
12 中 島	S7.12.30	古 俣 敏	52-1437	中島町30-5	6	1	7
13 千代田	S25.1.7	梶 利 明	52-2518	梁川町23-4	6	1	7
14 柏 野	S3.3.2	藤 井 良 江	51-3877	松陰町5-10	14	2	16
15 金 堀	S31.10.1	藤 川 隆	51-1023	金堀町3-1	9		9
16 駒 場	S25.4.1	伊 勢 昭	52-2364	駒場町1-6	12	1	13
17 深 堀	S46.2.1	森 武 由美子	53-7822	深堀町14-2	12	1	13
18 日吉が丘	S39.4.1	八 木 裕	51-7072	日吉2丁目34-1	12	2	14
19 北日吉	S50.4.1	辻 口 喜 廣	55-0924	日吉4丁目5-5	14	2	16
20 湯 川	M13.9.12	伴 明	57-1759	湯川町3丁目42-1	13	2	15
21 高 丘	S51.5.1	中 西 英 明	57-3381	高丘町3-2	12	1	13
22 上湯川	S45.2.1	外 館 守	57-2211	上湯川町295	6		6
23 旭 岡	S54.4.1	加 藤 潔	50-2867	西旭岡町1丁目33-1	12	1	13
24 亀 尾	M25.3.3	小 橋 誠太郎	58-4007	亀尾町28	4		4
25 鱒 川	M34.5.15	高 橋 登	50-2911	鱒川町91	3	1	4
26 東	S47.4.1	田野中 敏	58-2847	銭亀町339	6	1	7
27 石 崎	M13.4.2	筑 土 清 彦	58-2525	石崎町438	4		4
28 桔 梗	M15.11.2	小 松 一 保	46-3607	桔梗1丁目13-2	13	2	15
29 中の沢	S42.9.15	熊 谷 光 洋	47-1302	桔梗5丁目25-5	15		15
30 北昭和	S51.4.1	武 田 誠	45-1070	昭和4丁目38-1	12	1	13
31 昭 和	S40.4.1	秋 元 順 一	41-4964	昭和1丁目5-5	17	1	18
32 亀 田	M34.2.1	横 井 明	41-3370	富岡町1丁目18-1	12	4	16
33 赤 川	M13.7.30	水 間 良 光	46-3006	赤川町367	7	1	8
34 中 央	S48.4.1	鈴 木 祐 司	46-4910	美原2丁目28-1	12	2	14
35 北美原	S54.4.1	碓 幸 信	46-1370	北美原1丁目9-16	20		20
36 鍛 神	M13.4.23	長 谷 恵	51-4503	鍛冶2丁目46-4	14	4	18
37 神 山	H7.4.1	附 田 誠 一	32-7211	神山町233-1	17		17
38 東 山	S53.4.1	稲 垣 慎太郎	53-5531	東山2丁目3-1	17	1	18
39 本 通	S46.4.1	平 澤 治 壽	54-3223	本通1丁目47-2	12		12
40 南本通	S58.4.1	黒 崎 勇 司	55-1281	本通3丁目10-1	11	1	12
41 戸井西	H10.4.1	渡 邊 敬 夫	58-2554	小安町548-1	6	2	8
42 日 新	M13.10.18	川 合 裕紀子	82-2030	弁才町279-1	6		6
43 えさん	H16.4.1	後 藤 慎 一	84-2341	中浜町79	6	1	7
44 榎法華	M13.4.5	菊 池 守 晃	86-2051	新八幡町86-1	5	1	6
45 木 直	M14.12.8	野 呂 孝 俊	63-2563	木直町991	6		6
46 磨 光	M13.12.25	加 藤 正 男	63-2561	尾札部町1609-1	6	1	7
47 白 尻	M11.11.10	山 本 直 樹	25-3059	白尻町595	6	1	7
48 大 船	M13.12.17	今 福 一	25-3161	大船町24	6	1	7
小学校計					470	51	521

児童数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
77		77	1	8	1	10		2		2	西
171	4	175	1	11	1	13	1	1		2	弥生
271		271	1	15	1	17	1	1		2	青柳
275	2	277	1	17	1	19	1	2	4	7	あさひ
189	8	197	1	14	1	16	1	1	2	4	中部
128	1	129	1	11	1	13		2	3	5	北星
492	1	493	1	25	1	27	1	2	3	6	八幡
120	2	122	1	10	1	12		2	2	4	万年橋
491	12	503	1	24	1	26	1	2	3	6	港
213		213	1	9	1	11	1	2	2	5	高盛
178		178	1	10	1	12		2	2	4	千代ヶ岱
204	2	206	1	11	1	13	1	2	2	5	中島
153	2	155	1	11	1	13		2		2	千代田
378	9	387	1	21	1	23	1	2	3	6	柏野
275		275	1	13	1	15	1	2	2	5	金堀
361	3	364	1	18	1	20	1	2	2	5	駒場
293	3	296	1	17	1	19	1	2		3	深堀
338	6	344	1	21	1	23	1	2		3	日吉が丘
446	4	450	1	21	1	23	1	2		3	北日吉
399	10	409	1	22	1	24	1	2		3	湯川
371	1	372	1	17	1	19	1	1		2	高丘
179		179	1	10	1	12		2		2	上湯川
303	1	304	1	18	1	20	1	2		3	旭岡
27		27		8	1	9			2	2	亀尾
17	3	20		6	1	7			1	1	鱒川
174	1	175	1	11	1	13		2	1	3	東
34		34	1	7	1	9		1		1	石崎
420	4	424	1	21	1	23	1	2		3	桔梗
455		455	1	19	1	21	1	1	1	3	中の沢
349	6	355	1	17	1	19	1	2		3	北昭和
505	2	507	1	24	1	26	1	2	7	10	昭和
341	26	367	1	24	1	26	1	2		3	亀田
205	1	206	1	11	1	13	1	2	1	4	赤川
397	7	404	1	22	1	24	1	2		3	中央
701		701	1	26	1	28	1	2		3	北美原
456	15	471	1	26	1	28	1	2	4	7	鍛神
510		510	1	23	1	25	1	2	3	6	神山
513	1	514	1	24	1	26	1	2		3	東山
359		359	1	16	1	18	1	2		3	本通
276	2	278	1	16	1	18	1	2		3	南本通
84	2	86	1	10	1	12		1		1	戸井西
77		77	1	9	1	11					日新
155	1	156	1	11	1	13		1		1	えさん
59	1	60	1	8	1	10		1		1	椴法華
56		56	1	8	1	10					木直
137	1	138	1	11	1	13		1		1	磨光
61	1	62	1	9	1	11		1		1	白尻
56	1	57	1	9	1	11		1		1	大船
12,729	146	12,875	46	730	48	824	30	76	50	156	小学校計

(中学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 西	S52.4.1	信 夫 恵美子	22-2625	弥生町11-16	4		4
2 潮 見	S23.3.31	三 島 俊 博	23-4295	青柳町10-7	6	1	7
3 宇賀の浦	H5.4.1	山 形 英 幸	23-5295	大森町34-7	5		5
4 凌 雲	S57.4.1	柏 崎 恭 子	51-5248	千代台町22-19	7	2	9
5 五 稜	S37.4.1	坂 上 範 夫	41-3458	田家町5-17	8		8
6 大 川	S22.4.1	内 城 明 良	41-2775	大川町12-38	6		6
7 港	S32.4.1	名古屋 貞 俊	41-5790	港町2丁目10-1	9	1	10
8 光 成	S23.4.20	藪 岸 清	51-5131	高盛町32-2	5		5
9 的 場	S22.5.1	本 間 秀 昭	52-5108	的場町12-7	12	1	13
10 深 堀	S36.4.1	大 西 正 光	52-2682	深堀町28-1	11		11
11 湯 川	S22.5.1	須 藤 康 雄	59-2008	湯川町2丁目41-1	10	4	14
12 戸 倉	S48.4.1	岩 瀬 幸 雄	59-2141	戸倉町26-1	12	2	14
13 旭 岡	S56.4.1	長谷川 吉 秀	50-3609	西旭岡町3丁目5	6		6
14 亀 尾	S22.5.1	小 橋 誠太郎	58-4007	亀尾町28	3		3
15 鱒 川	S36.4.1	高 橋 登	50-2911	鱒川町91	2		2
16 銭亀沢	S29.4.1	高 垣 孝 二	58-2542	豊原町140-30	6		6
17 赤 川	S55.4.1	高 橋 英 雄	46-0486	赤川町125	15		15
18 桔 梗	S59.4.1	手 坂 世志雄	46-9990	桔梗町429-4	11		11
19 亀 田	S23.5.10	佐 藤 良 一	46-3005	美原3丁目30-3	20		20
20 桐 花	S22.4.22	阿 部 憲 司	41-1332	富岡町1丁目18-2	11	4	15
21 本 通	S50.4.1	玉 手 道 男	55-3141	本通2丁目56-7	19	2	21
22 北	S57.4.1	高 橋 久 夫	56-0553	山の手3丁目58-1	9	1	10
23 潮 光	S27.4.1	田 邊 信 之	82-2160	釜谷町227	3	1	4
24 日 新	S22.5.21	鈴 木 利 春	82-2061	泊町126	3		3
25 恵 山	H17.4.1	矢 本 秀 美	85-2122	柏野町9	3		3
26 楳法華	S22.4.1	阿 部 哲 治	86-2151	新浜町151-1	3	1	4
27 尾札部	S24.8.3	青 木 昌 史	63-2762	尾札部町2023	4		4
28 白 尻	M22.5.1	田 中 寛	25-3281	豊崎町205	3		3
中学校計					216	20	236

(高等学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地
1 市立函館	H19.4.1	森 武	52-0099	柳町11-5
2 函館恵山	S45.4.1	日 向 稔	84-3675	女那川町176
高等学校計				

(幼稚園)

園 名	創立年月日	園長氏名	電話番号	所 在 地
1 はこだて	H15.4.1	越前屋 彰 子	22-4735	千歳町15-5
2 万年橋	S51.4.1	溝 口 幸 司	45-2188	吉川町6-22
3 日 吉	S48.4.1	外 山 信 子	51-6013	日吉町4丁目18-7
4 戸 井	H10.4.1	道 幸 義 宏	82-3577	小安町523-7
幼稚園計				

生徒数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
102		102	1	10	1	12		1		1	西
189	2	191	1	14	1	16	1	2	2	5	潮見
133		133	1	11	1	13		2	2	4	宇賀の浦
220	10	230	1	17	1	19	1	2		3	凌雲
246		246	1	16	1	18	1	2		3	五稜
215		215	1	14	1	16	1	2	3	6	大川
248	1	249	1	18	1	20	1	2		3	港
113		113	1	12	1	14		1	3	4	光成
397	1	398	1	24	1	26	1	2	3	6	的場
366		366	1	20	1	22	1	1	3	5	深掘
299	29	328	1	24	1	26	1	2	3	6	湯川
381	3	384	1	26	1	28	1	2		3	戸倉
176		176	1	12	1	14		2		2	旭岡
20		20	1	8		9					亀尾
13		13	1	5		6					鱒川
145		145	1	12	1	14		2		2	銭亀沢
508		508	1	28	1	30	1	1		2	赤川
397		397	1	22	1	24	1	2		3	桔梗
671		671	1	35	1	37	1	2		3	亀田
328	23	351	1	25	1	27	1	2		3	桐花
673	4	677	1	35	1	37	1	2		3	本通
307	1	308	1	19	1	21	1	2	4	7	北
46	1	47	1	10	1	12		1		1	潮光
32		32	1	9	1	11		1		1	日新
83		83	1	9	1	11		1		1	恵山
30	3	33	1	10	1	12		1		1	椴法華
115		115	1	10	1	12		1		1	尾札部
74		74	1	10	1	12		1		1	白尻
6,527	78	6,605	28	465	26	519	15	42	23	80	中学校計

学級数	生徒数	校長	教員	実習助手	事務	用務	計	学校名
26	1,031	1	67	1	5	2	76	市立函館
1	13	1	6		1	1	9	函館恵山
27	1,044	2	73	2	6	3	85	高等学校計

学級数				園児数				園長	教員	事務	用務	計	園名
3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計						
2	1	1	4	25	31	36	92	1	4	1		6	はこだて
		1	1			10	10	1	2	1		4	万年橋
		1	1			10	10	1	2	1		4	日吉
1	1	1	3	12	19	12	43	1	4		1	6	戸井
3	2	4	9	37	50	68	155	4	12	3	1	20	

4 市内学校・幼稚園一覧（市立学校・幼稚園を除く）

学校種別	設置区分	学校名	創立年月日	校長等氏名		
大学	国立大学法人	北海道大学水産学部	M40.2.1	原 彰 彦		
		北海道教育大学教育学部函館校	T3.4.1	杉 浦 清 志		
	公立	公立はこだて未来大学	H12.4.1	中 島 秀 之		
	私立	函館大学	S40.4.1	溝 田 春 夫		
短期大学	私立	函館短期大学	S28.1.31	上 平 幸 好		
		函館大谷短期大学	S38.4.1	福 島 憲 成		
高等専門学校	独立行政法人	国立高等専門学校機構函館工業高等専門学校	S37.4.1	長谷川 淳		
高等学校	道立	函館中部高等学校	M28.4.1	黒 田 信 彦		
		函館西高等学校	M37.12.12	対 馬 敏 幸		
		函館稜北高等学校	S58.4.1	竹 内 和 男		
		函館工業高等学校	M44.3.25	昆 野 茂		
		函館商業高等学校	M20.1.11	三 浦 法 久		
		南茅部高等学校	S24.4.1	溜 雅 幸		
		戸井高等学校	S28.4.1	東海林 正 行		
		私立	函館ラ・サール高等学校	S35.4.1	フェルミン・マルチネス	
	函館大学附属有斗高等学校	S13.9.19	鈴 木 健			
	函館白百合学園高等学校	M11.5.28	青 木 タマキ			
	函館大谷高等学校	M21.11.13	丸 山 政 秀			
	遺愛女子高等学校	M7.1.26	野 田 義 成			
	函館大妻高等学校	T13.4.1	外 山 茂 樹			
	函館大学附属柏稜高等学校	S32.4.1	鮫 川 裕 司			
	清尚学院高等学校	S5.2.22	土 家 康 宏			
	中学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館中学校	S22.4.1	相 田 幸 男	
		私立	遺愛女子中学校	S22.4.1	野 田 義 成	
函館白百合学園中学校			創立S23.4.1 再開H9.4.1~	青 木 タマキ		
		函館ラ・サール中学校	H11.4.1	フェルミン・マルチネス		
小学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館小学校	T6.4.1	田 中 和 久		
	私立	函館三育小学校	S55.4.1	小 原 義 信		
幼稚園	国立大学法人	北海道教育大学附属函館幼稚園	S45.4.1	山 崎 正 吉		
	私立	函館藤幼稚園	S9.10.13	下 野 富美子		
		元町白百合幼稚園	S36.4.1	須 田 光 子		
		カトリック湯の川幼稚園	S32.4.5	齋 藤 憲 正		
		函館短期大学附属幼稚園	S41.3.18	高 橋 豊		
		遺愛旭岡幼稚園	S57.3.26	山 田 秀 夫		
		遺愛幼稚園	T2.10.2	吉 田 真理子		
		函館大谷幼稚園	S5.1.22	丹 藤 静 香		
		花園大谷幼稚園	S49.4.10	長谷川 艶 子		
		函館第三大谷幼稚園	S35.7.1	浅 井 睦 子		
		国の華幼稚園	S31.10.13	岸 田 千佳子		
		龍谷幼稚園	S11.4.1	廣 岡 隆 圓		
		函館ちとせ幼稚園	S26.4.1	小 林 博 子		
		函館若葉幼稚園	S33.3.20	鈴 木 正 語		
		函館めぐみ幼稚園	S27.11.8	山 西 道 郎		
		太陽の子幼稚園	S41.1.25	近 藤 智 子		
		函館白百合学園幼稚園	S25.4.5	赤 池 黎 子		
		函館大谷短期大学附属幼稚園	S40.4.1	西 真理子		
		亀田ゆたか幼稚園	S47.3.2	今 盛 一 郎		
		第二太陽の子幼稚園	S52.2.28	豊 田 千 春		
		函館ひかり幼稚園	S53.12.13	後 藤 秀 子		
		函館あおい幼稚園	S54.12.7	永 井 純 子		
		ききょう幼稚園	S54.12.7	川 村 兼悦郎		
		高丘幼稚園	S54.12.7	玉 利 達 人		
		特別支援学校	国立大学法人	北海道教育大学教育学部附属特別支援学校	S51.4.1	松 木 貴 司
			道立	北海道函館盲学校	M28.10	鈴 木 巨
				函館聾学校	M28.10	島 津 彰
函館養護学校	S54.4.1			松 野 毅 彦		
五稜郭養護学校	S54.4.1			能 登 ヨシ子		

電話番号	所在地	学級数	学生・生徒等数	教員数
40-5505	港町3丁目1-1		1,259	86
44-4411	八幡町1-2		1,416	82
34-6448	亀田中野町116-2		1,154	66
57-1181	高丘町51-1		651	73
57-1800	高丘町52-1		245	38
51-1786	鍛冶1丁目2-3		429	63
59-6300	戸倉町14-1	(本)25 (専) 4	(本)1,045(専)68	81
52-0303	時任町11-3	(全)18 (定) 8	(全)722 (定)192	(全)48 (定)20
23-8415	元町7-17	(全)15	(全)593	(全)38
46-6235	石川町181-8	(全)15	(全)595	(全)38
51-2271	川原町5-13	(全)18 (定)12	(全)716 (定)122	(全)72 (定)35
41-4248	昭和1丁目17-1	(全)18 (定)4	(全)708 (定) 73	(全)55 (定)10
25-3372	川汲町1560	(全) 6	(全)112	(全)21
82-2300	浜町717	(全) 3	(全) 61	(全)11
52-0365	日吉町1丁目12-1	17	594	34
57-1381	湯川町2丁目43-1	21	638	41
55-6682	山の手2丁目6-5	17	446	31
52-1834	鍛冶1丁目2-3	11	268	20
51-0418	杉並町23-11	19	630	41
52-1890	柳町14-23	15	475	34
51-1481	柏木町1-34	21	559	37
41-6584	亀田本町5-17	9	243	31
46-2233	美原3丁目48-6	9	362	18
51-0418	杉並町23-11	6	168	11
55-6682	山の手2丁目6-4	6	103	11
52-0365	日吉町1丁目12-1	9	351	15
46-2235	美原3丁目48-6	12	483	18
34-2115	桔梗5丁目26-1	6	49	6
46-2237	美原3丁目48-6	3	77	6
41-3569	宮前町26-6	6	112	9
23-3551	元町15-30	3	26	3
51-3046	駒場町14-10	4	70	7
51-2757	柏木町7-26	6	131	9
50-3308	西旭岡2丁目6-1	6	89	11
22-0419	元町4-1	3	60	4
23-2062	元町21-16	3	29	3
54-2640	花園町17-17	6	122	8
51-1674	千代台町10-10	3	38	6
51-0738	梁川町19-17	6	176	13
23-0274	東川町12-24	5	81	8
55-4182	松陰町9-7	6	158	15
42-4471	田家町9-30	6	133	10
47-1735	桔梗町433-43	7	171	11
41-1929	富岡町1丁目42-12	7	182	13
52-0945	山の手2丁目6-3	8	209	10
56-1038	本通2丁目18-6	10	229	13
41-6585	美原1丁目28-10	5	125	6
41-9345	亀田港町13-5	6	173	12
54-2220	神山3丁目52-8	6	184	11
46-1008	美原2丁目46-10	6	194	10
49-0313	西桔梗町218-43	9	278	20
57-3621	高丘町27-33	5	95	10
46-2515	美原3丁目48-1	(小) 3 (中) 3 (高) 3	(小)14 (中)19 (高)24	28
42-3220	田家町19-12	(幼) 2 (小) 5 (中) 2	(幼) 4 (小)11 (中) 4	36
52-1658	深堀町27-8	(幼) 3 (小) 4 (中) 3	(幼) 6 (小) 7 (中) 5	30
50-3311	旭岡町2	(小)12 (中) 9 (高) 8	(小)33 (中)24 (高)19	91
53-9395	五稜郭町39-13	(小) 1 (中) 2	(小) 4 (中) 7	14

5 社会教育関係団体一覧

団体名	代表者名	活動のねらい及び活動内容
函館市児童生徒水難防止協議会	若 杉 充 宏	児童生徒の水難事故防止普及活動
函館市文化団体協議会	加 納 裕 之	文化団体の発展と市民文化の向上
函館市青少年環境浄化推進協議会	岸 波 金 彌	青少年を取り巻く社会環境の浄化
渡島地区青少年広域補導連絡協議会	教育委員会 生涯学習課長	非行防止の広域的な活動と連携
函館市スポーツ少年団	白 木 荘 太	心身の鍛練とスポーツ少年団の育成
函館市体育協会	森 川 基 嗣	スポーツ団体を統轄し、スポーツ振興を図る
函館ハーフマラソン大会実行委員会	櫻 庭 辰 弥	地域住民の体力増進、健康維持を促進
渡島管内図書館振興協議会	八 雲 町 立 長 図書館	研修会の開催、管内図書館の連絡強調
函館啄木会	宮 崎 郁 子 岡 田 弘 子	石川啄木資料の永久保存と業績の顕彰
図書裡会	岡 田 弘 子	図書館所蔵の郷土資料複製叢書の刊行等、 図書館活動への寄与
市立函館博物館友の会	岩 船 寛	博物館活動の普及発展への寄与
渡島檜山公民館連絡協議会	教育委員会 生涯学習課長	渡島檜山管内公民館の連絡提携
函館ユネスコ協会	関 口 昭 平	ユネスコ精神の推進と普及
函館市文化協議会	清 水 信 勝	函館市の文化向上並びに発展
研修終了生の会「にれの会」	佐々木 尚孝	会員相互の研修親睦 青少年研修センターの運営協力
函館市青年サークル協議会	丸 藤 競	親睦交流、研修会および活動の協力援助
函館市社会体育振興会	本 間 英 一	地域で活動する指導員の育成と実践
函館市ラジオ体操会	飯 田 貢 一	市民の健康増進のためのラジオ体操の普及と 発展
函館市民プール水泳振興会	松 橋 勇 治	水泳振興を目指すため、指導者相互の研修と 研修協議を行う。
巴万泳会	佐々木 三郎	1万mを区切りとした体力づくり、持久力の向上 を目的とする。
函館市民オペラの会	金 山 正 智	オペラ公演により、市内の舞台芸術関係者の養成 を目指す。

6 社会教育施設利用グループ一覧

(1) 函館市公民館グループ

グループ名	活動内容	代表者氏名	会員数	活動場所
月窯会	陶芸	梶原 朋子	18人	公民館
書道サークル やわらぎ	書道	紺野 富子	9人	公民館
グループ パレット	絵画	西 恵美子	11人	公民館
生花 若草会(小原流)	生花	金湖 豊枝	5人	公民館
装美会	着付	倉内 淳子	24人	公民館
どろんこ会	陶芸	西岡 泰子	17人	公民館
お貴楽倶楽部	陶芸	山田 栄治	7人	公民館
楽遊会	墨絵	内山 静江	5人	公民館
コーラスせせらぎ	合唱	日野 篤夫	38人	公民館
ビードロの会	ステンドグラス	小林 武征	16人	公民館
釉遊	陶芸	渡辺 和義	11人	公民館

(2) 函館市亀田公民館グループ

グループ名	活動内容	代表者氏名	会員数	活動場所
洋裁サークル	洋裁	山口 喜久子	13人	亀田公民館
和裁サークル	和裁	佐野 淑子	18人	亀田公民館
KMD 絵画サークル	絵画	近藤 金哉	12人	亀田公民館
着付研究グループ 凜	着付	玉木 利代	8人	亀田福祉センター
キルトクラブ	パッチワーク	市川 幸子	19人	亀田公民館
絵手紙すみれの会	絵手紙	高森 教子	27人	亀田公民館
ちぐさの集い	ちぎり絵	石井 信子	14人	亀田公民館
萌の会	ちぎり絵	一戸 操	11人	亀田公民館
若葉会書道サークル	書道	大内 早苗	15人	亀田公民館

(3) 青年センター利用グループ

(平成20年7月1日現在)

	サークル名	活動内容	代表者
スポーツサークル	ラッキー7	バドミントン	高田 忠 男
	サークルEnjoy	ソフトバレーボール	工藤 公 司
	Kハンターズ	ソフトバレーボール	黒田 和 美
	ワークショップはこだて	バドミントン・卓球	梅本 利 恵
	ZIPS	バドミントン	平山 智 広
音楽サークル	マサムドラム・アンド・ビュグルコー	マーチングバンド	福崎 進 一
	chellow	ゴスペル	池田 亜希子
国際交流・ボランティアサークル	サークルビジョン	手話の学習	清水 国 昭
	地球クラブ	国際交流	清水 国 昭
	HKS	中国語の学習	海野 宏
ダンス・レクリエーションサークル	函館 躍魂 いさり火	YOSAKOIソーラン	近藤 雅 人
	アツコース	ダンス	白取 まゆみ
技能サークル	G4	演劇	木村 祥 世
	芝居組「虎」	演劇	福井 真 希
	なのはな	いけばな	新木 由美子



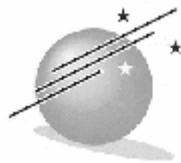
スポーツ健康都市宣言

わたくしたち函館市民は、スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざし、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 1 スポーツと健康づくりに励み、たくましいからだと豊かな心を育てます。
- 1 スポーツと健康づくりに親しみ、明るくすこやかな生活を営みます。
- 1 スポーツと健康づくりを通じて、友情とふれあいの輪を世界に広げます。

平成4年10月10日

函 館 市



函 館
ひかりのおくりもの